

第2章 アンケート調査結果

第2章 アンケート調査結果

1 調査の目的

将来の足立区を担う世代である 20 代、30 代の区民に対して、足立区の若年層区民の生活実態や意向、区政への関心や参加手段などを把握する。

2 調査概要

(1) 調査の内容

- ①若者のライフスタイル・生活実態
- ②足立区のイメージ
- ③区政との接点、メディアツール
- ④足立区の取り組みなどに対する意向、定住に必要な方向性

(2) 調査方法

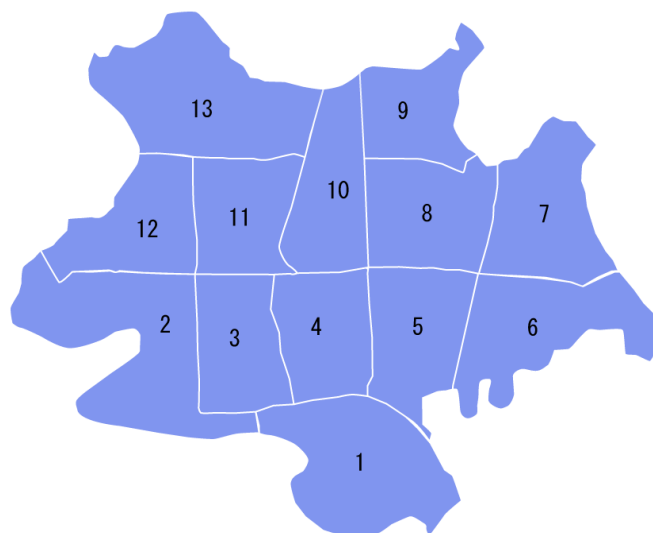
- ①調査地域 足立区全域
- ②調査対象 足立区在住の満 20 歳以上～40 歳未満の男女（平成 21 年 12 月時点）
- ③標本数 4,000 サンプル
- ④調査対象者の抽出 足立区住民基本台帳・単純無作為抽出法
- ⑤調査期間 平成 21 年 12 月 12 日～12 月 31 日
- ⑥調査方法 郵送配布郵送回収法（調査票は参考資料参照）

(3) 回収結果

- ①標本数 4,000 票
- ②有効回答数 1,030 票 有効回収率 25.8%

※ブロック区分

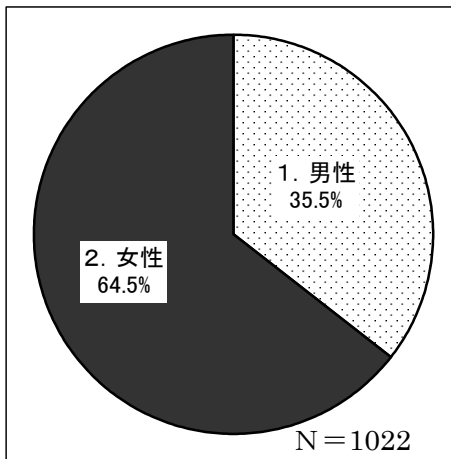
足立区では、区内を幹線道路、鉄道、河川等によって13ブロックに分けている。本調査でのブロックとは、下記の地域ごとに集計したものである。(平成21年4月1日現在)



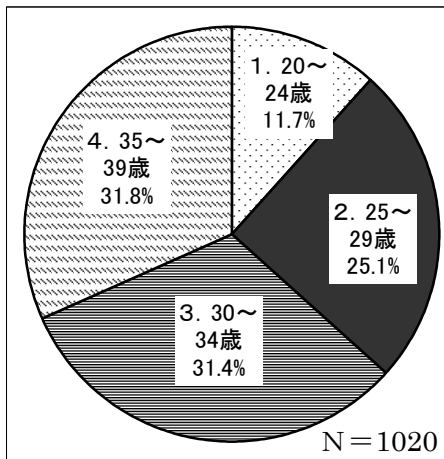
ブロック名	地区町丁名
第1 ブロック (千住地区)	千住曙町、千住旭町、千住東一丁目～二丁目、千住大川町、千住河原町、千住寿町、千住桜木一丁目～二丁目、千住関屋町、千住龍田町、千住仲町、千住中居町、千住橋戸町、千住緑町一丁目～三丁目、千住宮元町、千住元町、千住柳町、千住一丁目～五丁目、日ノ出町、柳原一丁目～二丁目
第2 ブロック (江北地域)	扇二丁目、小台一丁目～二丁目、江北一丁目～五丁目、鹿浜一丁目、新田一丁目～三丁目、椿一丁目、堀之内一丁目～二丁目、宮城一丁目～二丁目
第3 ブロック (興野・本木地域)	扇一丁目、扇三丁目、興野一丁目～二丁目、西新井栄町三丁目、西新井本町一丁目～五丁目、本木北町、本木西町、本木東町、本木南町、本木一丁目～二丁目
第4 ブロック (梅田地域)	梅島一丁目～三丁目、梅田一丁目～八丁目、関原一丁目～三丁目、西新井栄町一丁目～二丁目
第5 ブロック (中央本町地域)	青井一丁目～六丁目、足立一丁目～四丁目、弘道一丁目～二丁目、中央本町一丁目～五丁目、西綾瀬一丁目～四丁目
第6 ブロック (綾瀬地域)	綾瀬一丁目～七丁目、加平一丁目、東和一丁目～五丁目、中川一丁目～五丁目、東綾瀬一丁目～三丁目、谷中一丁目～二丁目
第7 ブロック (佐野地域)	大谷田一丁目～五丁目、加平二丁目～三丁目、北加平町、佐野一丁目～二丁目、神明南一丁目～二丁目、神明一丁目～三丁目、辰沼一丁目～二丁目、六木一丁目～四丁目、谷中三丁目～五丁目
第8 ブロック (保塚・六町地域)	西加平一丁目～二丁目、東保木間一丁目～二丁目、東六月町、一ツ家一丁目～四丁目、平野一丁目～三丁目、保木間一丁目、保木間二丁目(12番を除く)、保塚町、南花畑一丁目～三丁目、六町一丁目～四丁目
第9 ブロック (花畑・保木間地域)	花畑一丁目～八丁目、保木間二丁目(12番のみ)、保木間三丁目～五丁目、南花畑四丁目～五丁目
第10 ブロック (竹の塚地域)	栗原一丁目～二丁目、島根一丁目～四丁目、竹の塚一丁目～七丁目、西保木間一丁目～四丁目、六月一丁目～三丁目
第11 ブロック (伊興・西新井地域)	伊興一丁目～三丁目、栗原三丁目～四丁目、古千谷一丁目(7. 12. 13. 18番地)、西伊興町、西伊興一丁目～二丁目、西竹の塚一丁目～二丁目(1～7番[4番 21. 23. 24の一部. 26. 7番 20の一部. 21～22を除く])、西新井一丁目～七丁目、谷在家一丁目
第12 ブロック (鹿浜地域)	加賀一丁目～二丁目、江北六丁目～七丁目、皿沼一丁目～三丁目、鹿浜二丁目～八丁目、椿二丁目、谷在家二丁目～三丁目
第13 ブロック (舎人地域)	伊興本町一丁目～二丁目、伊興四丁目～五丁目、入谷一丁目～九丁目、古千谷本町一丁目～四丁目、古千谷一丁目(4～5. 8～11. 14～17番地)、古千谷二丁目、舎人公園、舎人一丁目～六丁目、西伊興町、西伊興三丁目～四丁目、西竹の塚二丁目(4番 21. 23. 24の一部. 26. 7番 20の一部. 21～22. 8～17番)、東伊興一丁目～四丁目、入谷町、舎人町

※標本特性

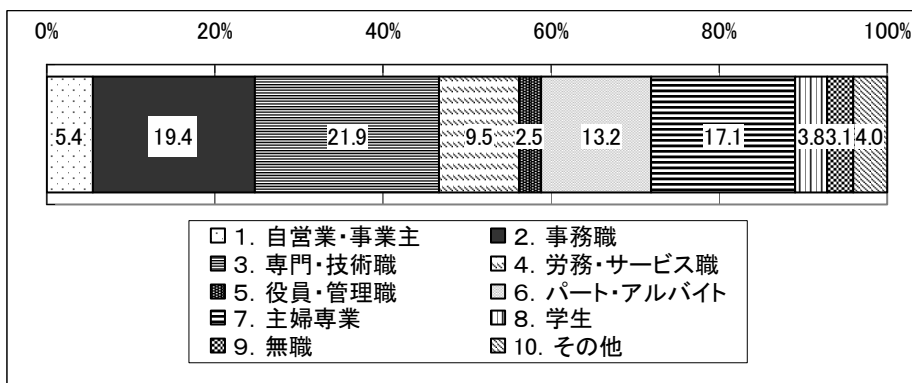
性別



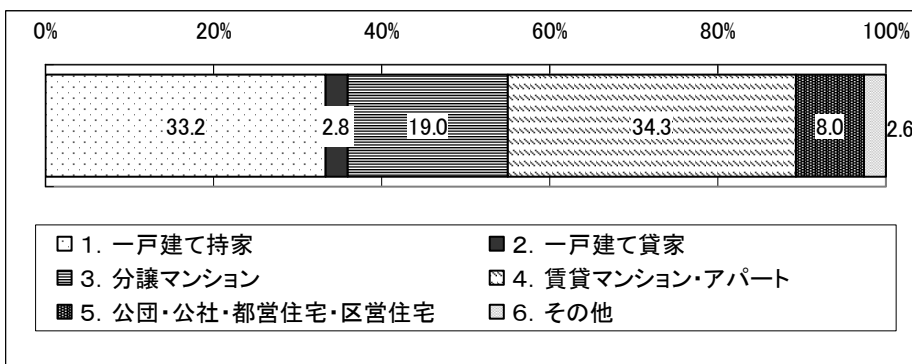
性別・年齢別



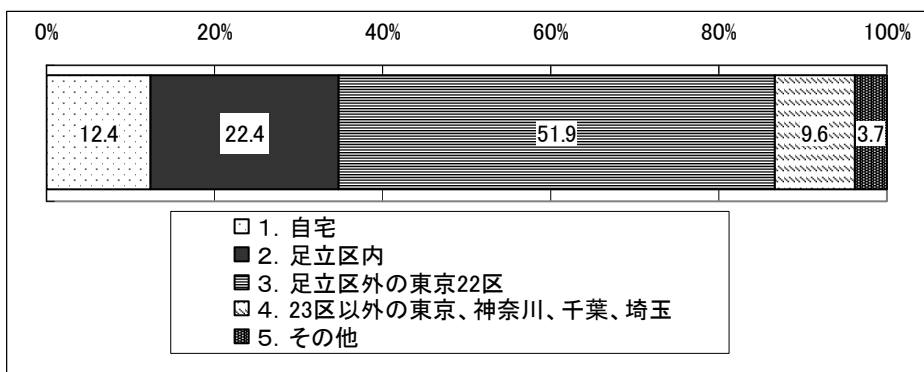
職業



住居形態

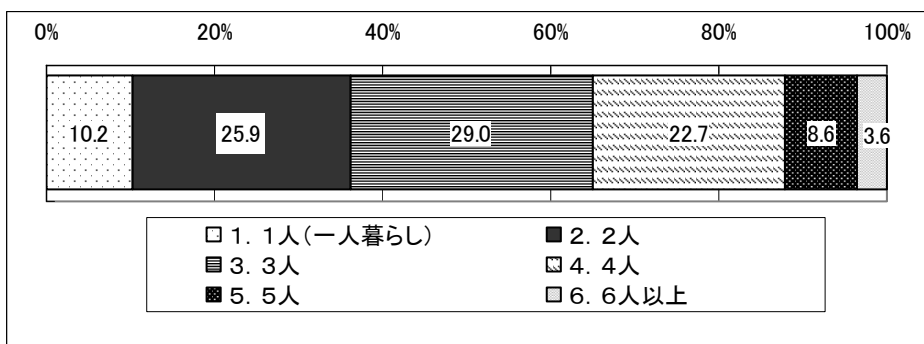


就労・就学場所



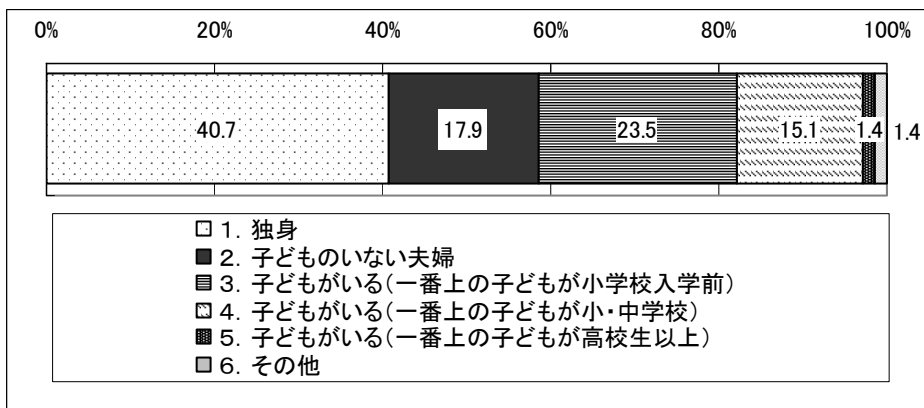
N = 945

同居家族人数



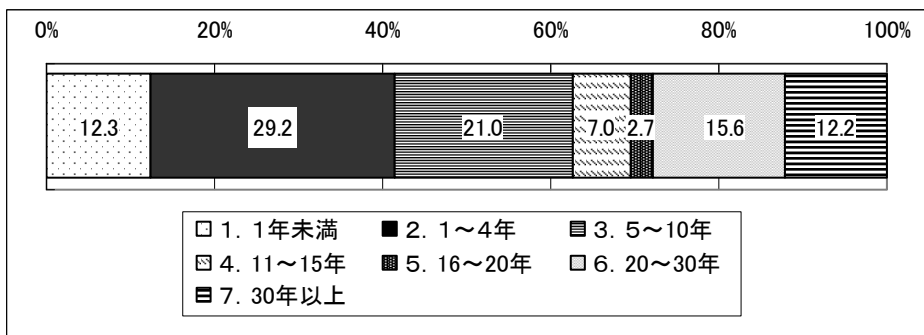
N = 1015

ライフステージ



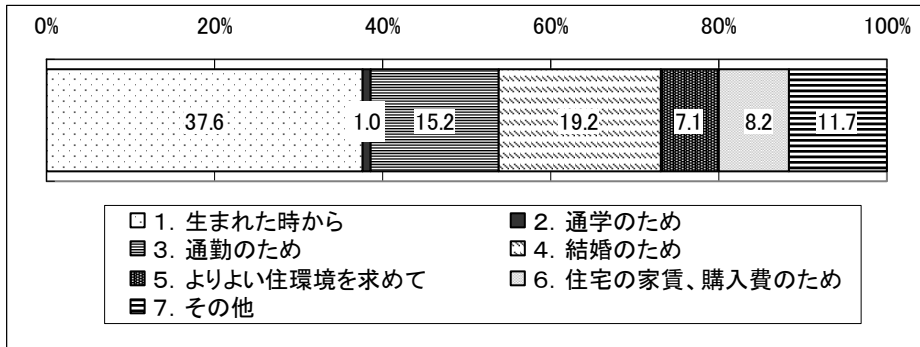
N = 1015

居住年数 (足立区内)



N = 1016

足立区に住んでいる理由



N=1011

※インターネット調査

足立区若年層区民の特性を把握するため、郵送アンケート調査と並行して、東京 22 区在住の若年層 100 名及び、足立区周辺 5 市（松戸市・柏市・越谷市・草加市・八潮市）在住の若年層 100 名を対象に、インターネットアンケート調査を実施した。

インターネットアンケート調査の標本特性は、それぞれ以下の通りである。

(東京 22 区)

性別		
	回答者数	%
男性	49	49
女性	51	51
全体	100	100

年齢		
	回答者数	%
20代	20	20
30代	80	80
全体	100	100

結婚		
	回答者数	%
未婚	74	74
既婚	26	26
全体	100	100

地区		
	回答者数	%
東京都	100	100
全体	100	100

(周辺市)

性別		
	回答者数	%
男性	60	60
女性	40	40
全体	100	100

年齢		
	回答者数	%
20代	18	18
30代	82	82
全体	100	100

結婚		
	回答者数	%
未婚	50	50
既婚	50	50
全体	100	100

地区		
	回答者数	%
埼玉県	35	35
千葉県	65	65
全体	100	100

3 調査結果

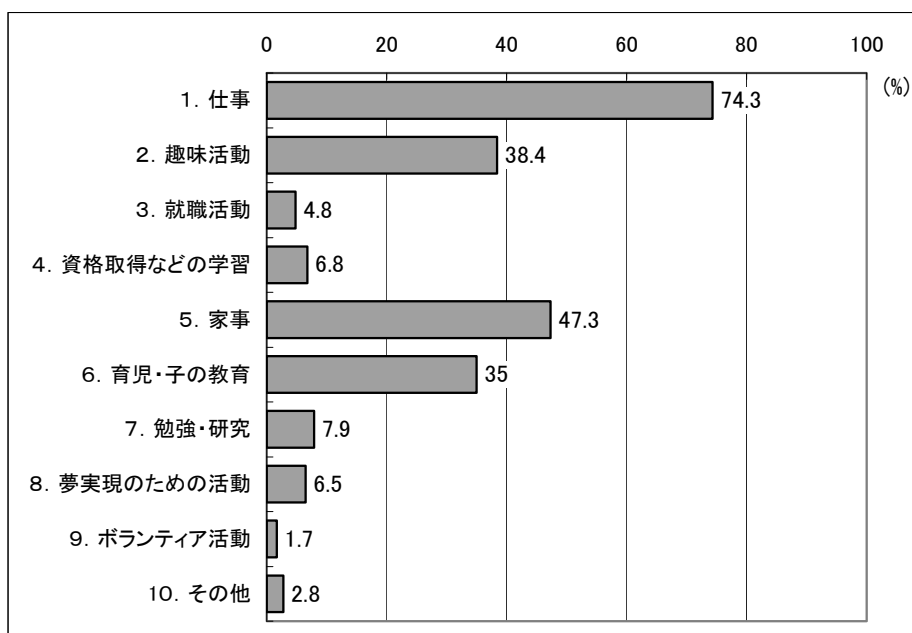
(1) ライフスタイルや考え方

Q1-1 あなたの生活の中で中心となっていること（普段の過ごし方）はなんですか（3つまで）

- 「仕事」が最も多く、年齢・性別別、ライフステージ別に見ても、全ての属性で「仕事」が過半数を超えている。
- 東京 22 区や周辺市と比較すると、足立区では「趣味活動」を生活の中心としている人が少ないことが伺える。
- 「仕事」以外で、過半数を超えているものは、20 歳代男性で「趣味活動」、20 歳代女性で「家事」、30 歳代女性で「家事」「育児・子の教育」である。

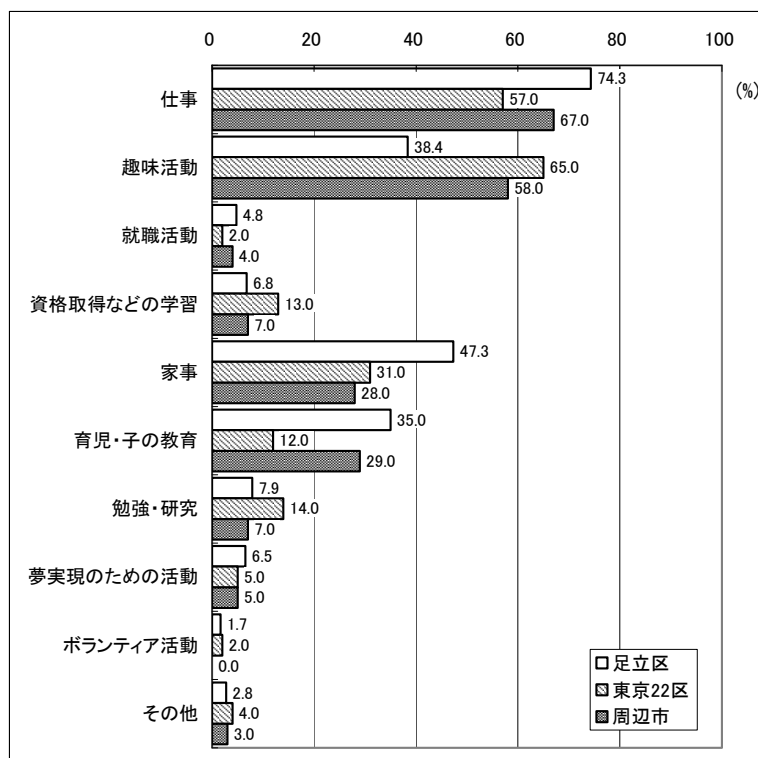
ライフステージ別では、独身で「趣味活動」、子どものない夫婦・子どもがいる（全て）で「家事」、子どもがいる（全て）で「育児・子の教育」が高い。「育児・子の教育」は、子どもが小さいほど、割合が高くなっている。

職業別では、自営業・事業主は「趣味活動」、役員・管理職は「育児・子の教育」、パート・アルバイトは「家事」、専業主婦は「家事」「育児・子の教育」、学生は「趣味活動」「勉強・研究」、無職は「就職活動」である。また、事務職、専門・技術職、労務・サービス職では、「仕事」以外で過半数を超えるものはない。



N = 1027

図表 生活の中心となっていること（単純集計）



図表 東京 22 区・周辺市の比較（インターネット調査より）

Q1-1 生活の中心
× Q4-2.5 年齢・性別

上段:度数 下段:%	Q1-1 生活の中心										
	合計	1. 仕事	2. 趣味活動	3. 就職活動	4. 資格取得などの学習	5. 家事	6. 育児・子の教育	7. 勉強・研究	8. 夢実現のための活動	9. ボランティア活動	10. その他
20歳代男性	130	109	74	12	15	18	16	23	21	4	3
	100.0	83.8	56.9	9.2	11.5	13.8	12.3	17.7	16.2	3.1	2.3
30歳代男性	229	216	109	9	19	39	71	15	16	4	7
	100.0	94.3	47.6	3.9	8.3	17.0	31.0	6.6	7.0	1.7	3.1
20歳代女性	245	162	90	19	21	127	54	29	15	1	9
	100.0	66.1	36.7	7.8	8.6	51.8	22.0	11.8	6.1	0.4	3.7
30歳代女性	414	269	118	8	15	298	215	13	15	8	10
	100.0	65.0	28.5	1.9	3.6	72.0	51.9	3.1	3.6	1.9	2.4

図表 生活の中心となっていること × 年齢・性別

Q1-1 生活の中心
× Q4-7 ライフステージ

上段:度数 下段:%		Q1-1 生活の中心										
		合計	1. 仕事	2. 趣味活動	3. 就職活動	4. 資格取得などの学習	5. 家事	6. 育児・子の教育	7. 勉強・研究	8. 夢実現のための活動	9. ボランティア活動	10. その他
Q4-7 ライフ ステージ	1. 独身	413 100.0	351 85.0	234 56.7	33 8.0	44 10.7	80 19.4	1 0.2	61 14.8	48 11.6	11 2.7	19 4.6
	2. 子どものいない夫婦	182 100.0	155 85.2	80 44.0	3 1.6	8 4.4	119 65.4	3 1.6	8 4.4	8 4.4	2 1.1	6 3.3
	3. 子どもがいる (一番上の子どもが小学校入学前)	238 100.0	130 54.6	35 14.7	3 1.3	9 3.8	160 67.2	223 93.7	6 2.5	5 2.1	1 0.4	3 1.3
	4. 子どもがいる (一番上の子どもが小・中学校)	153 100.0	96 62.7	33 21.6	5 3.3	3 2.0	110 71.9	118 77.1	2 1.3	2 1.3	3 2.0	1 0.7
	5. 子どもがいる (一番上の子どもが高校生以上)	14 100.0	10 71.4	4 28.6	1 7.1	2 14.3	8 57.1	7 50.0	2 14.3	2 14.3	-	-
	6. その他	14 100.0	10 71.4	4 28.6	2 14.3	3 21.4	4 28.6	2 14.3	1 7.1	1 7.1	-	-

図表 生活の中心となっていること × ライフステージ

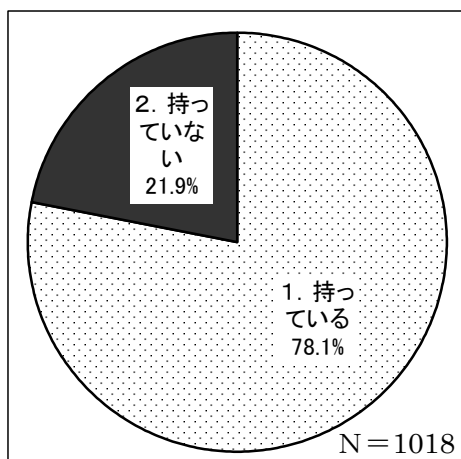
Q1-1 生活の中心
× Q4-3 職業

上段:度数 下段:%		Q1-1 生活の中心										
		合計	1. 仕事	2. 趣味活動	3. 就職活動	4. 資格取得などの学習	5. 家事	6. 育児・子の教育	7. 勉強・研究	8. 夢実現のための活動	9. ボランティア活動	10. その他
Q4-3 職業	1. 自営業・事業主	55 100.0	52 94.5	30 54.5	2 3.6	1 1.8	16 29.1	21 38.2	6 10.9	5 9.1	1 1.8	1 1.8
	2. 事務職	198 100.0	193 97.5	84 42.4	3 1.5	21 10.6	85 42.9	39 19.7	11 5.6	7 3.5	4 2.0	6 3.0
	3. 専門・技術職	222 100.0	218 98.2	93 41.9	1 0.5	16 7.2	65 29.3	55 24.8	14 6.3	12 5.4	1 0.5	4 1.8
	4. 労務・サービス職	97 100.0	94 96.9	46 47.4	-	4 4.1	30 30.9	24 24.7	1 1.0	4 4.1	-	4 4.1
	5. 役員・管理職	25 100.0	23 92.0	8 32.0	-	-	6 24.0	13 52.0	2 8.0	3 12.0	1 4.0	1 4.0
	6. パート・アルバイト	134 100.0	118 88.1	47 35.1	10 7.5	5 3.7	84 62.7	48 35.8	7 5.2	19 14.2	2 1.5	3 2.2
	7. 主婦専業	174 100.0	7 4.0	34 19.5	4 2.3	5 2.9	166 95.4	147 84.5	2 1.1	1 0.6	2 1.1	3 1.7
	8. 学生	39 100.0	7 17.9	20 51.3	11 28.2	7 17.9	7 17.9	-	34 87.2	5 12.8	2 5.1	2 5.1
	9. 無職	31 100.0	4 12.9	13 41.9	17 54.8	8 25.8	10 32.3	-	2 6.5	5 16.1	1 3.2	3 9.7
	10. その他	41 100.0	38 92.7	16 39.0	-	3 7.3	15 36.6	9 22.0	2 4.9	6 14.6	3 7.3	2 4.9

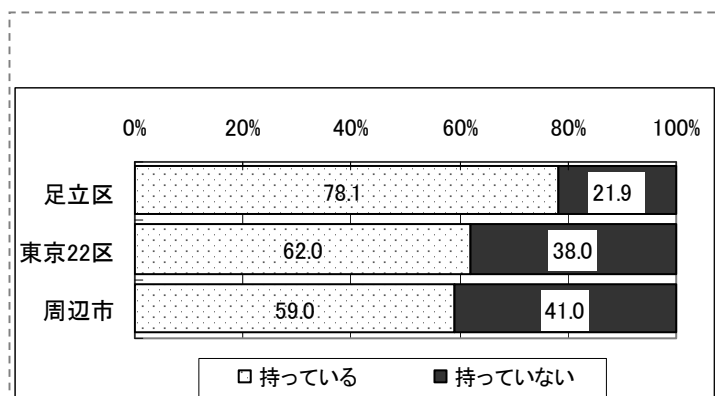
図表 生活の中心となっていること × 職業

Q1-2 日常生活の中で生きがいや張り合いを持っていますか（1つ）

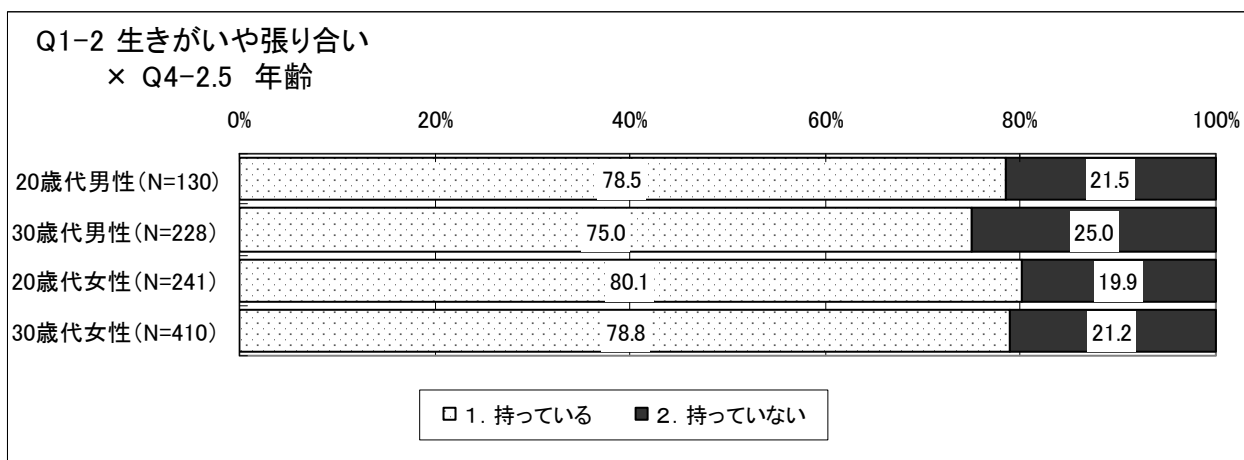
- 全体では、生きがいや張り合いを「持っている」が8割弱である。
- 東京22区、周辺市と比較すると、足立区では、「生きがいを持っている」人の割合が高いことが伺える。
- 年齢・性別別では、違いはあまり見られない。
- 生活の中心が、「ボランティア活動(94.1%)」、「勉強・研究(86.3%)」、「育児・子の教育(86.2%)」の順に生きがいや張り合いを持っている割合が高く、「就職活動」と回答した人は生きがいや張り合いを持っていない割合が他と比べ高くなっている。
- ライフステージ別では、生きがいや張り合いを「持っている」が、子ども（小学校入学前）がいる夫婦で最も多い。
- 職業が、「役員・管理職(96.0%)」、「自営業・事業主(88.9%)」、「学生(87.2%)」の順に生きがいや張り合いを持っている割合が高く、「無職」と回答した人は低くなっている。



図表 生きがいや張り合い（単純集計）

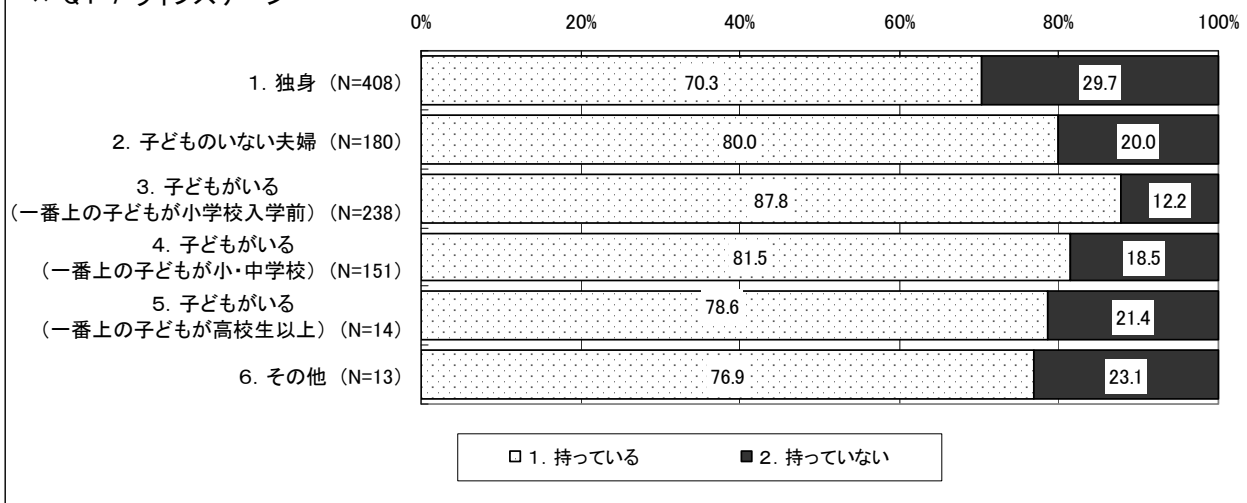


図表 東京22区・周辺市の比較
（インターネット調査より）



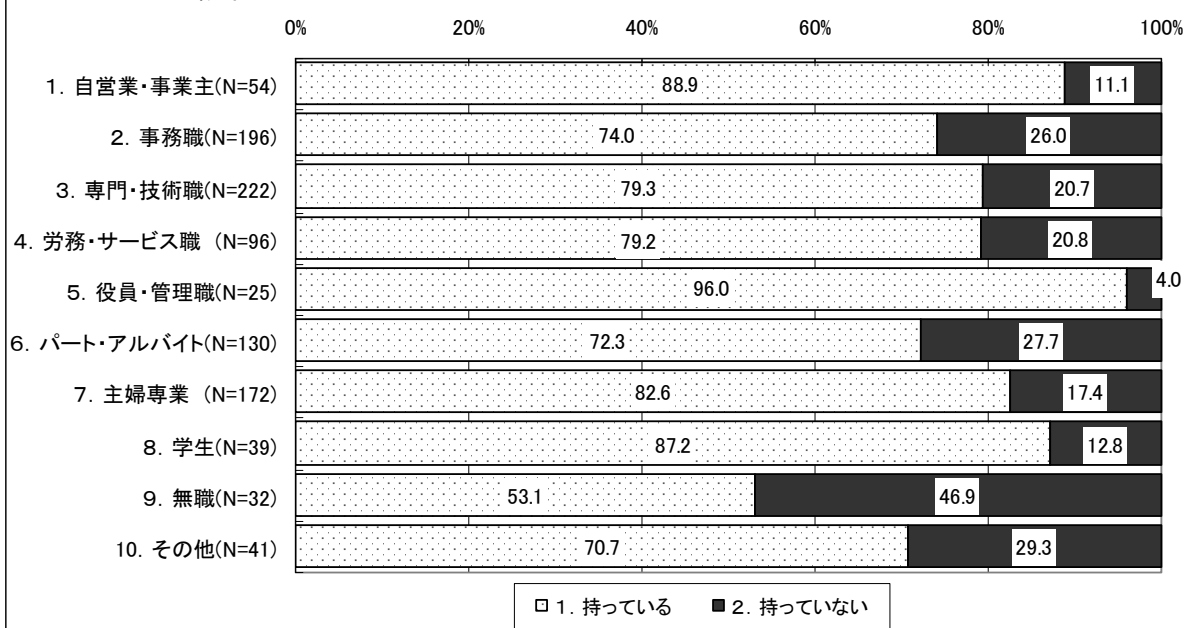
図表 生きがいや張り合い × 年齢

Q1-2 生きがいや張り合い
× Q4-7 ライフステージ



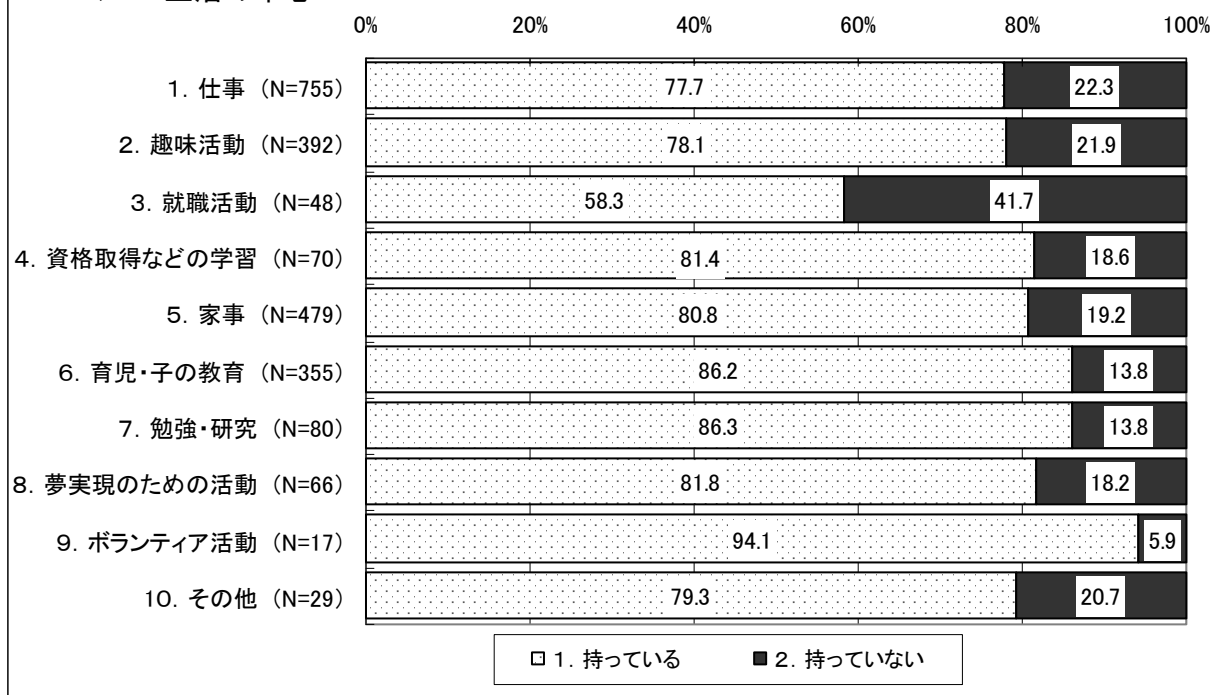
図表 生きがいや張り合い×ライフステージ

Q1-2 生きがいや張り合い
× Q4-3 職業



図表 生きがいや張り合い × 職業

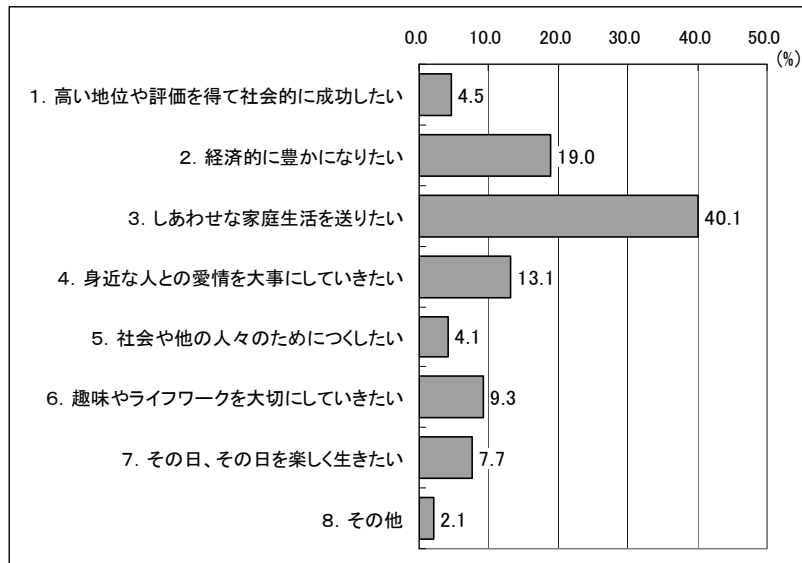
Q1-2 生きがいや張り合い
× Q1-1 生活の中心



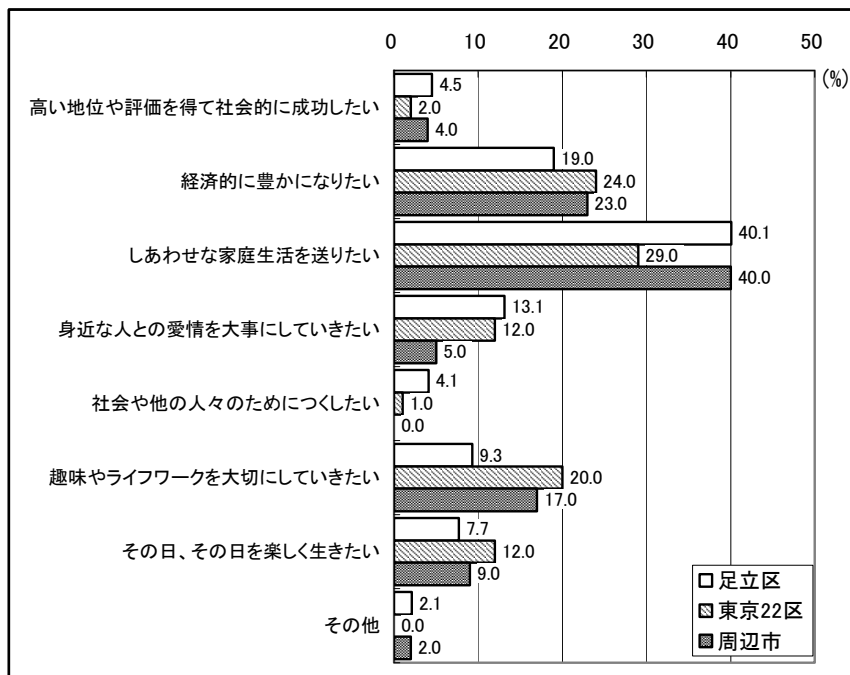
図表 生きがいや張り合い × Q1-1 生活の中心

Q1-3 次にあげる生き方の中で、現在のあなたの考え方に最も近いと思われるのはどれですか(1つ)

- 全体では、「しあわせな家庭生活を送りたい」が最も多く、次いで「経済的に豊かになりたい」と多くなっている。
- 東京 22 区、周辺市と比較すると、足立区では、周辺市と同様の傾向を示す傾向が見られ、東京 22 区より「しあわせな家庭生活」を望む人が多いことが伺える。
- 年齢・性別別では、「高い地位や評価」「経済的な豊かさ」は、女性よりも男性に多く、「しあわせな家庭生活」は、30 歳代女性に顕著に多い。
- ライフステージ別では、独身では「経済的な豊かさ」、子どものいない夫婦・子どもがいる（全て）では「しあわせな家庭生活」の割合が高くなっている。

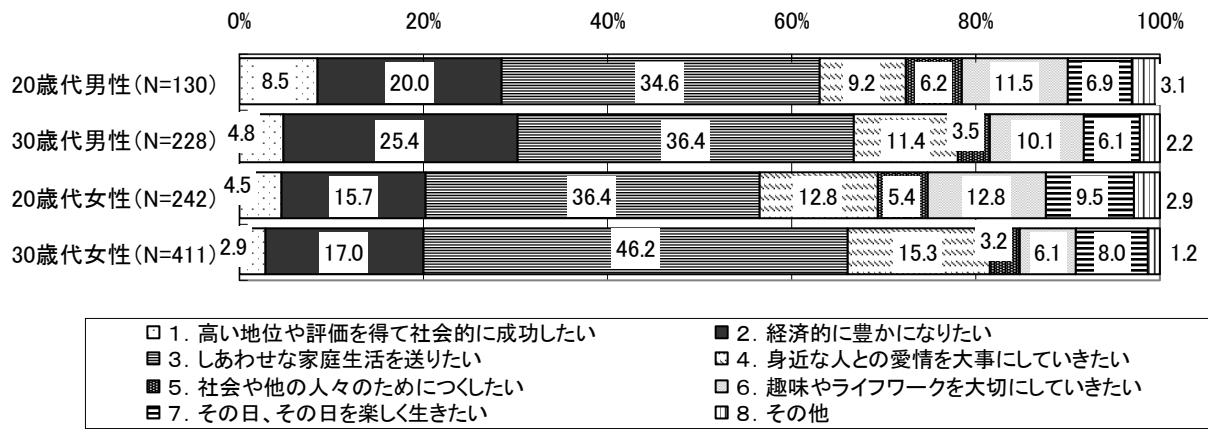


図表 生き方に対する考え方（単純集計） N=1020



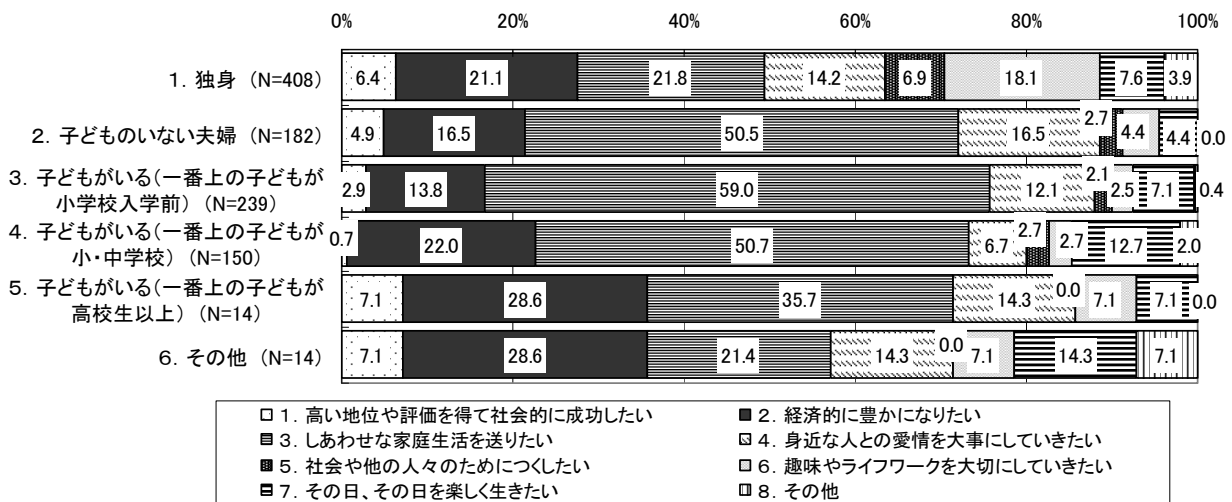
図表 東京 22 区・周辺市の比較（インターネット調査より）

Q1-3 生き方に対する考え方
× Q4-2.5 年齢



図表 生き方に対する考え方×年齢

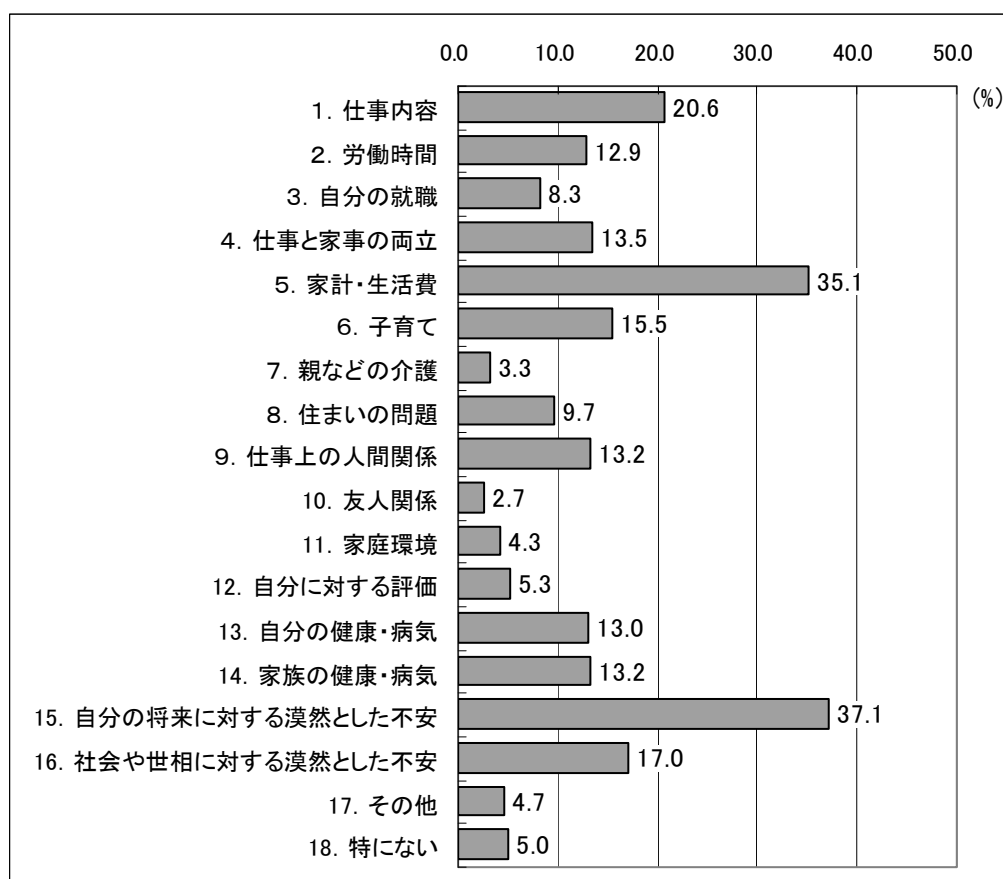
Q1-3 生き方に対する考え方
× Q4-7 ライフステージ



図表 生き方に対する考え方×ライフステージ

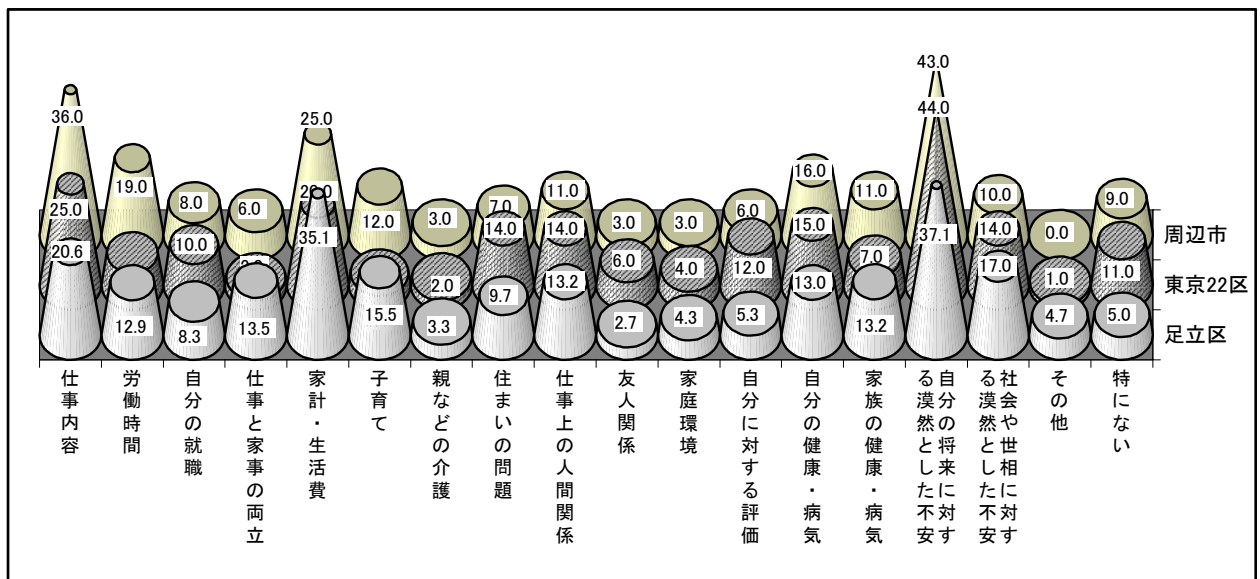
Q1-4 あなたが現在、ストレスや不安を感じていることは主にどのようなことですか（3つまで）

- 全体では、「自分の将来に対する漠然とした不安（37.1%）」が最も多く、次いで「家計・生活費（35.1%）」が多くなっている。
- 東京 22 区、周辺市と比較すると、「自分の将来に対する漠然とした不安」はどの地域でも同じ高さを示しているのに対して、「家計・生活費」への不安は足立区が特徴的に高い。
- 年齢・性別別では、「自分の将来に対する漠然とした不安」が 20 歳代に多く、30 歳代男性は「仕事内容（33.2%）」「家計・生活費（33.2%）」、30 歳代女性は「家計・生活費（40.6%）」となっている。
- ライフステージ別では、独身は「仕事内容」、子どものいない夫婦・子どもがいる（全て）は「家計・生活費」の回答が多い。
- 時間的なゆとりがない人、経済的なゆとりがない人は、「家計・生活費」にストレス・不安を感じている人が顕著に高くなっている。



N = 1024

図表 ストレスや不安の内容（単純集計）



図表 東京22区・周辺市の比較 (インターネット調査より)

Q1-4 ストレスや不安の内容
× Q4-2.5 年齢

上段:度数 下段:%	Q1-4 ストレスや不安の内容								
	合計	1. 仕事内容	2. 労働時間	3. 自分の就職	4. 仕事と家事の	5. 家計・生活費	6. 子育て	7. 親などの介護	8. 住まいの問題
20歳代男性	130	34	26	16	6	39	2	4	10
	100.0	26.2	20.0	12.3	4.6	30.0	1.5	3.1	7.7
30歳代男性	229	76	48	13	13	76	20	6	31
	100.0	33.2	21.0	5.7	5.7	33.2	8.7	2.6	13.5
20歳代女性	245	48	29	37	34	76	22	2	24
	100.0	19.6	11.8	15.1	13.9	31.0	9.0	0.8	9.8
30歳代女性	411	52	27	19	82	167	115	22	34
	100.0	12.7	6.6	4.6	20.0	40.6	28.0	5.4	8.3

上段:度数 下段:%	Q1-4 ストレスや不安の内容									
	9. 仕事上の人間関係	10. 友人関係	11. 家庭環境	12. 自分に対する評価	13. 自分の健康・病気	14. 家族の健康・病気	15. 自分の将来に対する漠然とした不安	16. 社会や世相に対する漠然とした不安	17. その他	18. 特にない
20歳代男性	22	5	7	10	13	12	60	24	5	8
	16.9	3.8	5.4	7.7	10.0	9.2	46.2	18.5	3.8	6.2
30歳代男性	32	7	1	13	33	26	71	47	13	8
	14.0	3.1	0.4	5.7	14.4	11.4	31.0	20.5	5.7	3.5
20歳代女性	35	7	15	17	32	24	105	32	15	13
	14.3	2.9	6.1	6.9	13.1	9.8	42.9	13.1	6.1	5.3
30歳代女性	43	9	20	13	55	71	142	69	14	21
	10.5	2.2	4.9	3.2	13.4	17.3	34.5	16.8	3.4	5.1

図表 ストレスや不安の内容 × 年齢

Q1-1 生活の中心
× Q4-7 ライフステージ

上段:度数 下段:%		Q1-1 生活の中心										
		合計	1. 仕事	2. 趣味活動	3. 就職活動	4. 資格取得などの学習	5. 家事	6. 育児・子の教育	7. 勉強・研究	8. 夢実現のための活動	9. ボランティア活動	10. その他
Q4-7 ライフ ステージ	1. 独身	413	351	234	33	44	80	1	61	48	11	19
		100.0	85.0	56.7	8.0	10.7	19.4	0.2	14.8	11.6	2.7	4.6
	2. 子どものいない夫婦	182	155	80	3	8	119	3	8	8	2	6
		100.0	85.2	44.0	1.6	4.4	65.4	1.6	4.4	4.4	1.1	3.3
	3. 子どもがいる (一番上の子どもが小学校入学前)	238	130	35	3	9	160	223	6	5	1	3
		100.0	54.6	14.7	1.3	3.8	67.2	93.7	2.5	2.1	0.4	1.3
4. 子どもがいる (一番上の子どもが小・中学校)	153	96	33	5	3	110	118	2	2	3	1	
	100.0	62.7	21.6	3.3	2.0	71.9	77.1	1.3	1.3	2.0	0.7	
5. 子どもがいる (一番上の子どもが高校生以上)	14	10	4	1	2	8	7	2	2	-	-	
	100.0	71.4	28.6	7.1	14.3	57.1	50.0	14.3	14.3	-	-	
6. その他	14	10	4	2	3	4	2	1	1	-	-	
	100.0	71.4	28.6	14.3	21.4	28.6	14.3	7.1	7.1	-	-	

図表 ストレスや不安の内容×ライフステージ

Q1-4 ストレスや不安の内容
× Q1-5 時間的なゆとり

上段:度数 下段:%		Q1-4 ストレスや不安の内容								
		合計	1. 仕事内容	2. 労働時間	3. 自分の就職	4. 仕事と家事の両立	5. 家計・生活費	6. 子育て	7. 親などの介護	8. 住まいの問題
Q1-5 時間的 なゆとり	1. ある	195	23	4	30	13	61	21	6	22
		100.0	11.8	2.1	15.4	6.7	31.3	10.8	3.1	11.3
	2. どちらかといえはある	381	84	34	29	41	121	53	12	35
		100.0	22.0	8.9	7.6	10.8	31.8	13.9	3.1	9.2
3. どちらかといえはない	296	67	57	16	49	116	58	11	26	
	100.0	22.6	19.3	5.4	16.6	39.2	19.6	3.7	8.8	
4. ない	151	37	37	9	35	61	27	5	16	
	100.0	24.5	24.5	6.0	23.2	40.4	17.9	3.3	10.6	

上段:度数 下段:%		Q1-4 ストレスや不安の内容									
		9. 仕事上の人間関係	10. 友人関係	11. 家庭環境	12. 自分に対する評価	13. 自分の健康・病気	14. 家族の健康・病気	15. 自分の将来に対する漠然とした不安	16. 社会や世相に対する漠然とした不安	17. その他	18. 特にない
Q1-5 時間的 なゆとり	1. ある	17	4	9	10	24	31	87	41	4	17
		8.7	2.1	4.6	5.1	12.3	15.9	44.6	21.0	2.1	8.7
	2. どちらかといえはある	59	18	17	25	50	42	144	67	15	21
		15.5	4.7	4.5	6.6	13.1	11.0	37.8	17.6	3.9	5.5
3. どちらかといえはない	44	4	12	10	35	41	101	42	18	6	
	14.9	1.4	4.1	3.4	11.8	13.9	34.1	14.2	6.1	2.0	
4. ない	14	2	6	9	24	21	47	24	11	7	
	9.3	1.3	4.0	6.0	15.9	13.9	31.1	15.9	7.3	4.6	

図表 ストレスや不安の内容× Q1-5 時間的なゆとり

Q1-4 ストレスや不安の内容
× Q1-6 経済的なゆとり

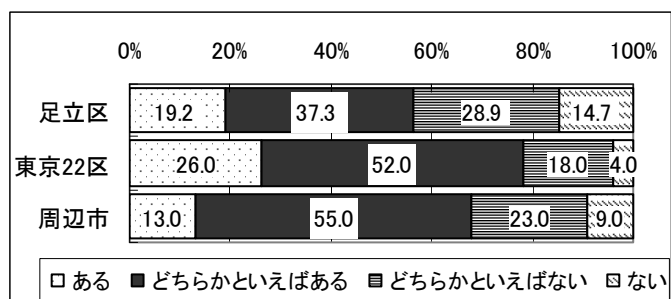
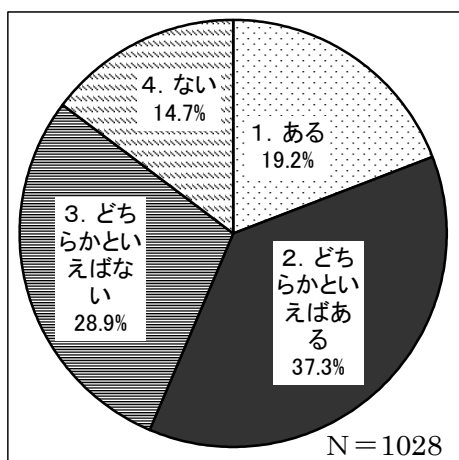
上段:度数 下段:%		Q1-4 ストレスや不安の内容								
		合計	1. 仕事 内容	2. 労働 時間	3. 自分 の就職	4. 仕事と 家事の両 立	5. 家計・ 生活費	6. 子育て	7. 親など の介護	8. 住まい の問題
Q1-6 経済的 なゆと り	1. ある	61 100.0	19 31.1	14 23.0	1 1.6	7 11.5	1 1.6	5 8.2	3 4.9	3 4.9
	2. どちらかといえ ばある	336 100.0	78 23.2	49 14.6	21 6.3	60 17.9	35 10.4	44 13.1	8 2.4	31 9.2
	3. どちらかといえ ばない	359 100.0	77 21.4	45 12.5	23 6.4	41 11.4	154 42.9	71 19.8	12 3.3	36 10.0
	4. ない	266 100.0	37 13.9	24 9.0	40 15.0	28 10.5	168 63.2	37 13.9	11 4.1	29 10.9

上段:度数 下段:%		Q1-4 ストレスや不安の内容									
		9. 仕事 上の人間 関係	10. 友人 関係	11. 家庭 環境	12. 自分 に対する 評価	13. 自分 の健康・ 病気	14. 家族 の健康・ 病気	15. 自分 の将来に 対する漠 然とした 不安	16. 社会 や世相に 対する漠 然とした 不安	17. その 他	18. 特に ない
Q1-6 経済的 なゆと り	合計	135 13.2	28 2.7	44 4.3	54 5.3	133 13.0	135 13.2	380 37.2	174 17.0	48 4.7	51 5.0
	1. ある	10 16.4	1 1.6	1 1.6	4 6.6	4 6.6	10 16.4	20 32.8	12 19.7	4 6.6	8 13.1
	2. どちらかといえ ばある	53 15.8	16 4.8	16 4.8	22 6.5	45 13.4	41 12.2	110 32.7	59 17.6	16 4.8	29 8.6
	3. どちらかといえ ばない	48 13.4	8 2.2	11 3.1	16 4.5	47 13.1	48 13.4	131 36.5	63 17.5	13 3.6	11 3.1
	4. ない	24 9.0	3 1.1	16 6.0	12 4.5	37 13.9	36 13.5	119 44.7	40 15.0	15 5.6	3 1.1

図表 ストレスや不安の内容 × Q1-6 経済的なゆとり

Q1-5 時間的なゆとりがありますか（1つ）

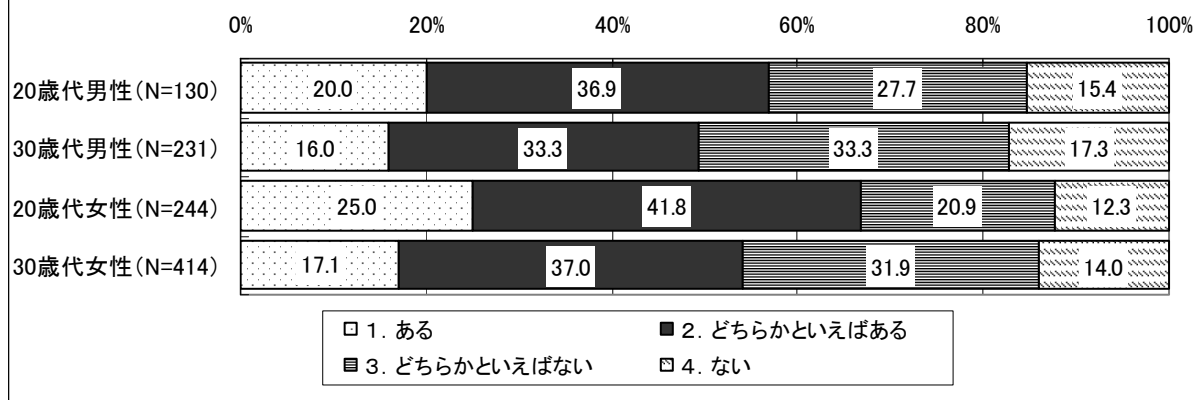
- 全体的に、時間的なゆとりが「ある」「どちらかといえばある」の合計は過半数を超える。
- 東京 22 区、周辺市と比較すると、足立区では時間的なゆとりがある人が少ない傾向がある。
- 年齢・性別別では、20 歳代男性・20 歳代女性・30 歳代女性は「どちらかといえばある」の回答が多く、30 歳代男性は「どちらかといえばある」「どちらかといえばない」の回答が同じである。
- ライフステージ別では、小学校入学前の子どもがいる人は「ない」「どちらかといえばない」が過半数を超えたが、他は「ある」「どちらかといえばある」の回答が過半数を超えている。中でも、高校生以上の子どもがいる人は「どちらかといえばある」が 57.1%と高い割合を占めている。



図表 東京 22 区・周辺市の比較（インターネット調査より）

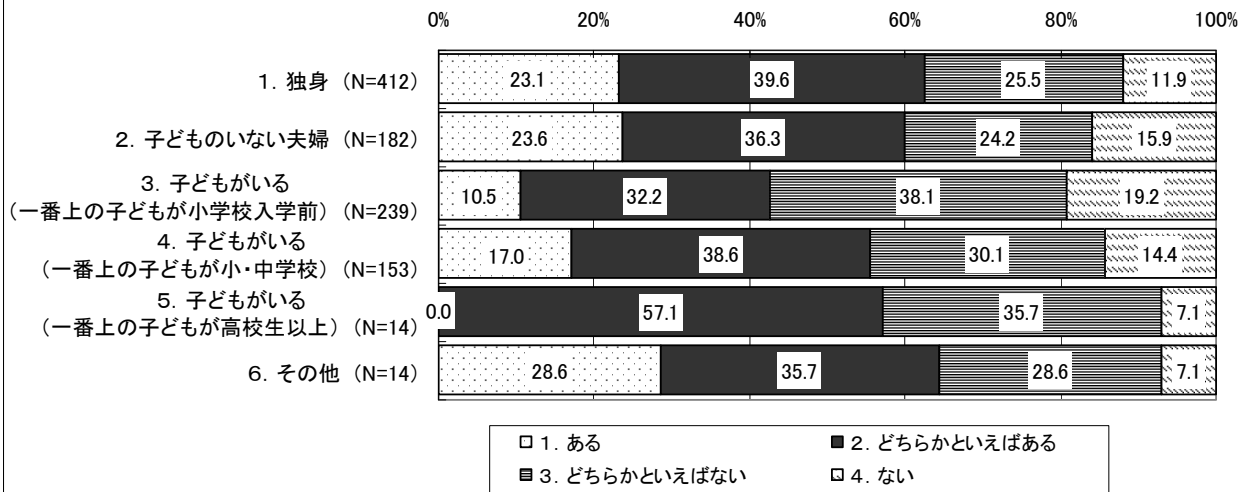
図表 時間的なゆとり（単純集計）

Q1-5 時間的なゆとり × Q4-2.5 年齢



図表 時間的なゆとり × 年齢

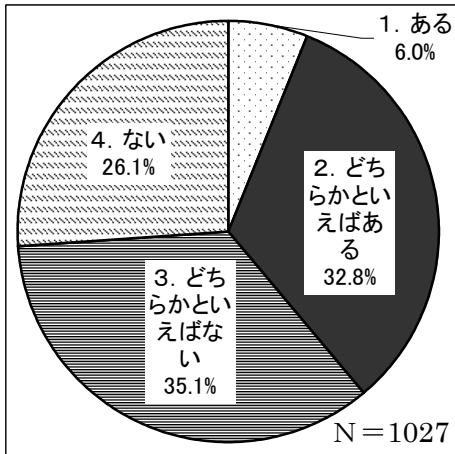
Q1-5 時間的なゆとり
× Q4-7 ライフステージ



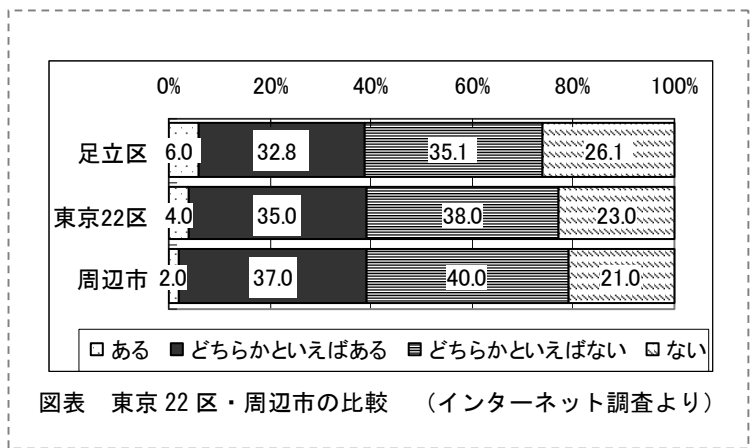
図表 時間的なゆとり×ライフステージ

Q1-6 経済的なゆとりがありますか（1つ）

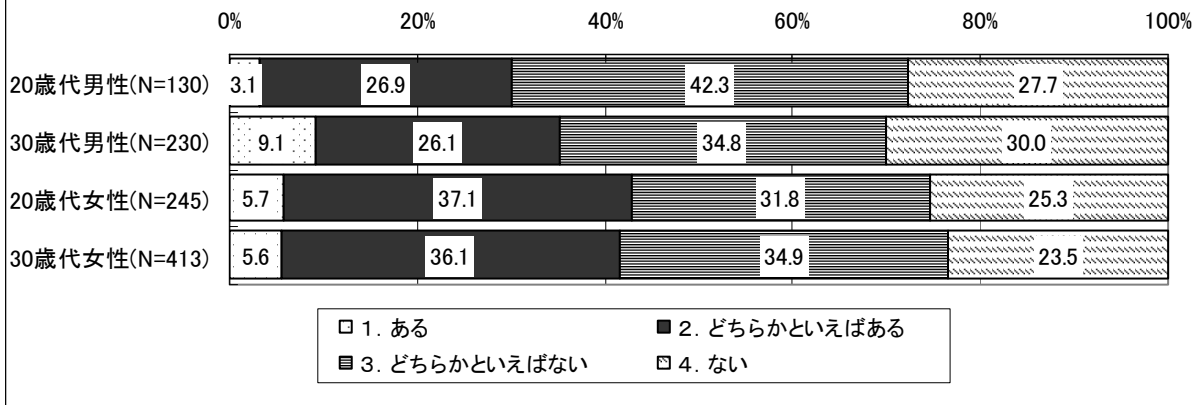
- 全体的に、経済的なゆとりが「ない」「どちらかといえばない」の合計は過半数を超える。
- 東京 22 区、周辺市と比較しても、大きな違いは見られない。
- 男性の方が、経済的なゆとりが「ない」と回答する人がやや多い傾向にある。
- ライフステージ別では、子どものいない夫婦で「ある」「どちらかといえばある」の合計が過半数を超えている。一方で、子どもがいる（全て）で、「ない」「どちらかといえばない」が過半数を超えている。



図表 経済的なゆとり（単純集計）

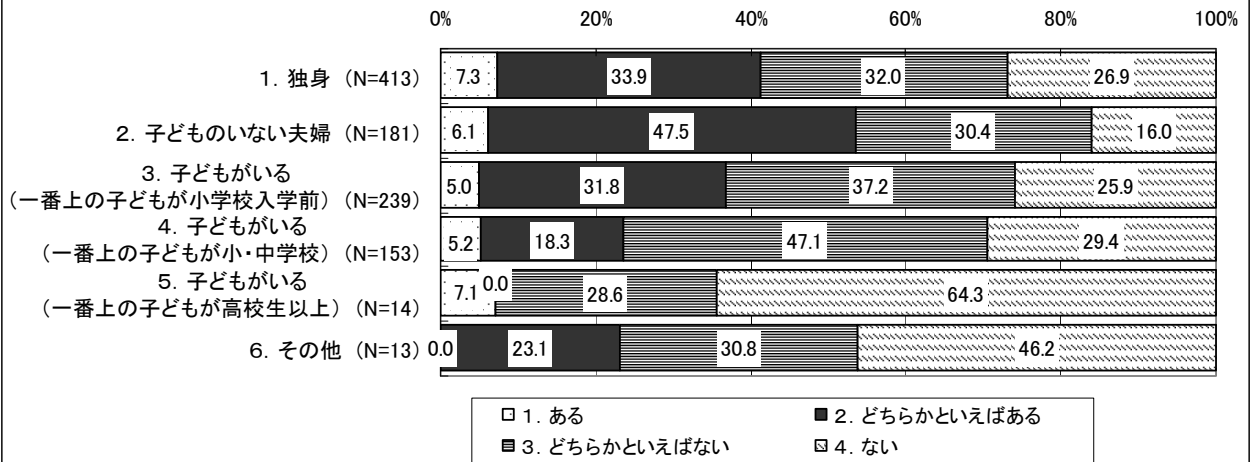


Q1-6 経済的なゆとり
× Q4-2.5 年齢



図表 経済的なゆとり × 年齢

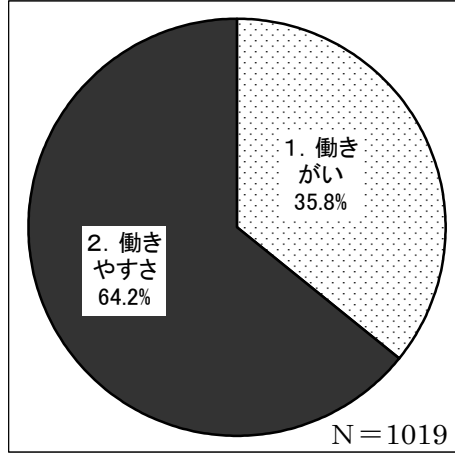
Q1-6 経済的なゆとり
× Q4-7 ライフステージ



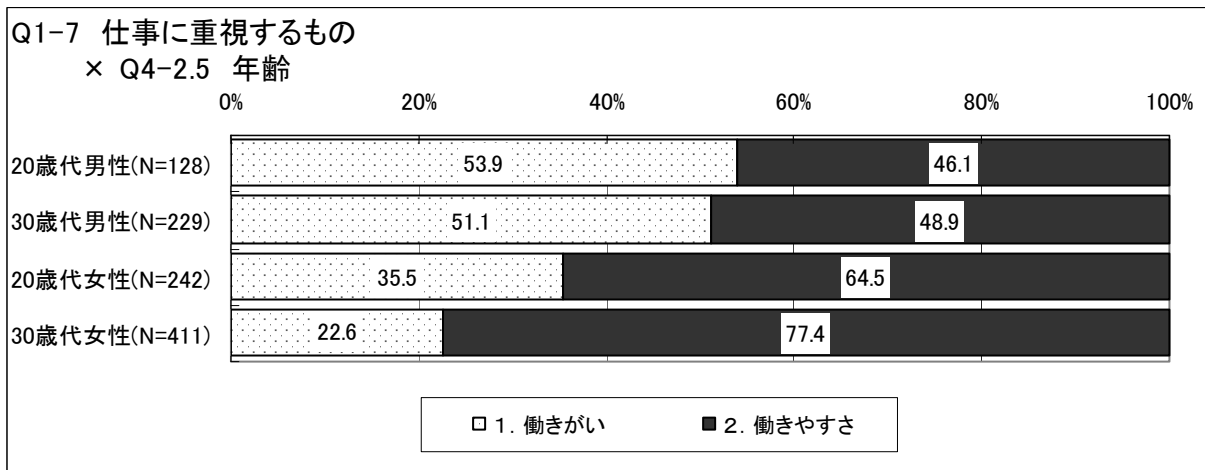
図表 経済的なゆとり × ライフステージ

Q1-7 仕事に対して、働きがいと働きやすさとはどちらを重視しますか（1つ）

- 「働きやすさ」が64.2%と多い。
- 男性より女性の方が、「働きがい」より「働きやすさ」を重視する傾向がある。



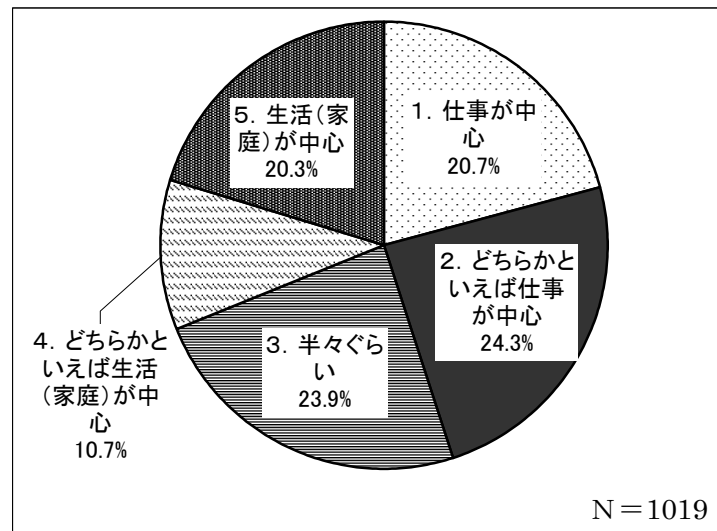
図表 仕事に重視するもの (単純集計)



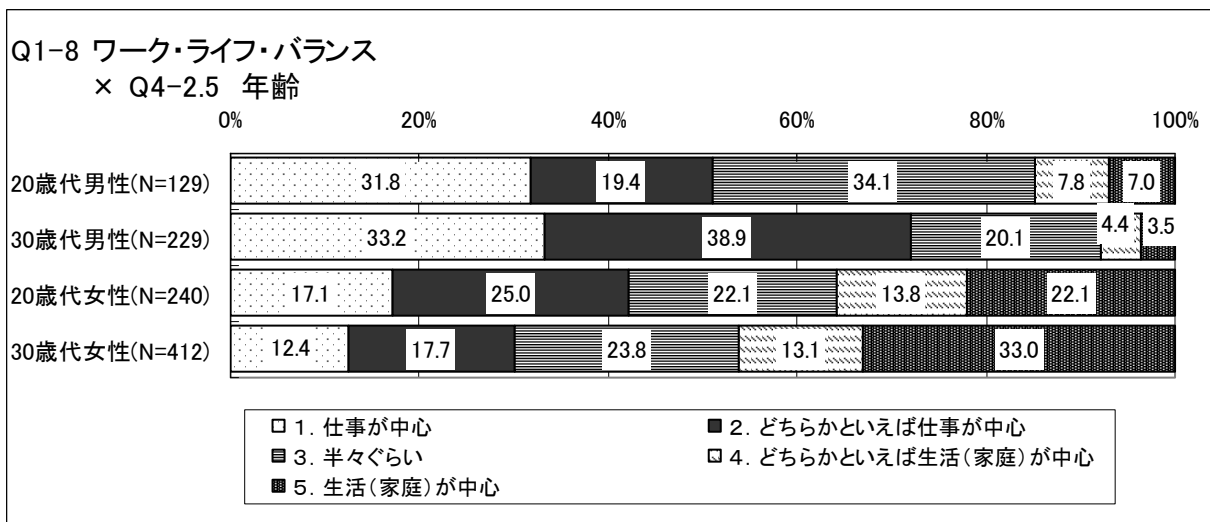
図表 仕事に重視するもの×年齢

Q1-8 あなた自身の現在の仕事と生活・家庭の比重（ワーク・ライフ・バランス）はどの程度ですか（1つ）

- 全体的な回答が、10～25%とばらつきが見られる。
- 20歳代から30歳代になるにつれて、女性は「生活（家庭）中心」に、男性は「仕事中心」になっていく傾向が見られる。



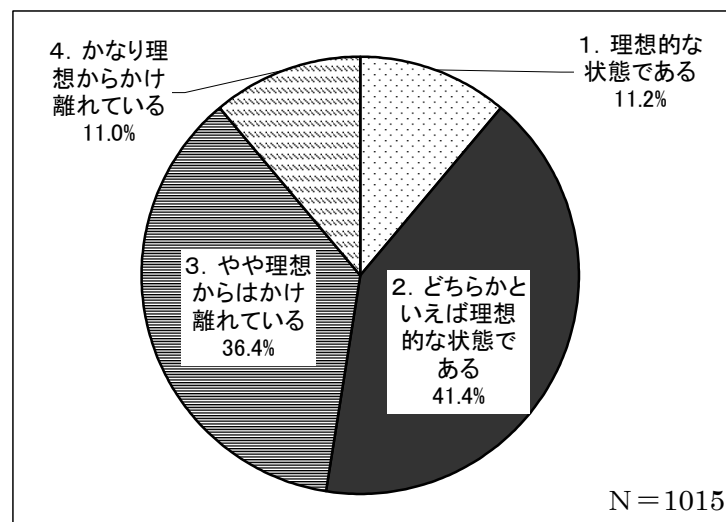
図表 ワーク・ライフ・バランス（単純集計）



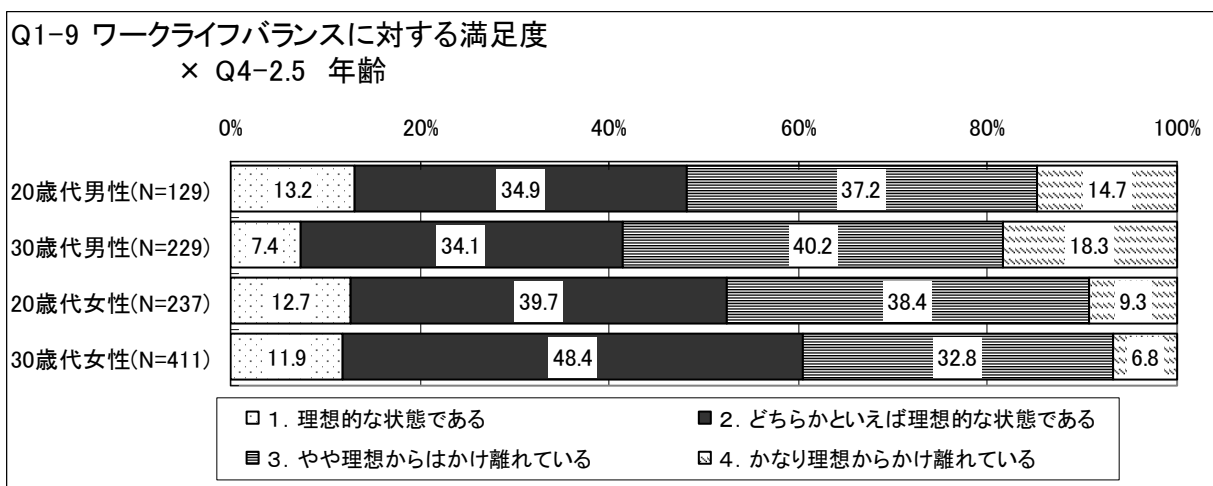
図表 ワーク・ライフ・バランス×年齢

Q1-9 上の設問で回答した仕事と生活の比重は、あなたの理想と比較してどのような状態ですか（1つ）

- 全体では、「どちらかといえば理想的な状態」が 41.4%と最も多いが、「やや理想からかけ離れている」も 36.4%と多い。
- 年齢・性別別では、女性は「理想的な状態に近い」という回答が多い。
- ワーク・ライフ・バランス別では、「仕事を中心」であるほど理想からかけ離れており、生活（家庭）が中心であるほど理想的な状態であるとの回答が多い。

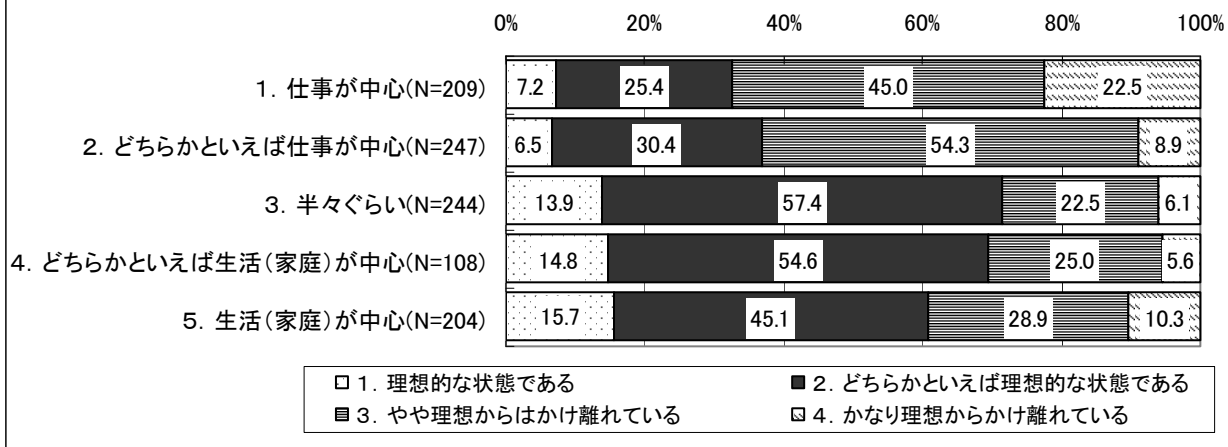


図表 ワーク・ライフ・バランスに対する満足度（単純集計）



図表 ワーク・ライフ・バランスに対する満足度 × 年齢

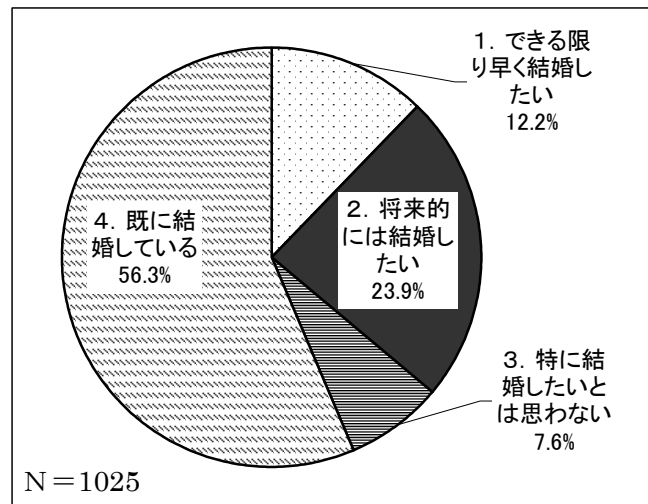
Q1-9 ワークライフバランスに対する満足度
 × Q1-8 ワーク・ライフ・バランス



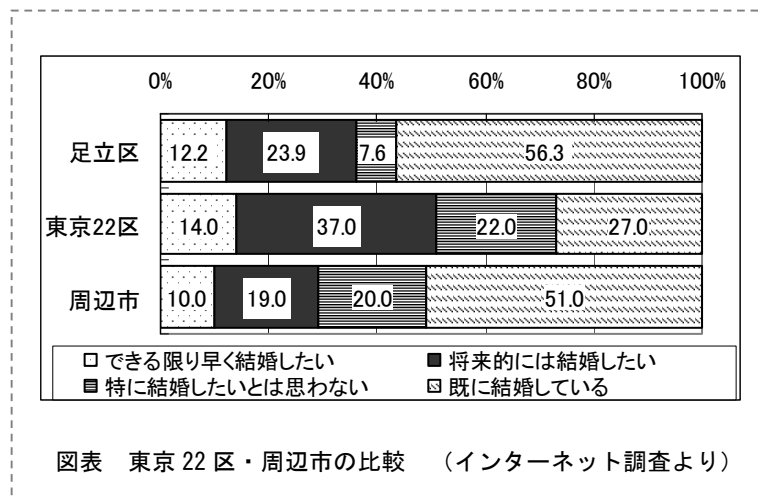
図表 ワーク・ライフ・バランスに対する満足度 × Q1-8 ワーク・ライフ・バランス

Q1-10 結婚についてどう思われますか（1つ）

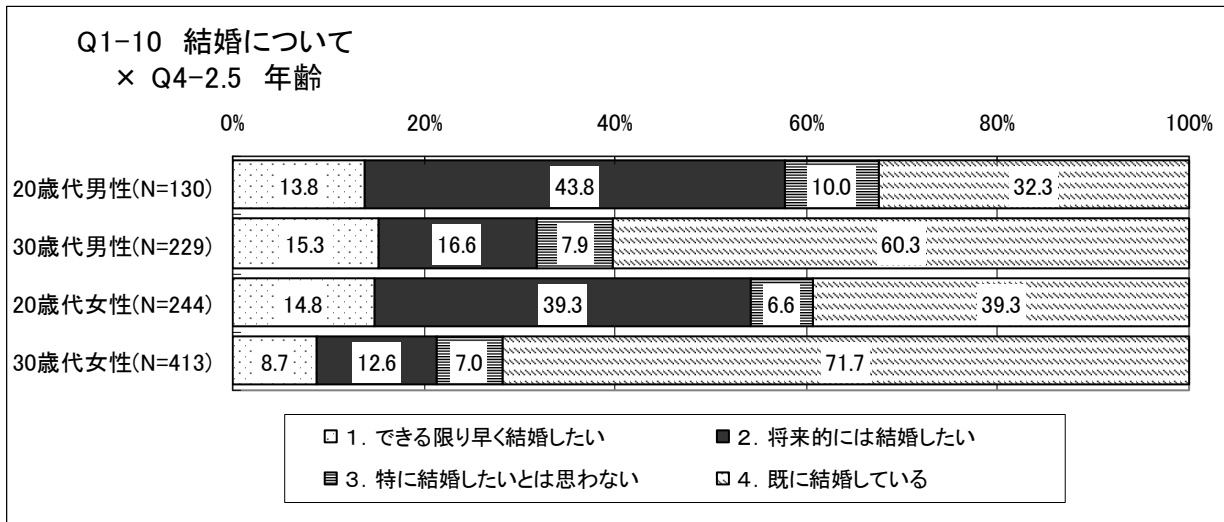
- 全体では、「既に結婚している」と回答した人が過半数を超えている。
- 東京 22 区、周辺市と比較すると、足立区では、「特に結婚したいとは思わない」が少ない傾向にあり、「既に結婚している」人も含め、結婚志向が強いことが伺える。
- 年齢・性別別では、男性より女性の方が、「できる限り早く結婚したい」が多い。「特に結婚したくない」は 20 歳代男性のみ 10.0%となっている。
- 職業別では、仕事に就いている人は「既に結婚している」が過半数を超えている。自営業、事業主で「特に結婚したいとは思わない」が多い。



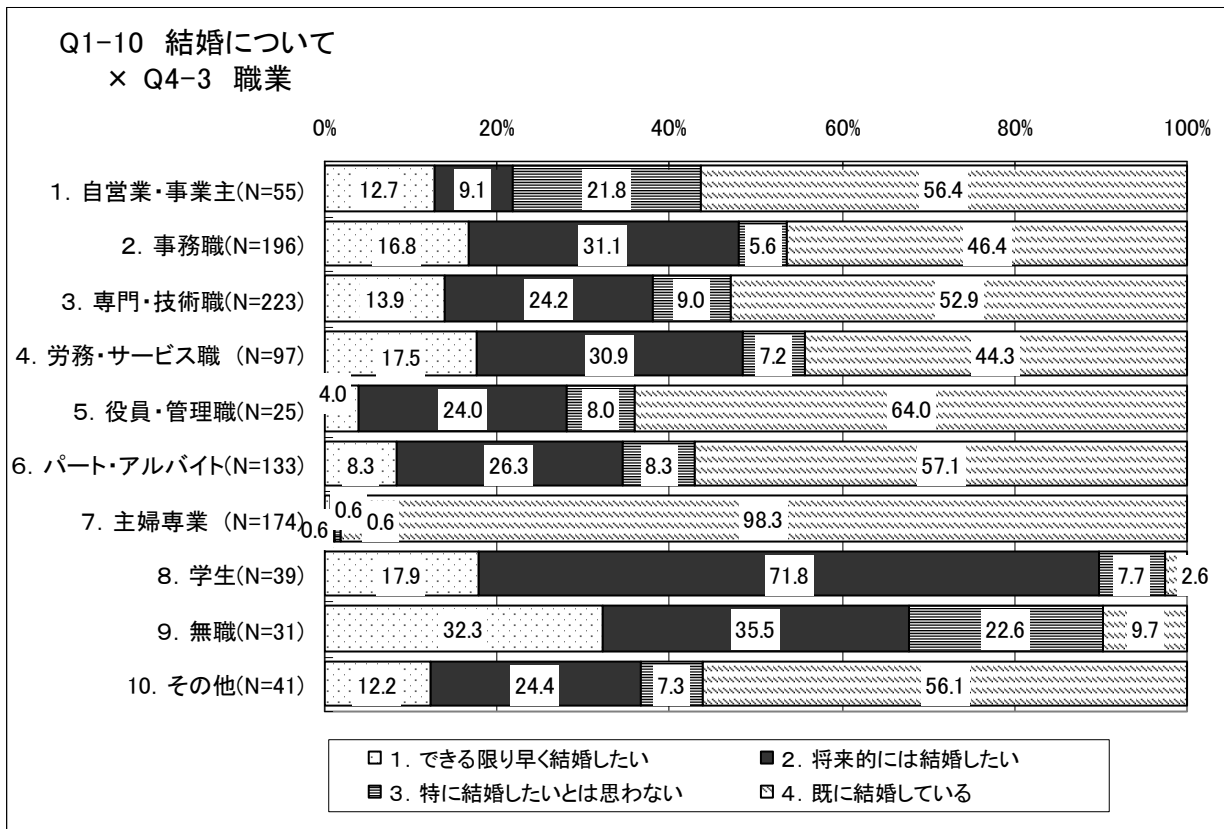
図表 結婚について（単純集計）



図表 東京 22 区・周辺市の比較（インターネット調査より）



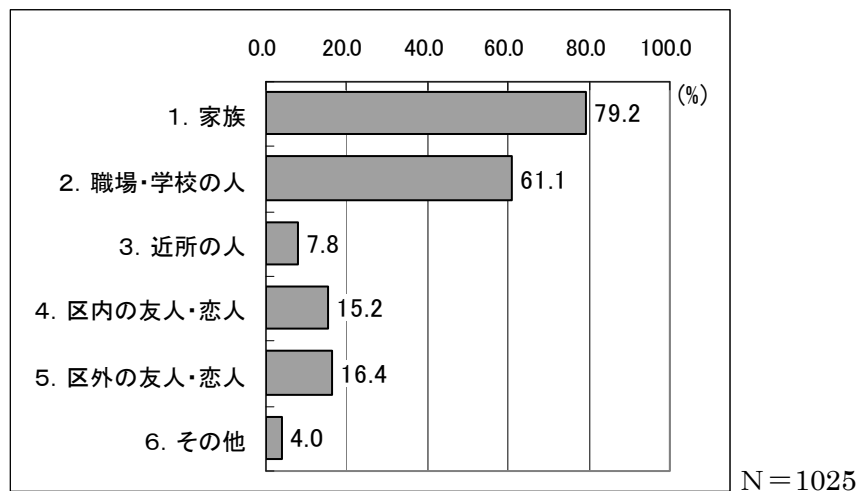
図表 結婚について × 年齢



図表 結婚について × 職業

Q1-11 一週間のうちに誰と多く直接会話をしますか（3つまで）

- 全体では、「家族」が最も多い。
- 年齢・性別別では、男性は「職場・学校の人」、女性は「家族」と回答した人が多い。
- ライフステージ別では、独身は「職場・学校の人」、他は「家族」という回答が最も多かった。
- 職業別では、「家族」という回答が最も多いのは、自営業・事業主、パート・アルバイト、専業主婦、無職であり、「職場・学校の人」という回答が最も多いのは、事務職、専門・技術職、労務・サービス職、役員・管理職、学生である。



図表 直接会話する人（単純集計）

Q1-11 直接会話する人
× Q4-2.5 年齢・性別

上段:度数 下段:%	Q1-11 直接会話する人						
	合計	1. 家族	2. 職場・学校の人	3. 近所の人	4. 区内の友人・恋人	5. 区外の友人・恋人	6. その他
20歳代男性	130	89	99	6	29	30	3
	100.0	68.5	76.2	4.6	22.3	23.1	2.3
30歳代男性	230	163	173	11	20	29	11
	100.0	70.9	75.2	4.8	8.7	12.6	4.8
20歳代女性	245	195	135	8	47	65	9
	100.0	79.6	55.1	3.3	19.2	26.5	3.7
30歳代女性	412	360	213	54	59	44	18
	100.0	87.4	51.7	13.1	14.3	10.7	4.4

図表 直接会話する人 × 年齢・性別

Q1-11 直接会話する人
× Q4-7 ライフステージ

上段:度数 下段:%		Q1-11 直接会話する人						
		合計	1. 家族	2. 職場・学校の人	3. 近所の人	4. 区内の友人・恋人	5. 区外の友人・恋人	6. その他
Q4-7 ライフ ステージ	1. 独身	411 100.0	245 59.6	312 75.9	12 2.9	92 22.4	122 29.7	11 2.7
	2. 子どものいない夫婦	182 100.0	171 94.0	120 65.9	3 1.6	5 2.7	19 10.4	3 1.6
	3. 子どもがいる (一番上の子どもが小学校入学前)	239 100.0	224 93.7	100 41.8	31 13.0	32 13.4	14 5.9	16 6.7
	4. 子どもがいる (一番上の子どもが小・中学校)	153 100.0	140 91.5	69 45.1	31 20.3	22 14.4	7 4.6	9 5.9
	5. 子どもがいる (一番上の子どもが高校生以上)	14 100.0	10 71.4	9 64.3	1 7.1	1 7.1	2 14.3	1 7.1
	6. その他	14 100.0	12 85.7	9 64.3	1 7.1	2 14.3	3 21.4	1 7.1

図表 直接会話する人 × ライフステージ

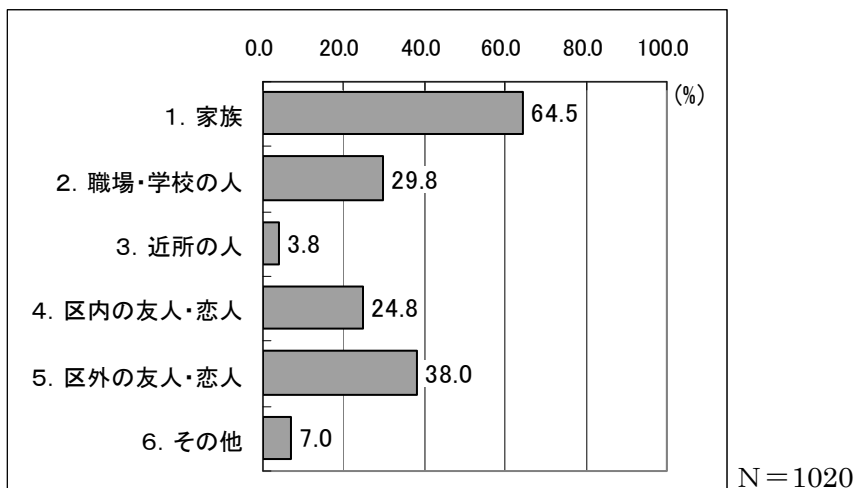
Q1-11 直接会話する人
× Q4-3 職業

上段:度数 下段:%		Q1-11 直接会話する人						
		合計	1. 家族	2. 職場・学校の人	3. 近所の人	4. 区内の友人・恋人	5. 区外の友人・恋人	6. その他
Q4-3 職業	1. 自営業・事業主	55 100.0	40 72.7	28 50.9	7 12.7	8 14.5	9 16.4	5 9.1
	2. 事務職	197 100.0	149 75.6	154 78.2	4 2.0	18 9.1	42 21.3	8 4.1
	3. 専門・技術職	223 100.0	169 75.8	185 83.0	5 2.2	27 12.1	37 16.6	2 0.9
	4. 労務・サービス職	97 100.0	66 68.0	84 86.6	3 3.1	13 13.4	15 15.5	1 1.0
	5. 役員・管理職	25 100.0	17 68.0	20 80.0	1 4.0	7 28.0	4 16.0	1 4.0
	6. パート・アルバイト	132 100.0	110 83.3	79 59.8	10 7.6	18 13.6	21 15.9	6 4.5
	7. 主婦専業	174 100.0	169 97.1	9 5.2	43 24.7	37 21.3	7 4.0	13 7.5
	8. 学生	39 100.0	29 74.4	31 79.5	- -	11 28.2	16 41.0	- -
	9. 無職	31 100.0	26 83.9	1 3.2	2 6.5	10 32.3	9 29.0	1 3.2
	10. その他	41 100.0	31 75.6	28 68.3	3 7.3	5 12.2	8 19.5	4 9.8

図表 直接会話する人 × 職業

Q1-12 一週間のうちにメールなどを通して誰と多く連絡をとりあいますか（3つまで）

- 直接の会話と同じく、全体では「家族」が最も多くなっており、「近所の人」という回答は少ない。
- 年齢・性別別で見ても、「家族」の占める割合は多いが、20歳代は「区外の友人・恋人」の回答も多くなっている。
- ライフステージ別では、独身は「区外の友人・恋人」が最も多く、他は「家族」が最も多くなっている。また、「近所の人」の回答は少なく15%以下である。



図表 メールなどを通して連絡することが多い人（単純集計）

Q1-12 メールなどを通して連絡することが多い人
× Q4-2.5 年齢・性別

上段:度数 下段:%	Q1-12 メールなどを通して連絡することが多い人						
	合計	1. 家族	2. 職場・学校の人	3. 近所の人	4. 区内の友人・恋人	5. 区外の友人・恋人	6. その他
20歳代男性	130 100.0	61 46.9	50 38.5	2 1.5	38 29.2	53 40.8	9 6.9
30歳代男性	227 100.0	142 62.6	98 43.2	3 1.3	23 10.1	61 26.9	18 7.9
20歳代女性	245 100.0	149 60.8	59 24.1	3 1.2	70 28.6	125 51.0	8 3.3
30歳代女性	411 100.0	300 73.0	94 22.9	31 7.5	120 29.2	149 36.3	36 8.8

図表 メールなどを通して連絡することが多い人 × 年齢・性別

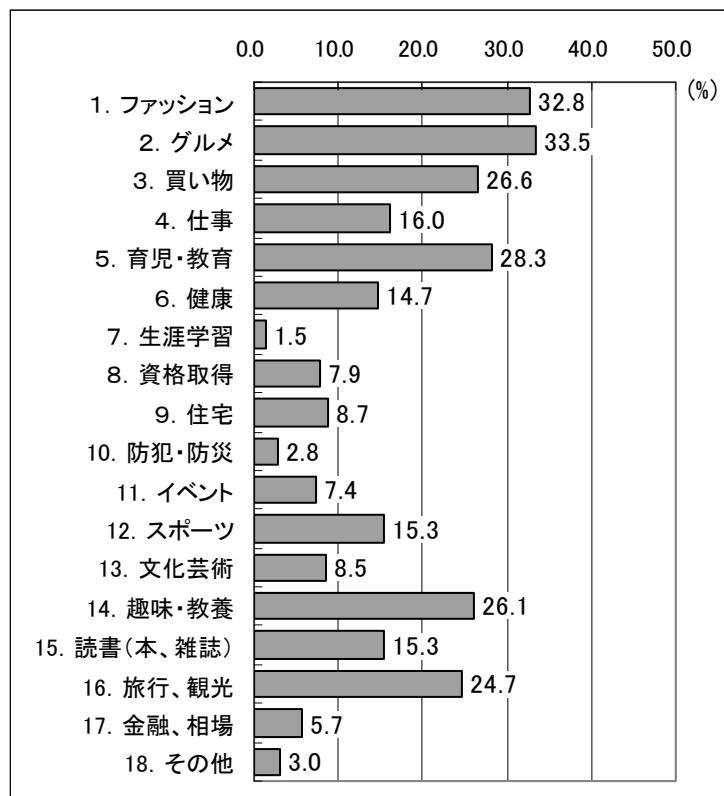
Q1-12 メールなどを通して連絡することが多い人
 × Q4-7 ライフステージ

上段:度数 下段:%		Q1-12 メールなどを通して連絡することが多い人						
		合計	1. 家族	2. 職場・学 校の人	3. 近所の 人	4. 区内の 友人・恋人	5. 区外の 友人・恋人	6. その他
Q4-7 ライフ ステー ジ	1. 独身	409 100.0	154 37.7	145 35.5	4 1.0	113 27.6	235 57.5	30 7.3
	2. 子どものいな い夫婦	182 100.0	163 89.6	57 31.3	1 0.5	11 6.0	57 31.3	5 2.7
	3. 子どもがいる (一番上の子ども が小学校入学前)	237 100.0	199 84.0	47 19.8	13 5.5	61 25.7	64 27.0	21 8.9
	4. 子どもがいる (一番上の子ども が小・中学校)	153 100.0	116 75.8	42 27.5	21 13.7	56 36.6	21 13.7	11 7.2
	5. 子どもがいる (一番上の子ども が高校生以上)	14 100.0	11 78.6	5 35.7	- -	2 14.3	5 35.7	1 7.1
	6. その他	14 100.0	8 57.1	5 35.7	- -	5 35.7	5 35.7	2 14.3

図表 メールなどを通して連絡することが多い人 × ライフステージ

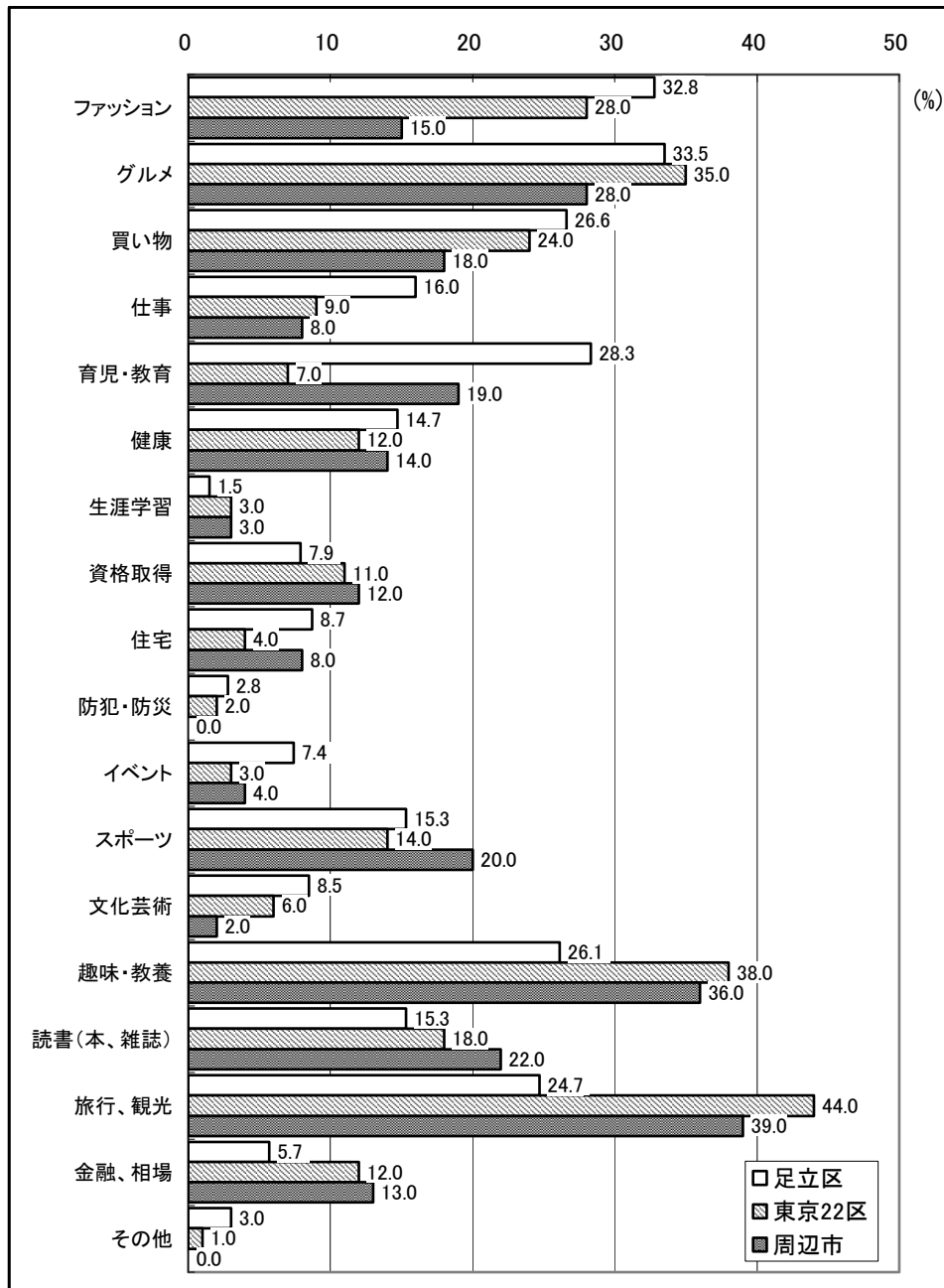
Q1-13 どのような情報に興味がありますか（3つまで）

- 全体では、「グルメ」「ファッション」「育児・教育」の順に多い。
- 東京 22 区、周辺市と比較すると、「旅行・観光」「趣味・教養」の割合が、足立区では低いことが伺える。
- 年齢・性別別では、20 歳代男性の上位 3 つは「趣味・教養」「スポーツ」「ファッション」
30 歳代男性の上位 3 つは「趣味・教養」「グルメ」「スポーツ」
20 歳代女性の上位 3 つは「ファッション」「グルメ」「買い物」
30 歳代女性の上位 3 つは「育児・教育」「ファッション」「グルメ」である。
- ライフステージ別では、「グルメ」がすべての回答の中で上位 3 位以内に入り、小・中学校の子どもがいる人を除いて「ファッション」も回答の中で上位 3 位以内に入っている。また、小学校入学前・小・中学校の子どもがいる人は「育児・教育」と回答した割合が一番である。
- 職業別では、自営業・事業主、専門職・技術職の人以外は「ファッション」の回答が、専業主婦、学生、無職の人以外は「グルメ」の回答も目立つ。また、「仕事」と回答した人の割合が最も多いのは自営業・事業主、無職で、「育児・教育」と回答した人の割合が最も多いのは専業主婦である。



図表 興味のある情報（単純集計）

N = 1009



図表 東京 22 区・周辺市の比較 (インターネット調査より)

Q1-13 興味のある情報
 × Q4-2.5 年齢・性別

上段:度数 下段:%	Q1-13 興味のある情報								
	合計	1. ファッション	2. グルメ	3. 買い物	4. 仕事	5. 育児・教育	6. 健康	7. 生涯学習	8. 資格取得
20歳代男性	125	41	27	15	28	14	8	-	17
	100.0	32.8	21.6	12.0	22.4	11.2	6.4	-	13.6
30歳代男性	227	16	73	42	50	39	23	6	18
	100.0	7.0	32.2	18.5	22.0	17.2	10.1	2.6	7.9
20歳代女性	242	123	90	77	31	55	36	4	23
	100.0	50.8	37.2	31.8	12.8	22.7	14.9	1.7	9.5
30歳代女性	407	148	145	133	49	175	81	5	21
	100.0	36.4	35.6	32.7	12.0	43.0	19.9	1.2	5.2

上段:度数 下段:%	Q1-13 興味のある情報									
	9. 住宅	10. 防犯・防災	11. イベント	12. スポーツ	13. 文化芸術	14. 趣味・教養	15. 読書(本、雑誌)	16. 旅行、観光	17. 金融、相場	18. その他
20歳代男性	16	2	12	42	13	49	26	25	12	7
	12.8	1.6	9.6	33.6	10.4	39.2	20.8	20.0	9.6	5.6
30歳代男性	24	12	15	72	15	80	35	57	24	10
	10.6	5.3	6.6	31.7	6.6	35.2	15.4	25.1	10.6	4.4
20歳代女性	18	2	12	17	27	57	37	57	3	7
	7.4	0.8	5.0	7.0	11.2	23.6	15.3	23.6	1.2	2.9
30歳代女性	29	12	36	21	31	77	56	109	19	5
	7.1	2.9	8.8	5.2	7.6	18.9	13.8	26.8	4.7	1.2

図表 興味のある情報 × 年齢・性別

Q1-13 興味のある情報
× Q4-7 ライフステージ

上段:度数 下段:%		Q1-13 興味のある情報								
		合計	1. ファッション	2. グルメ	3. 買い物	4. 仕事	5. 育児・教育	6. 健康	7. 生涯学習	8. 資格取得
Q4-7 ライフ ステージ	1. 独身	403 100.0	149 37.0	126 31.3	90 22.3	69 17.1	12 3.0	58 14.4	5 1.2	37 9.2
	2. 子どものいない夫婦	180 100.0	55 30.6	77 42.8	54 30.0	26 14.4	18 10.0	36 20.0	4 2.2	14 7.8
	3. 子どもがいる (一番上の子どもが小学校入学前)	235 100.0	69 29.4	63 26.8	66 28.1	35 14.9	175 74.5	29 12.3	3 1.3	15 6.4
	4. 子どもがいる (一番上の子どもが小・中学校)	151 100.0	44 29.1	58 38.4	51 33.8	21 13.9	72 47.7	18 11.9	1 0.7	9 6.0
	5. 子どもがいる (一番上の子どもが高校生以上)	14 100.0	4 28.6	6 42.9	3 21.4	3 21.4	3 21.4	4 28.6	1 7.1	2 14.3
	6. その他	14 100.0	4 28.6	6 42.9	1 7.1	4 28.6	-	2 14.3	1 7.1	3 21.4

上段:度数 下段:%		Q1-13 興味のある情報									
		9. 住宅	10. 防犯・防災	11. イベント	12. スポーツ	13. 文化芸術	14. 趣味・教養	15. 読書 (本、雑誌)	16. 旅行、観光	17. 金融、相場	18. その他
Q4-7 ライフ ステージ	1. 独身	16 4.0	7 1.7	28 6.9	77 19.1	61 15.1	144 35.7	96 23.8	106 26.3	22 5.5	18 4.5
	2. 子どものいない夫婦	21 11.7	4 2.2	4 2.2	20 11.1	15 8.3	48 26.7	33 18.3	62 34.4	14 7.8	3 1.7
	3. 子どもがいる (一番上の子どもが小学校入学前)	36 15.3	9 3.8	27 11.5	23 9.8	7 3.0	40 17.0	13 5.5	37 15.7	13 5.5	3 1.3
	4. 子どもがいる (一番上の子どもが小・中学校)	10 6.6	8 5.3	14 9.3	25 16.6	3 2.0	22 14.6	9 6.0	37 24.5	8 5.3	3 2.0
	5. 子どもがいる (一番上の子どもが高校生以上)	1 7.1	-	-	4 28.6	-	3 21.4	2 14.3	2 14.3	1 7.1	-
	6. その他	2 14.3	-	-	2 14.3	-	6 42.9	1 7.1	4 28.6	-	2 14.3

図表 興味のある情報 × ライフステージ

Q1-13 興味のある情報
× Q4-3 職業

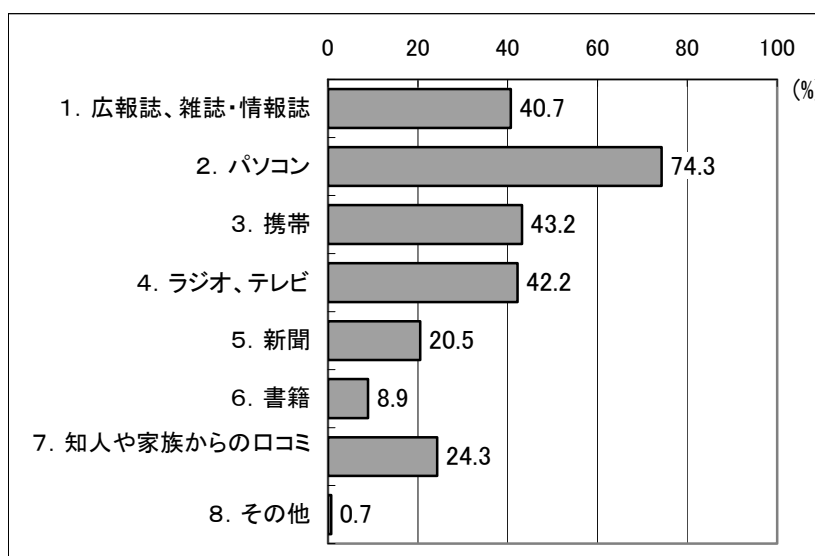
上段:度数 下段:%		Q1-13 興味のある情報								
		合計	1. ファッション	2. グルメ	3. 買い物	4. 仕事	5. 育児・教育	6. 健康	7. 生涯学習	8. 資格取得
Q4-3 職業	1. 自営業・事業主	54 100.0	7 13.0	14 25.9	9 16.7	16 29.6	9 16.7	9 16.7	1 1.9	4 7.4
	2. 事務職	194 100.0	72 37.1	69 35.6	51 26.3	24 12.4	31 16.0	32 16.5	2 1.0	19 9.8
	3. 専門・技術職	217 100.0	65 30.0	75 34.6	57 26.3	31 14.3	50 23.0	27 12.4	6 2.8	17 7.8
	4. 労務・サービス職	97 100.0	28 28.9	34 35.1	19 19.6	18 18.6	16 16.5	7 7.2	-	7 7.2
	5. 役員・管理職	24 100.0	8 33.3	10 41.7	6 25.0	6 25.0	5 20.8	2 8.3	1 4.2	-
	6. パート・アルバイト	131 100.0	46 35.1	43 32.8	38 29.0	25 19.1	32 24.4	33 25.2	1 0.8	10 7.6
	7. 主婦専業	172 100.0	67 39.0	62 36.0	68 39.5	14 8.1	122 70.9	26 15.1	2 1.2	8 4.7
	8. 学生	39 100.0	14 35.9	10 25.6	4 10.3	5 12.8	3 7.7	3 7.7	-	5 12.8
	9. 無職	30 100.0	9 30.0	7 23.3	9 30.0	10 33.3	2 6.7	6 20.0	1 3.3	6 20.0
	10. その他	40 100.0	11 27.5	12 30.0	6 15.0	9 22.5	12 30.0	2 5.0	1 2.5	2 5.0

上段:度数 下段:%		Q1-13 興味のある情報									
		9. 住宅	10. 防犯・防災	11. イベント	12. スポーツ	13. 文化芸術	14. 趣味・教養	15. 読書(本、雑誌)	16. 旅行、観光	17. 金融、相場	18. その他
Q4-3 職業	1. 自営業・事業主	6 11.1	2 3.7	2 3.7	14 25.9	6 11.1	16 29.6	9 16.7	9 16.7	7 13.0	1 1.9
	2. 事務職	12 6.2	4 2.1	9 4.6	24 12.4	19 9.8	54 27.8	39 20.1	67 34.5	18 9.3	4 2.1
	3. 専門・技術職	21 9.7	8 3.7	11 5.1	46 21.2	18 8.3	61 28.1	37 17.1	54 24.9	13 6.0	7 3.2
	4. 労務・サービス職	11 11.3	2 2.1	12 12.4	28 28.9	11 11.3	31 32.0	17 17.5	23 23.7	6 6.2	1 1.0
	5. 役員・管理職	2 8.3	-	1 4.2	4 16.7	-	10 41.7	2 8.3	8 33.3	6 25.0	-
	6. パート・アルバイト	10 7.6	2 1.5	13 9.9	8 6.1	10 7.6	35 26.7	15 11.5	29 22.1	3 2.3	5 3.8
	7. 主婦専業	19 11.0	7 4.1	20 11.6	6 3.5	5 2.9	23 13.4	7 4.1	27 15.7	-	1 0.6
	8. 学生	-	-	3 7.7	13 33.3	9 23.1	15 38.5	14 35.9	10 25.6	2 5.1	3 7.7
	9. 無職	1 3.3	1 3.3	2 6.7	1 3.3	4 13.3	7 23.3	5 16.7	10 33.3	1 3.3	2 6.7
	10. その他	5 12.5	2 5.0	2 5.0	8 20.0	4 10.0	9 22.5	7 17.5	11 27.5	2 5.0	5 12.5

図表 興味のある情報 × 職業

Q1-14 あなたが使いやすい情報入手媒体・方法はなんですか（3つまで）

- 全体では、「パソコン」が最も多くなっている。
- 年齢・性別別では、20歳代は「携帯」が過半数を超え、30歳代女性は「知人や家族からの口コミ」が多くなっている。
- ライフステージ別では、高校生以上の子どもがいる人は「知人や家族からの口コミ」の割合が最も高くなっているが、他は「パソコン」の割合が最も高くなっている。
- 職業別でも「パソコン」以外で過半数を超えているのは、労務・サービス職と学生で「携帯」、パート・アルバイトと無職で「テレビ・ラジオ」である。



図表 使いやすい情報入手媒体・方法（単純集計） N=1018

Q1-14 使いやすい情報入手媒体・方法
× Q4-2.5 年齢・性別

上段:度数 下段:%	Q1-14 使いやすい情報入手媒体・方法								
	合計	1. 広報誌、雑誌・情報誌	2. パソコン	3. 携帯	4. ラジオ、テレビ	5. 新聞	6. 書籍	7. 知人や家族からの口コミ	8. その他
20歳代男性	128	43	109	66	46	22	19	17	-
	100.0	33.6	85.2	51.6	35.9	17.2	14.8	13.3	-
30歳代男性	228	82	178	82	98	63	29	28	3
	100.0	36.0	78.1	36.0	43.0	27.6	12.7	12.3	1.3
20歳代女性	244	96	177	147	115	30	17	54	1
	100.0	39.3	72.5	60.2	47.1	12.3	7.0	22.1	0.4
30歳代女性	409	191	286	142	168	93	24	146	3
	100.0	46.7	69.9	34.7	41.1	22.7	5.9	35.7	0.7

図表 使いやすい情報入手媒体・方法 × 年齢・性別

Q1-14 使いやすい情報入手媒体・方法
× Q4-7 ライフステージ

上段:度数 下段:%		Q1-14 使いやすい情報入手媒体・方法								
		合計	1. 広報誌、雑誌・情報誌	2. パソコン	3. 携帯	4. ラジオ、テレビ	5. 新聞	6. 書籍	7. 知人や家族からの口コミ	8. その他
Q4-7 ライフ ステージ	1. 独身	408 100.0	155 38.0	306 75.0	198 48.5	175 42.9	97 23.8	50 12.3	64 15.7	3 0.7
	2. 子どものいない夫婦	180 100.0	79 43.9	161 89.4	68 37.8	78 43.3	29 16.1	11 6.1	30 16.7	- -
	3. 子どもがいる(一番上の子どもが小学校入学前)	237 100.0	102 43.0	170 71.7	106 44.7	99 41.8	42 17.7	15 6.3	75 31.6	2 0.8
	4. 子どもがいる(一番上の子どもが小・中学校)	152 100.0	67 44.1	91 59.9	51 33.6	60 39.5	38 25.0	8 5.3	65 42.8	- -
	5. 子どもがいる(一番上の子どもが高校生以上)	14 100.0	5 35.7	8 57.1	5 35.7	6 42.9	2 14.3	2 14.3	9 64.3	- -
	6. その他	14 100.0	4 28.6	11 78.6	7 50.0	8 57.1	1 7.1	4 28.6	2 14.3	1 7.1

図表 使いやすい情報入手媒体・方法 × ライフステージ

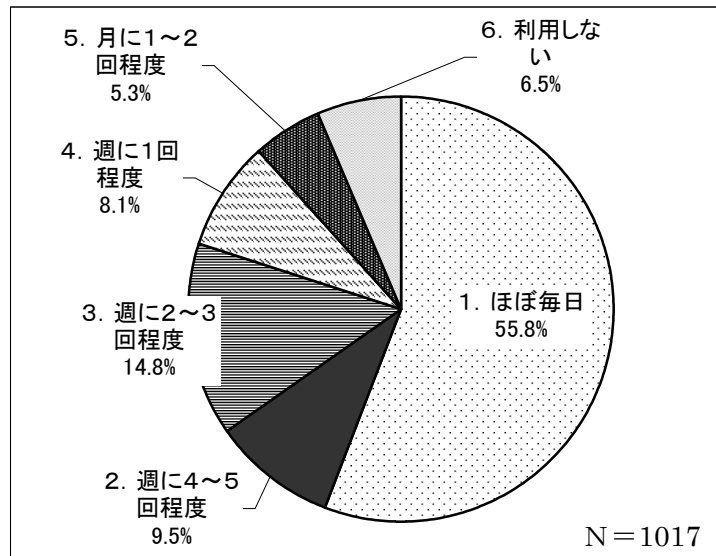
Q1-14 使いやすい情報入手媒体・方法
× Q4-3 職業

上段:度数 下段:%		Q1-14 使いやすい情報入手媒体・方法								
		合計	1. 広報誌、雑誌・情報誌	2. パソコン	3. 携帯	4. ラジオ、テレビ	5. 新聞	6. 書籍	7. 知人や家族からの口コミ	8. その他
Q4-3 職業	1. 自営業・事業主	54 100.0	16 29.6	35 64.8	22 40.7	24 44.4	13 24.1	7 13.0	10 18.5	1 1.9
	2. 事務職	196 100.0	77 39.3	163 83.2	72 36.7	70 35.7	43 21.9	19 9.7	43 21.9	- -
	3. 専門・技術職	219 100.0	85 38.8	180 82.2	98 44.7	91 41.6	40 18.3	23 10.5	38 17.4	1 0.5
	4. 労務・サービス職	97 100.0	41 42.3	70 72.2	50 51.5	36 37.1	27 27.8	10 10.3	18 18.6	1 1.0
	5. 役員・管理職	25 100.0	7 28.0	24 96.0	9 36.0	10 40.0	8 32.0	3 12.0	2 8.0	- -
	6. パート・アルバイト	134 100.0	66 49.3	83 61.9	63 47.0	68 50.7	20 14.9	7 5.2	37 27.6	1 0.7
	7. 主婦専業	172 100.0	84 48.8	107 62.2	71 41.3	79 45.9	32 18.6	4 2.3	81 47.1	1 0.6
	8. 学生	39 100.0	8 20.5	35 89.7	24 61.5	17 43.6	9 23.1	7 17.9	7 17.9	- -
	9. 無職	30 100.0	8 26.7	23 76.7	12 40.0	15 50.0	5 16.7	7 23.3	3 10.0	1 3.3
	10. その他	41 100.0	19 46.3	28 68.3	14 34.1	16 39.0	10 24.4	3 7.3	5 12.2	1 2.4

図表 使いやすい情報入手媒体・方法 × 職業

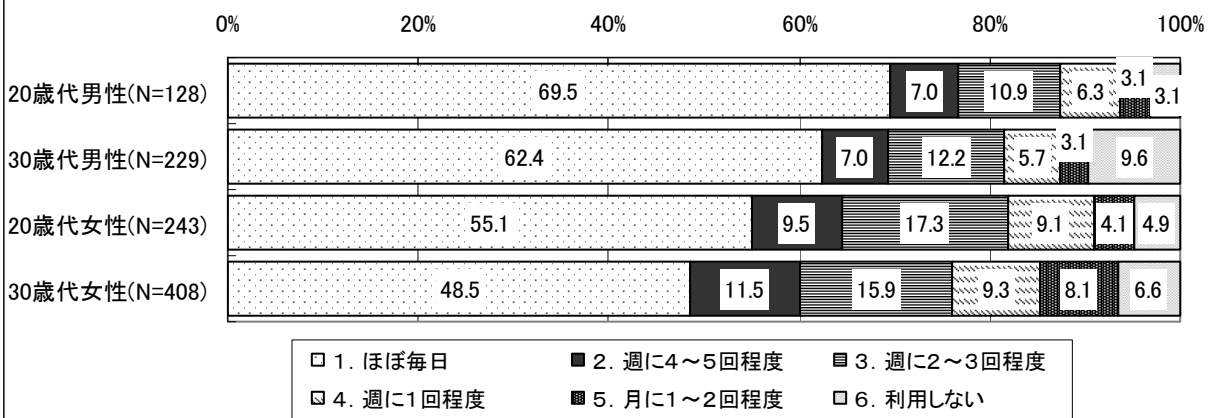
Q1-15 インターネットの利用の頻度はどの程度ですか（1つ）

- 全体では、「ほぼ毎日」インターネットを利用している人が過半数である。
- 年齢・性別別では、男性において、インターネットの利用頻度が高い。
- ライフステージ別では、子どもがいる夫婦（一番上の子供が小・中学校）でインターネットの利用頻度が低い。
- 職業別では、主婦専業、パート・アルバイトで、インターネットの利用頻度が低い。

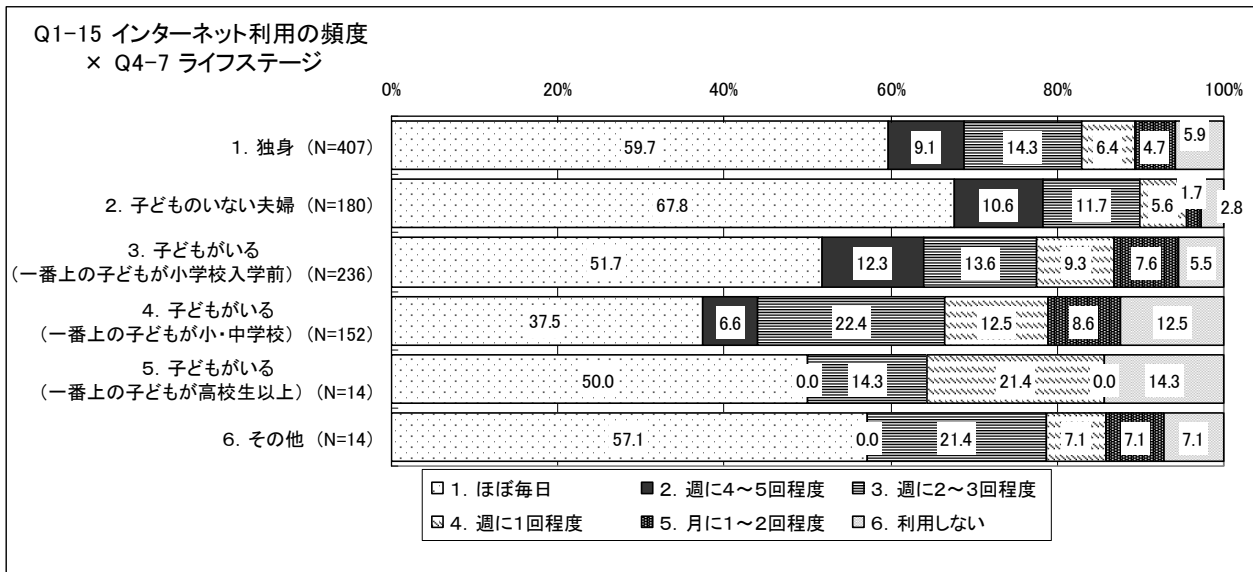


図表 インターネット利用の頻度（単純集計）

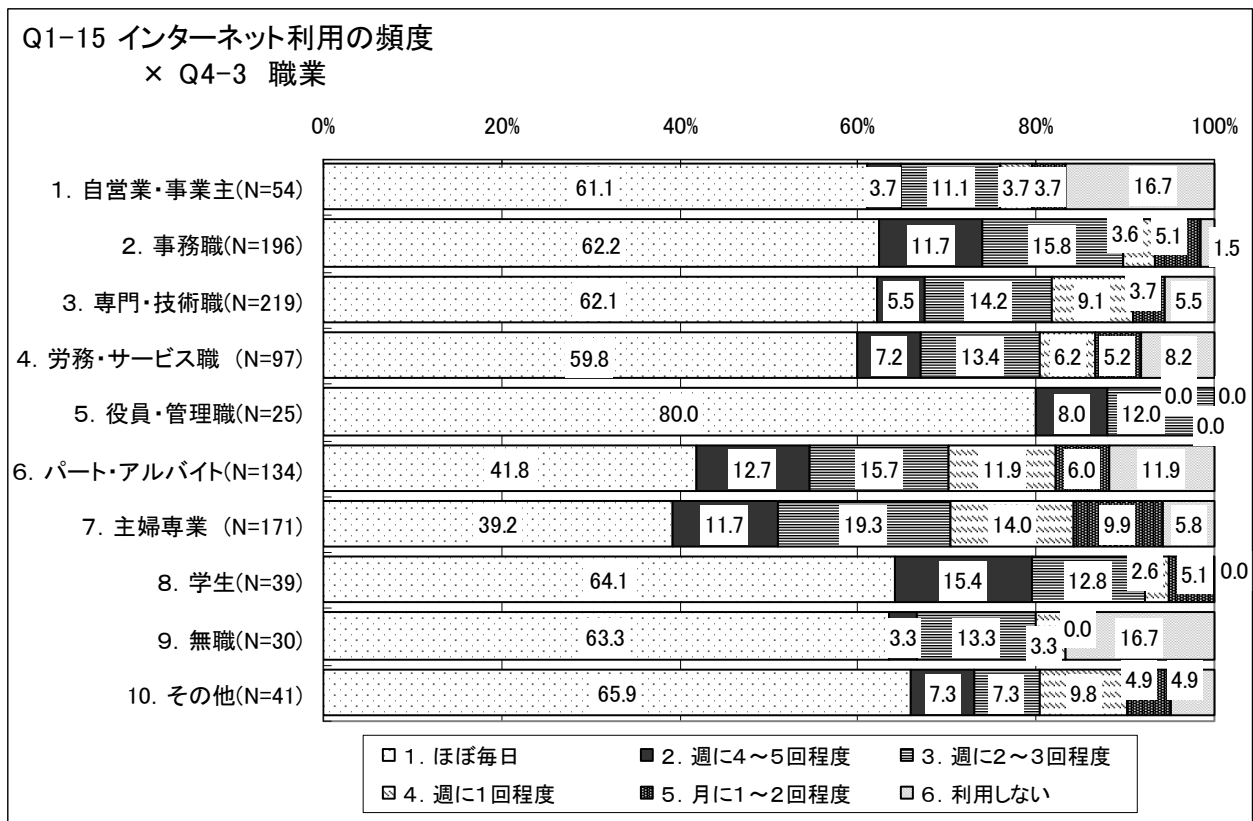
Q1-15 インターネット利用の頻度
× Q4-2.5 年齢



図表 インターネット利用の頻度 × 年齢



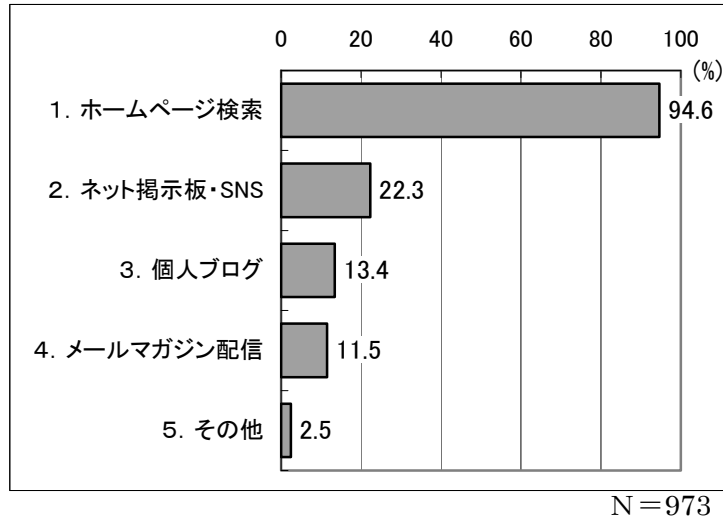
図表 インターネット利用の頻度×ライフステージ



図表 インターネット利用の頻度 × 職業

Q1-16 インターネットから情報入手する際、主に何を利用しますか（3つまで）

- 全体では、「ホームページ検索」がほぼ9割を占める結果となっている。
- 年齢・性別別では20歳代が、職業別では学生、無職が、「ネット掲示板・SNS」を比較的多く利用している傾向にある。



図表 情報入手に利用するサイト

Q1-16 情報入手に利用するサイト
× Q4-2.5 年齢・性別

上段:度数 下段:%	Q1-16 情報入手に利用するサイト					
	合計	1. ホームページ検索	2. ネット掲示板・SNS	3. 個人ブログ	4. メールマガジン配信	5. その他
20歳代男性	126	117	45	18	9	3
	100.0	92.9	35.7	14.3	7.1	2.4
30歳代男性	213	200	49	22	27	6
	100.0	93.9	23.0	10.3	12.7	2.8
20歳代女性	236	225	60	34	23	5
	100.0	95.3	25.4	14.4	9.7	2.1
30歳代女性	390	370	62	56	52	10
	100.0	94.9	15.9	14.4	13.3	2.6

図表 情報入手に利用するサイト ×年齢・性別

Q1-16 情報入手に利用するサイト
× Q4-7 ライフステージ

上段:度数 下段:%		Q1-16 情報入手に利用するサイト					
		合計	1. ホーム ページ検索	2. ネット掲 示板・SNS	3. 個人プロ グ	4. メールマ ガジン配信	5. その他
Q4-7 ライフ ステー ジ	1. 独身	388	361	111	51	51	13
		100.0	93.0	28.6	13.1	13.1	3.4
	2. 子どものいな い夫婦	178	175	35	28	14	1
		100.0	98.3	19.7	15.7	7.9	0.6
	3. 子どもがいる (一番上の子ども が小学校入学前)	231	220	50	33	26	4
		100.0	95.2	21.6	14.3	11.3	1.7
4. 子どもがいる (一番上の子ども が小・中学校)	138	130	13	13	19	3	
	100.0	94.2	9.4	9.4	13.8	2.2	
5. 子どもがいる (一番上の子ども が高校生以上)	12	11	3	3	-	-	
	100.0	91.7	25.0	25.0	-	-	
6. その他	13	12	4	2	1	1	
	100.0	92.3	30.8	15.4	7.7	7.7	

図表 情報入手に利用するサイト × ライフステージ

Q1-16 情報入手に利用するサイト
× Q4-3 職業

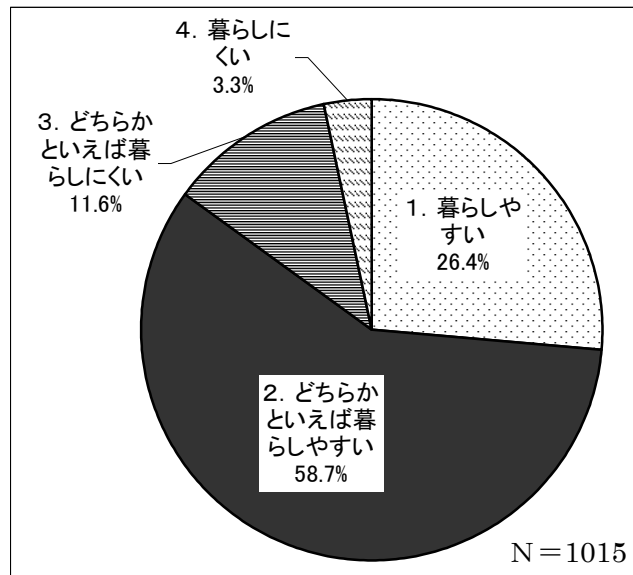
上段:度数 下段:%		Q1-16 情報入手に利用するサイト					
		合計	1. ホーム ページ検索	2. ネット掲 示板・SNS	3. 個人プロ グ	4. メールマ ガジン配信	5. その他
Q4-3 職業	1. 自営業・ 事業主	47	41	13	7	9	1
		100.0	87.2	27.7	14.9	19.1	2.1
	2. 事務職	193	191	33	28	19	1
		100.0	99.0	17.1	14.5	9.8	0.5
	3. 専門・技 術職	212	199	49	20	21	5
		100.0	93.9	23.1	9.4	9.9	2.4
	4. 労務・ サービス職	91	82	21	13	13	-
		100.0	90.1	23.1	14.3	14.3	-
	5. 役員・管 理職	25	25	5	3	3	1
		100.0	100.0	20.0	12.0	12.0	4.0
6. パート・ アルバイト	121	114	29	17	19	4	
	100.0	94.2	24.0	14.0	15.7	3.3	
7. 主婦専 業	167	160	30	24	20	5	
	100.0	95.8	18.0	14.4	12.0	3.0	
8. 学生	39	37	17	6	-	1	
	100.0	94.9	43.6	15.4	-	2.6	
9. 無職	30	25	10	5	5	4	
	100.0	83.3	33.3	16.7	16.7	13.3	
10. その他	39	37	8	7	3	2	
	100.0	94.9	20.5	17.9	7.7	5.1	

図表 情報入手に利用するサイト × 職業

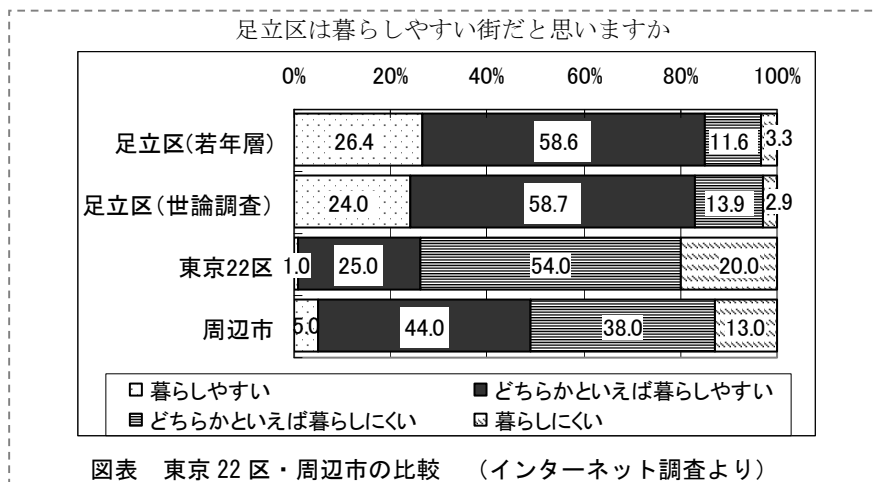
(2) 足立区について

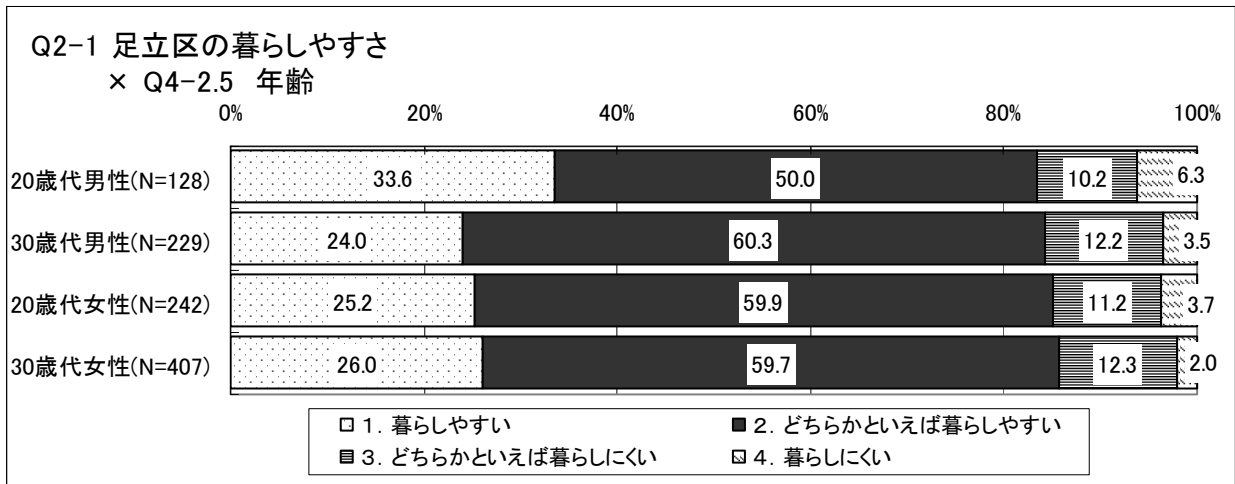
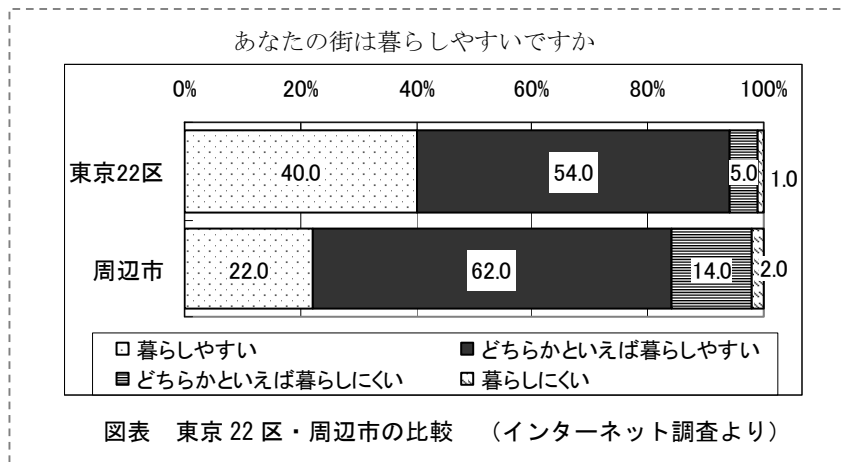
Q2-1 足立区は暮らしやすい街ですか (1つ)

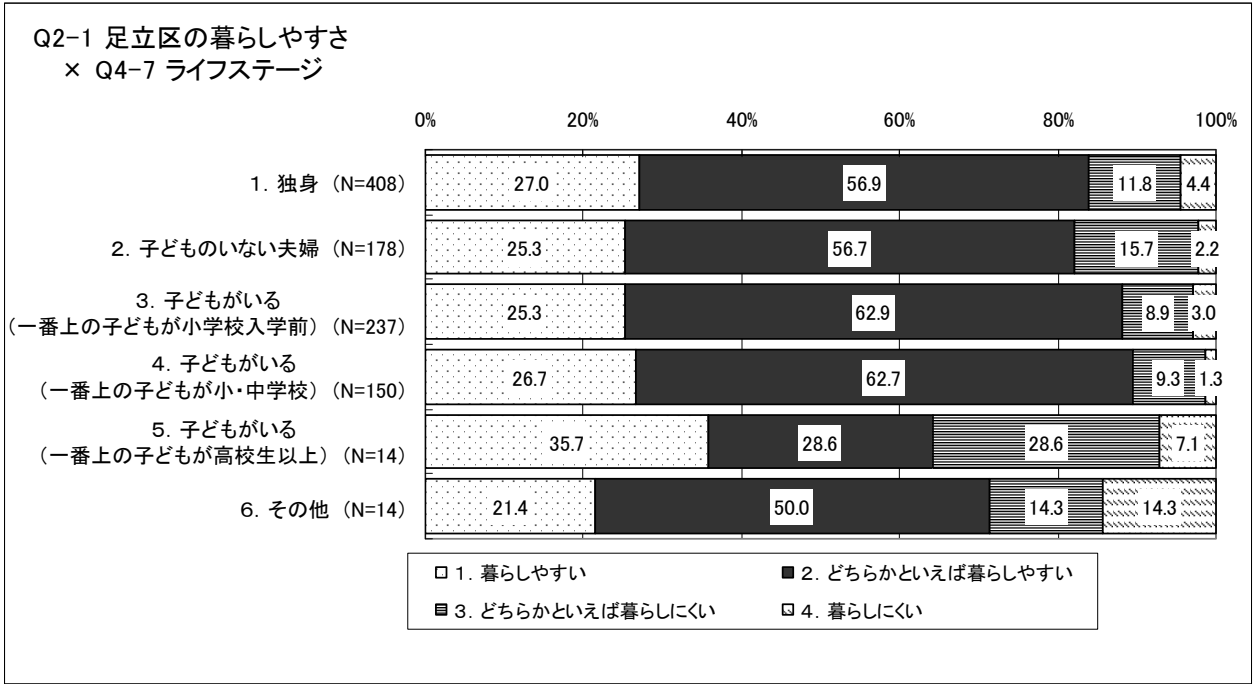
- 全体では、「暮らしやすい」「どちらかといえば暮らしやすい」と回答した人が約 85%である。
- 東京 22 区、周辺市の回答を見ると、東京 22 区の足立区に対する評価が低いことが伺える。
- 東京 22 区、周辺市でも、自分の街が「暮らしやすい」「どちらかといえば暮らしやすい」と回答した人はそれぞれ 94%、84%と高い。
- 居住歴は意見に大きな影響を与えていないことが伺える。
- ライフステージ別の高校生以上の子どもがいる人、ブロック別の江北地域の人は「どちらかといえば暮らしにくい」の回答が他に比べ多く見られる。
- ブロック別の回答を見ると、「暮らしやすい」「どちらかといえば暮らしやすい」と回答した人が多いのは伊興・西新井、竹の塚であるが、世論調査では保塚・六町、梅田となっている。



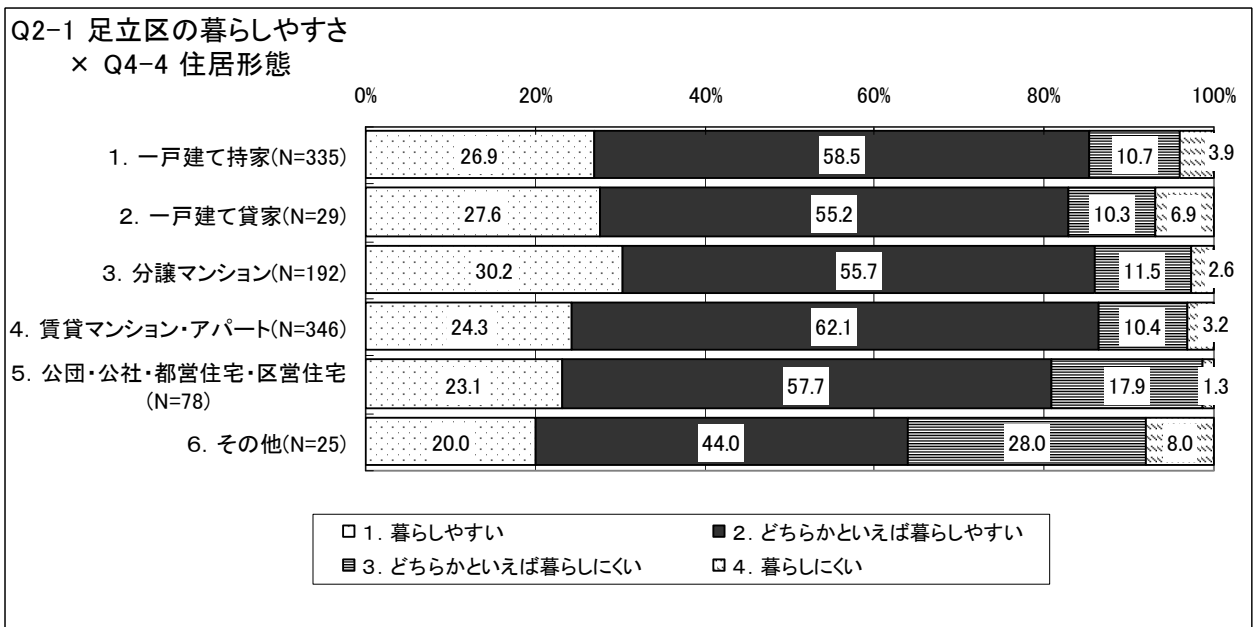
図表 足立区の暮らしやすさ (単純集計)





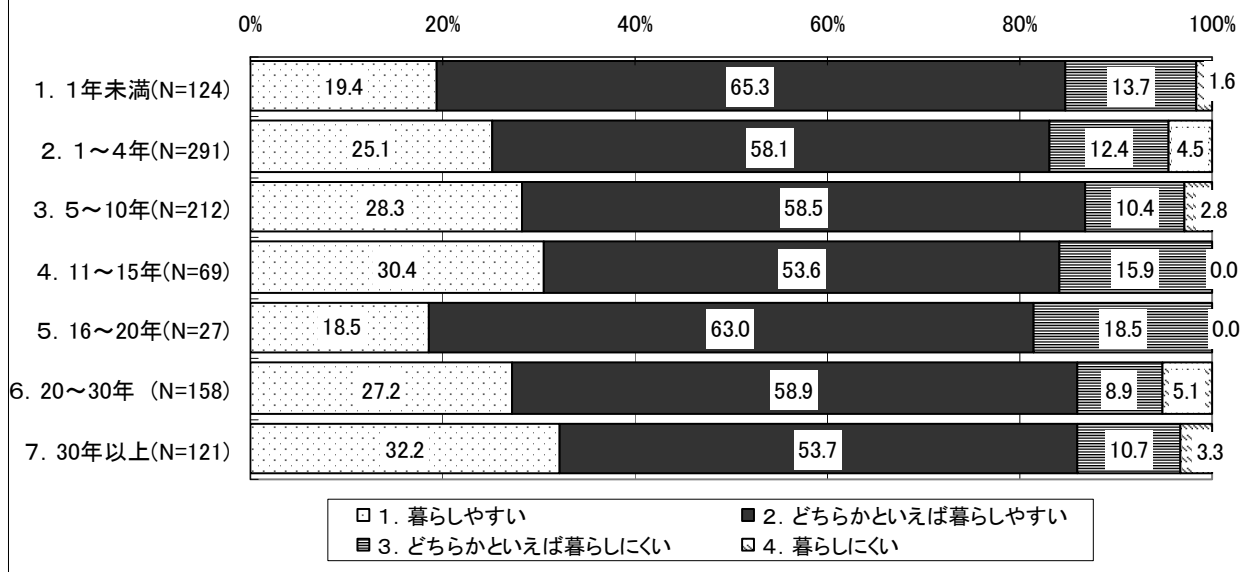


図表 Q2-1 足立区の暮らしやすさ × ライフステージ



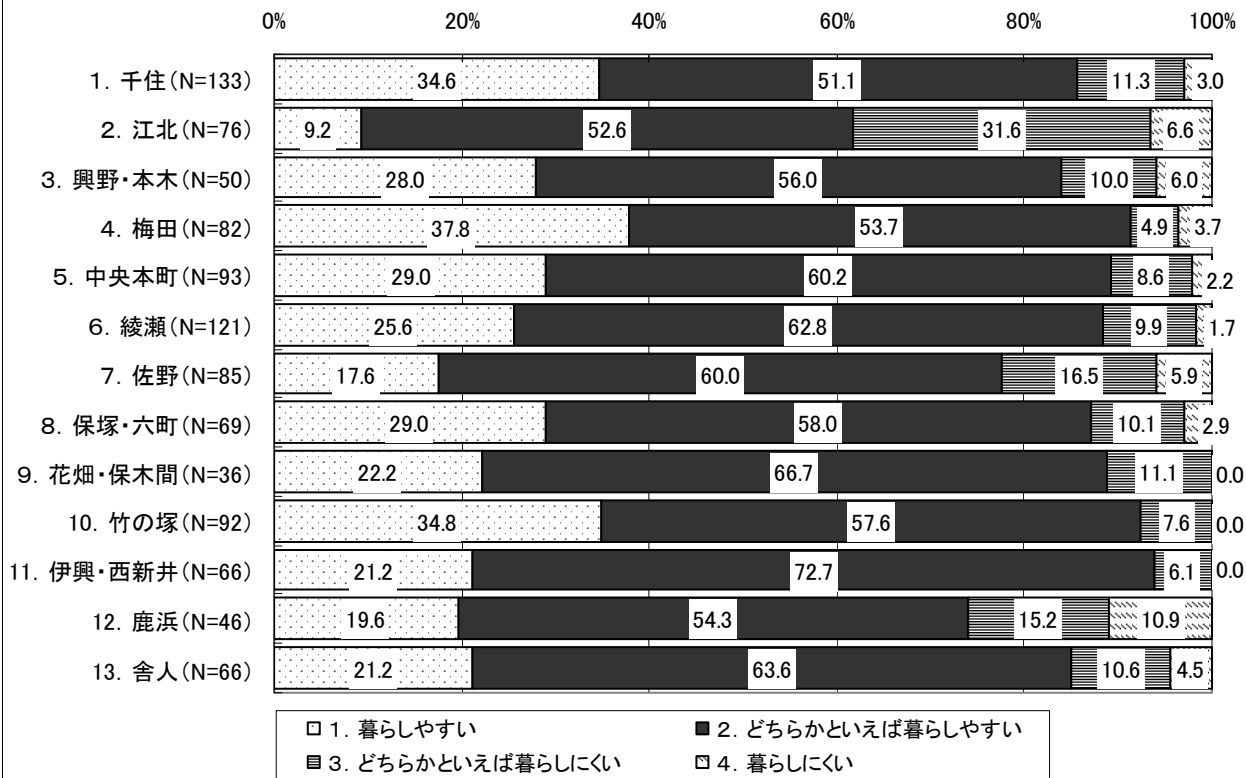
図表 足立区の暮らしやすさ × 住居形態

Q2-1 足立区の暮らしやすさ
× Q4-8 居住歴



図表 足立区の暮らしやすさ × 居住歴

Q2-1 足立区の暮らしやすさ
× ブロック



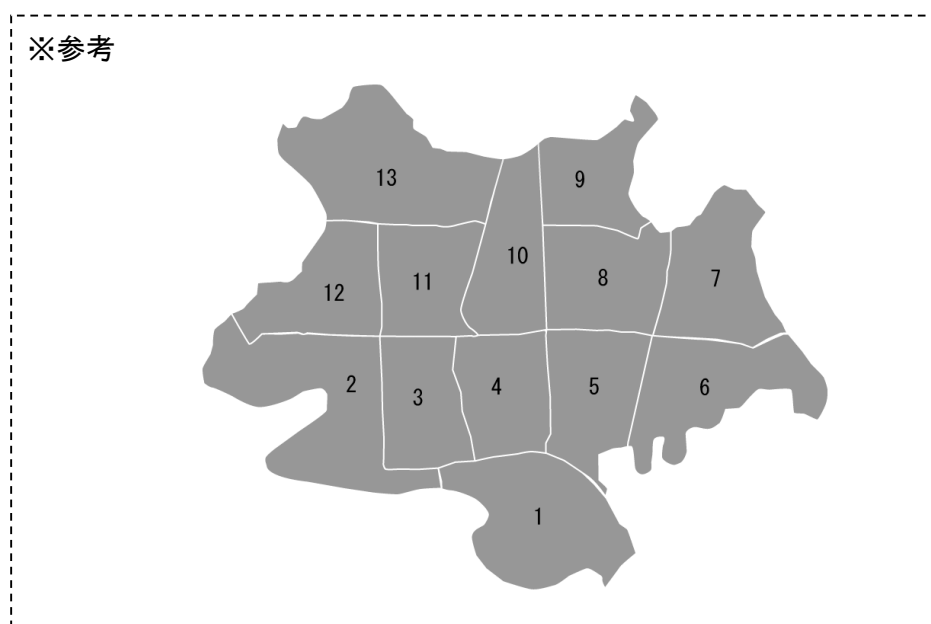
図表 足立区の暮らしやすさ × ブロック

	足立区(若年層)		足立区(世論調査)	
1位	11. 伊興・西新井	93.9%	8. 保塚・六町	90.6%
2位	10. 竹の塚	92.4%	4. 梅田	89.7%
3位	4. 梅田	91.5%	1. 千住	88.7%
4位	5. 中央本町	89.2%	6. 綾瀬	87.8%
5位	9. 花畑・保木間	88.9%	12. 鹿浜	87.0%

※「暮らしやすい」・「どちらかといえば暮らしやすい」と回答した人の割合

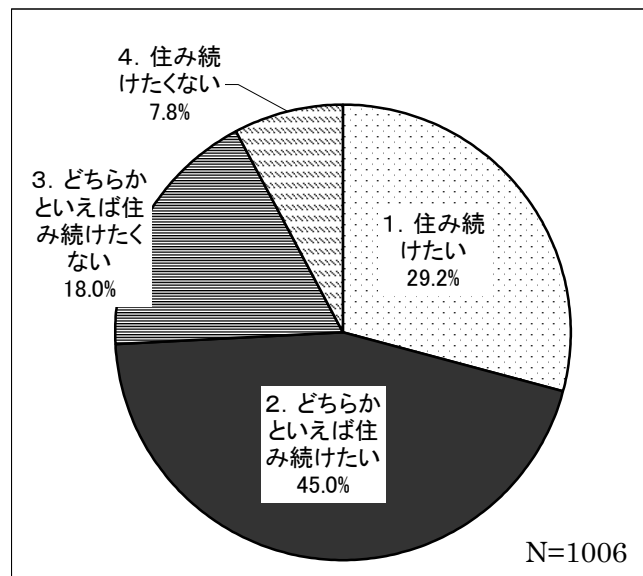
	足立区(若年層)		足立区(世論調査)	
1位	11. 伊興・西新井	93.9	8. 保塚・六町	90.6
2位	10. 竹の塚	92.4	4. 梅田	89.7
3位	4. 梅田	91.5	1. 千住	88.7
4位	5. 中央本町	89.2	6. 綾瀬	87.8
5位	9. 花畑・保木間	88.9	12. 鹿浜	87
6位	6. 綾瀬	88.4	5. 中央本町	85.3
7位	8. 保塚・六町	87.0	10. 竹の塚	84.4
8位	1. 千住	85.7	11. 伊興・西新井	83.5
9位	13. 舎人	84.8	9. 花畑・保木間	77
10位	3. 興野・本木	84.0	13. 舎人	76.8
11位	7. 佐野	77.6	3. 興野・本木	76.2
12位	12. 鹿浜	73.9	7. 佐野	72.1
13位	2. 江北	61.8	2. 江北	66.7

図表 足立区の暮らしやすさ 若年層と世論調査の比較

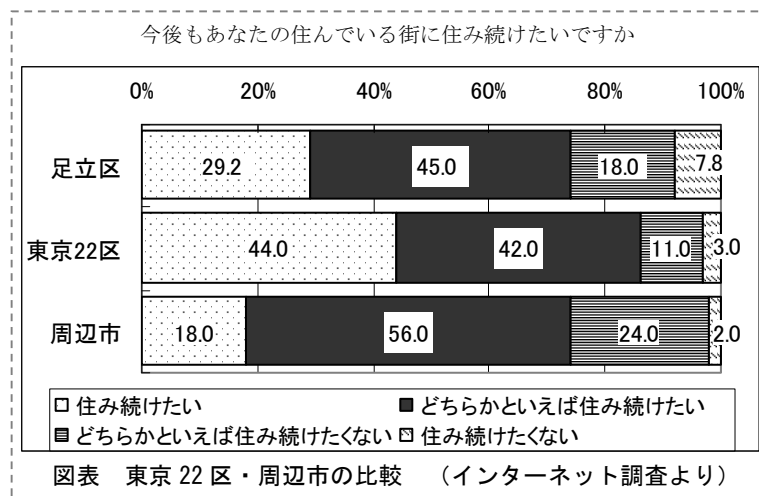


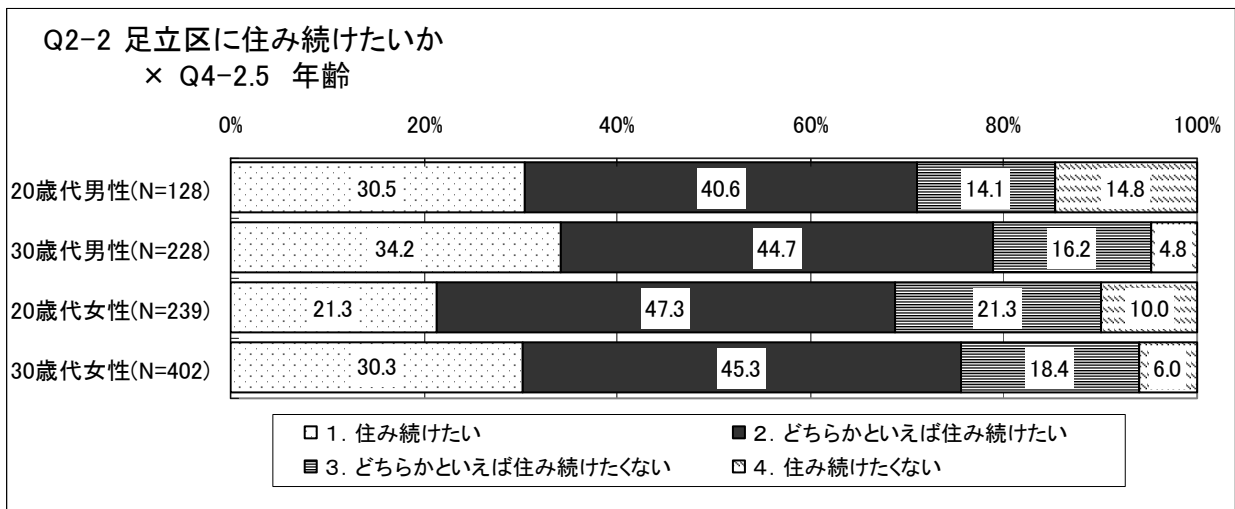
Q2-2 今後も足立区に住み続けたいですか（1つ）

- 全体では、「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と回答した人が7割以上である。
- 東京22区、周辺市と比較すると、東京22区の住民は、（自分の住んでいる街に）「住み続けたい」との回答が足立区や周辺市より多い。
- 年齢・性別別の30歳代男性、ライフステージ別の小・中学校の子どもがいる人、居住形態別の一戸建て持家、分譲マンションの人、ブロック別の梅田、花畑・保木間の人には、「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と回答した人が他と比べて多い傾向にある。
- 居住歴別でみると、居住歴が短い人に「どちらかといえば住み続けたくない」という回答がやや多く、居住歴が長い人は「住み続けたい」という回答が多い。
- 世論調査のブロック別では、鹿浜、舎人地区で「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と回答した人が多い。

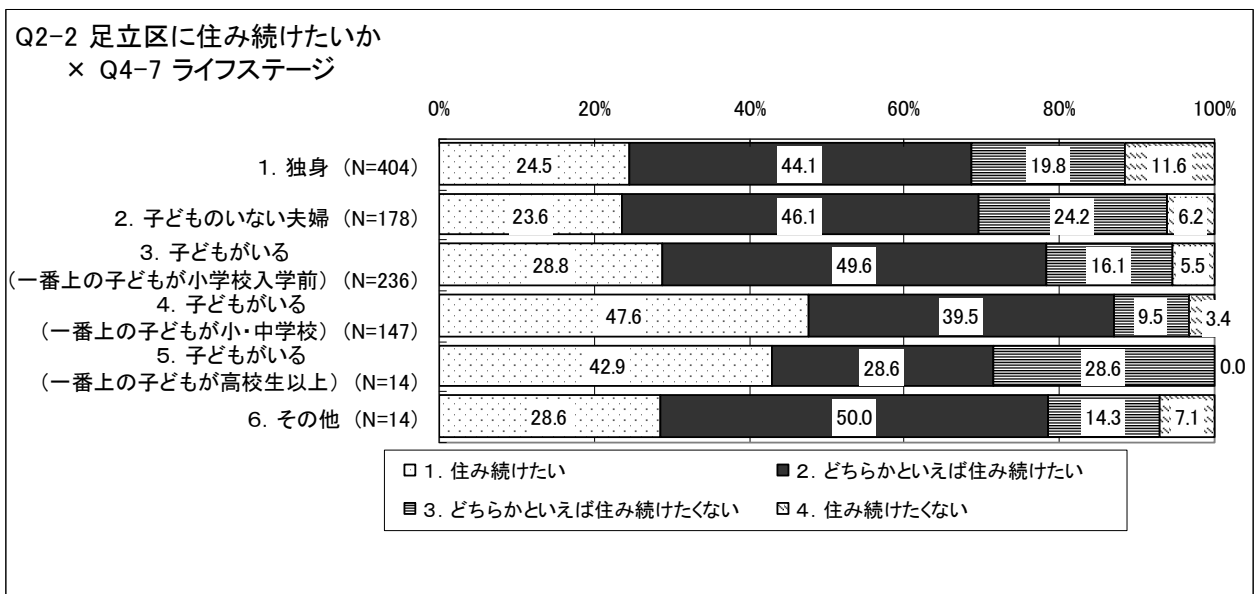


図表 足立区に住み続けたいか（単純集計）



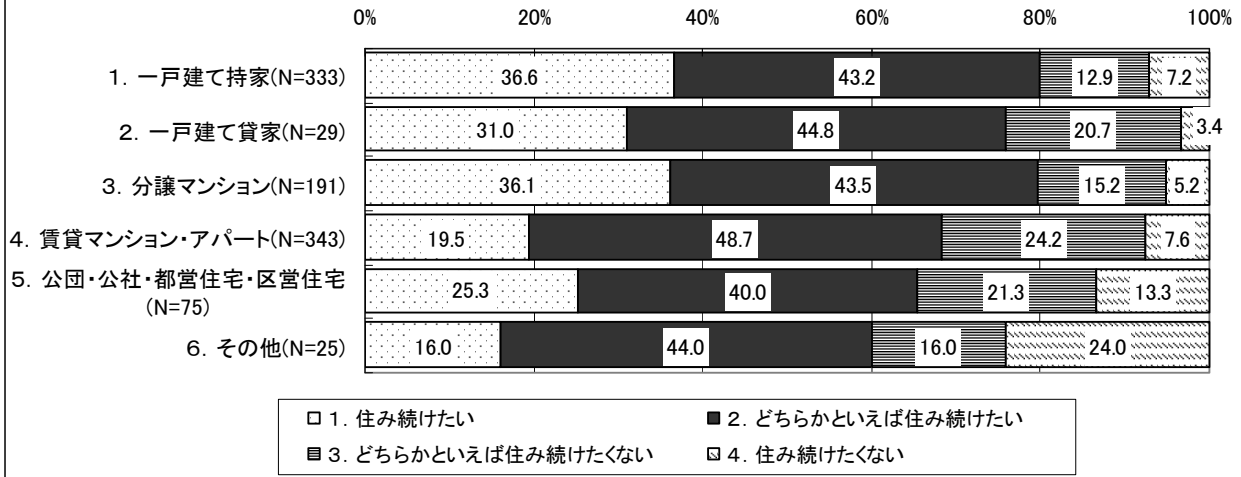


図表 足立区に住みたいか × 年齢



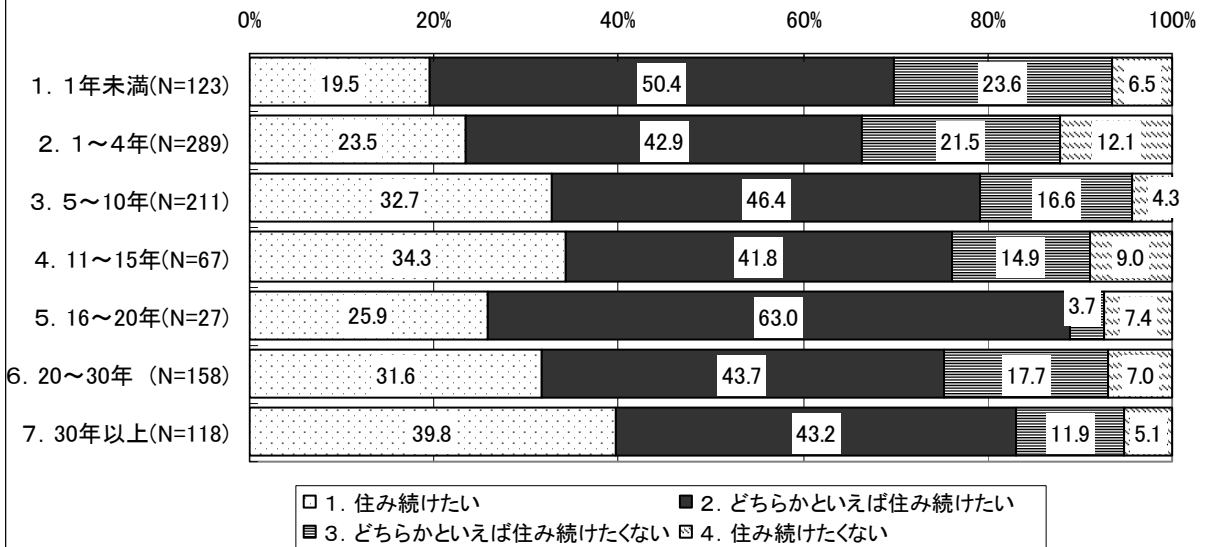
図表 足立区に住みたいか × ライフステージ

Q2-2 足立区に住み続けたいか
× Q4-4 住居形態



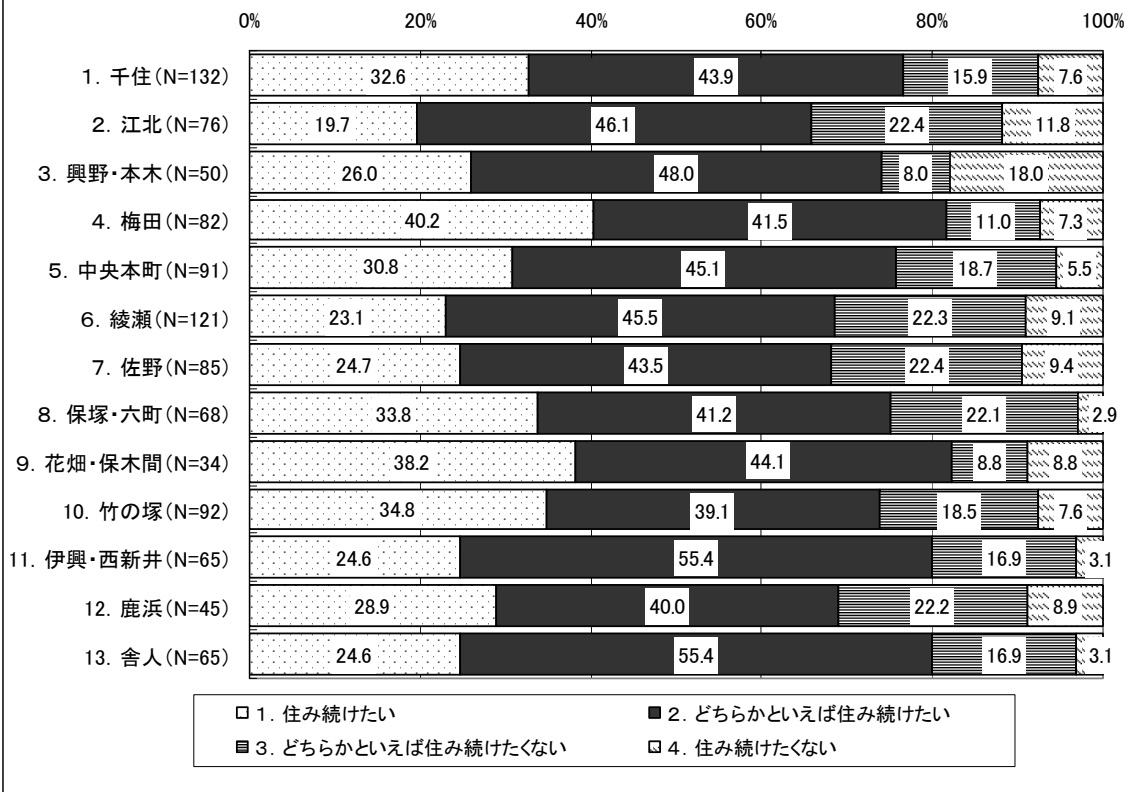
図表 足立区に住み続けたいか × 住居形態

Q2-2 足立区に住み続けたいか
× Q4-8 居住歴



図表 足立区に住み続けたいか × 居住歴

Q2-2 足立区に住み続けたいか
× ブロック

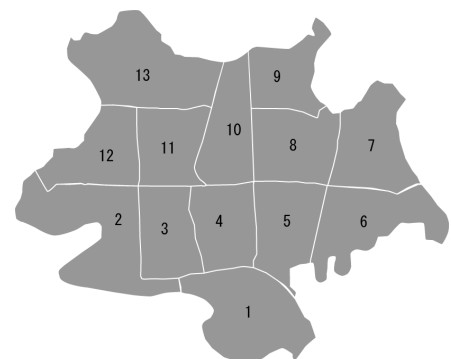


図表 足立区に住み続けたいか × ブロック

	足立区(若年層)		足立区(世論調査)	
1位	9. 花畑・保木間	82.3%	12. 鹿浜	88.3%
2位	4. 梅田	81.7%	13. 舎人	85.0%
3位	11. 伊興・西新井	80.0%	8. 保塚・六町	82.3%
4位	13. 舎人	80.0%	1. 千住	82.2%
5位	1. 千住	76.5%	6. 綾瀬	80.7%

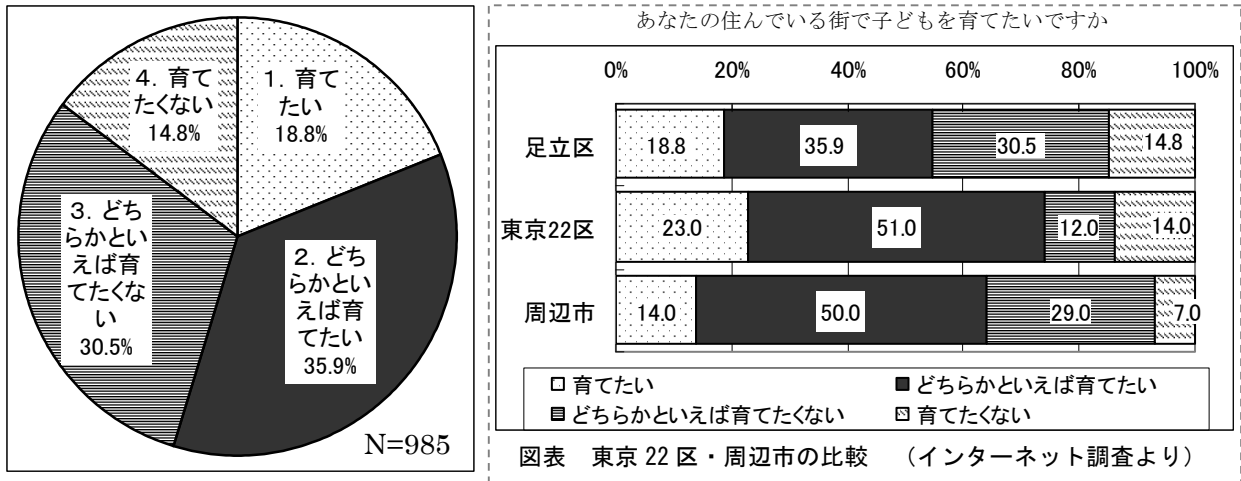
※「住み続けたい」・「どちらかと言えば（当分の間）住み続けたい」と回答した人の割合

図表 足立区の暮らしやすさ 若年層と世論調査の比較

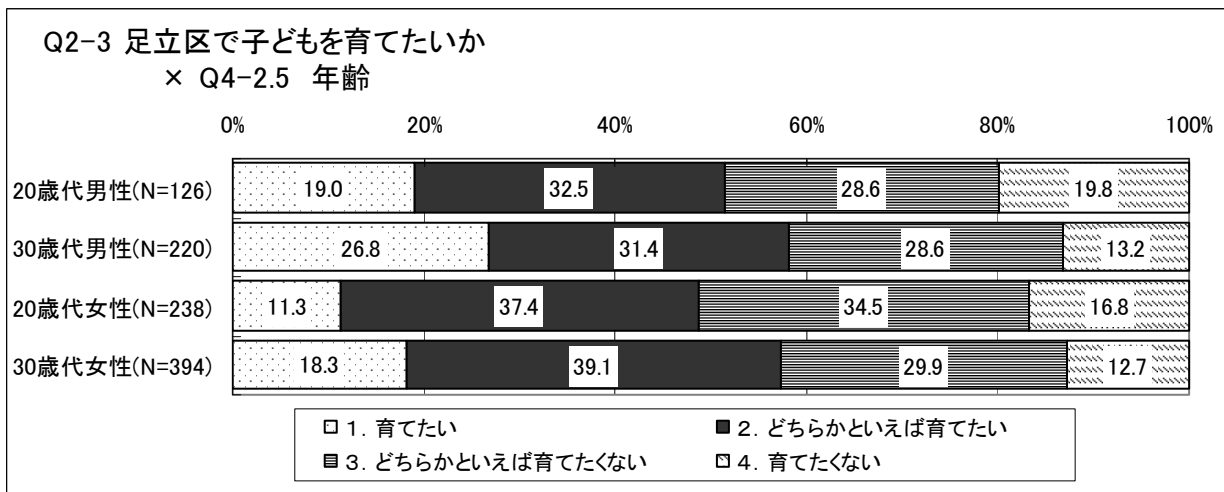


Q2-3 子どもを足立区で育てたいですか（1つ）

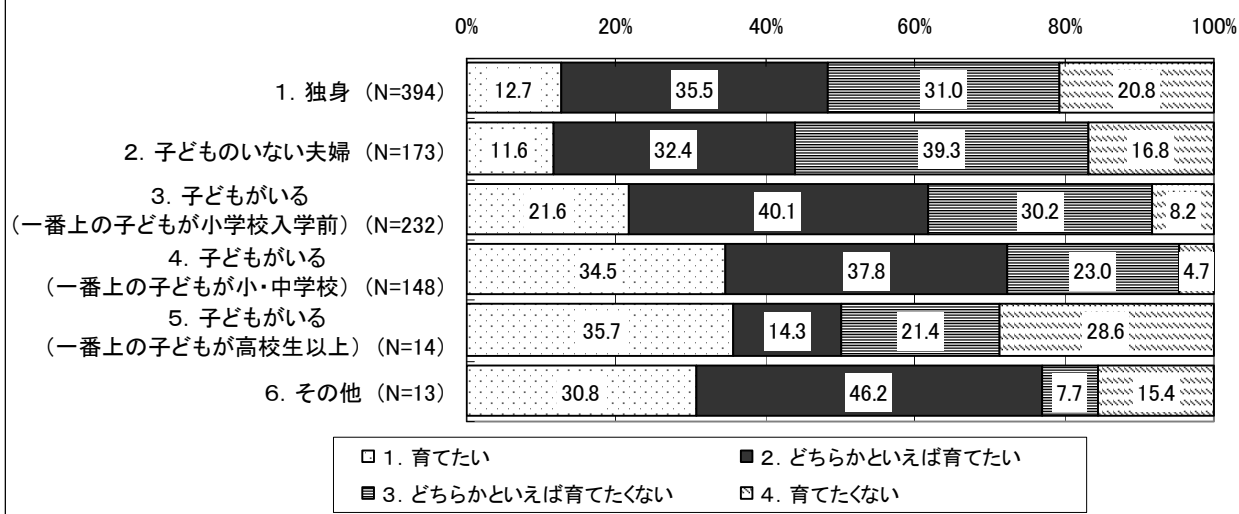
- 全体では「育てたい」「どちらかといえば育てたい」と回答した人が過半数を超えている。
- 東京 22 区、周辺市と比較すると、足立区は「育てたい」「どちらかといえば育てたい」の合計が他より低い。
- 年齢・性別別では、30 歳代は「育てたい」「どちらかといえば育てたい」と回答した人が過半数を超えているが、20 歳代は超えていない。
- ライフステージ別では、小学校入学前、小・中学校の子どもがいる人は「育てたい」「どちらかといえば育てたい」と回答した人が多く、子どもがいない夫婦は「どちらかといえば育てたくない」傾向にある。
- 居住歴別でみると、居住歴が長い程「育てたい」「どちらかといえば育てたい」と回答した人が多い。



図表 足立区で子どもを育てたいか
（単純集計）

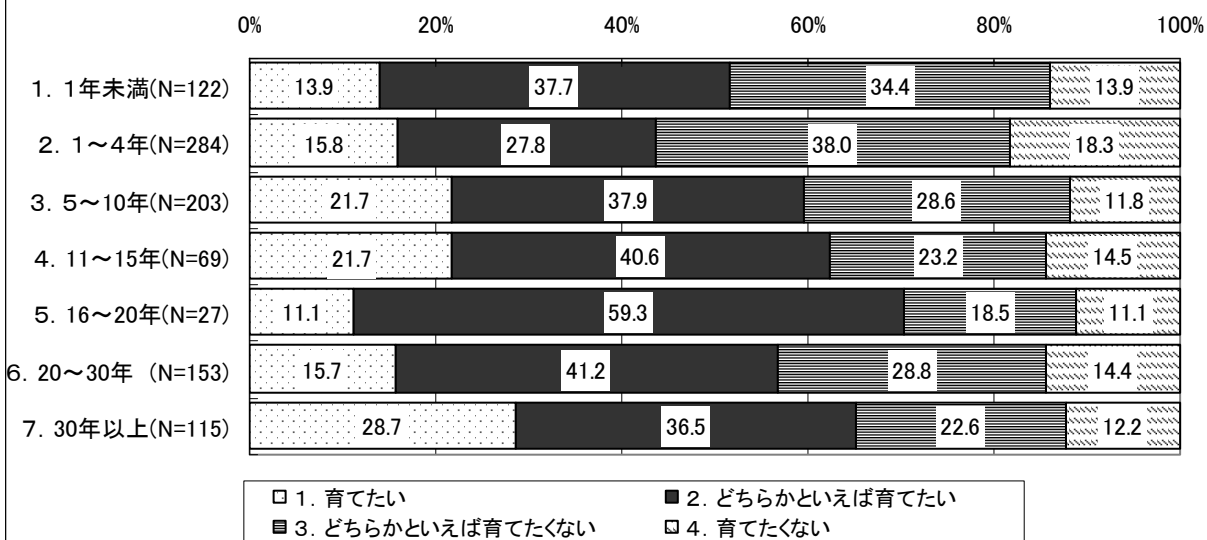


Q2-3 足立区で子どもを育てたいか
× Q4-7 ライフステージ



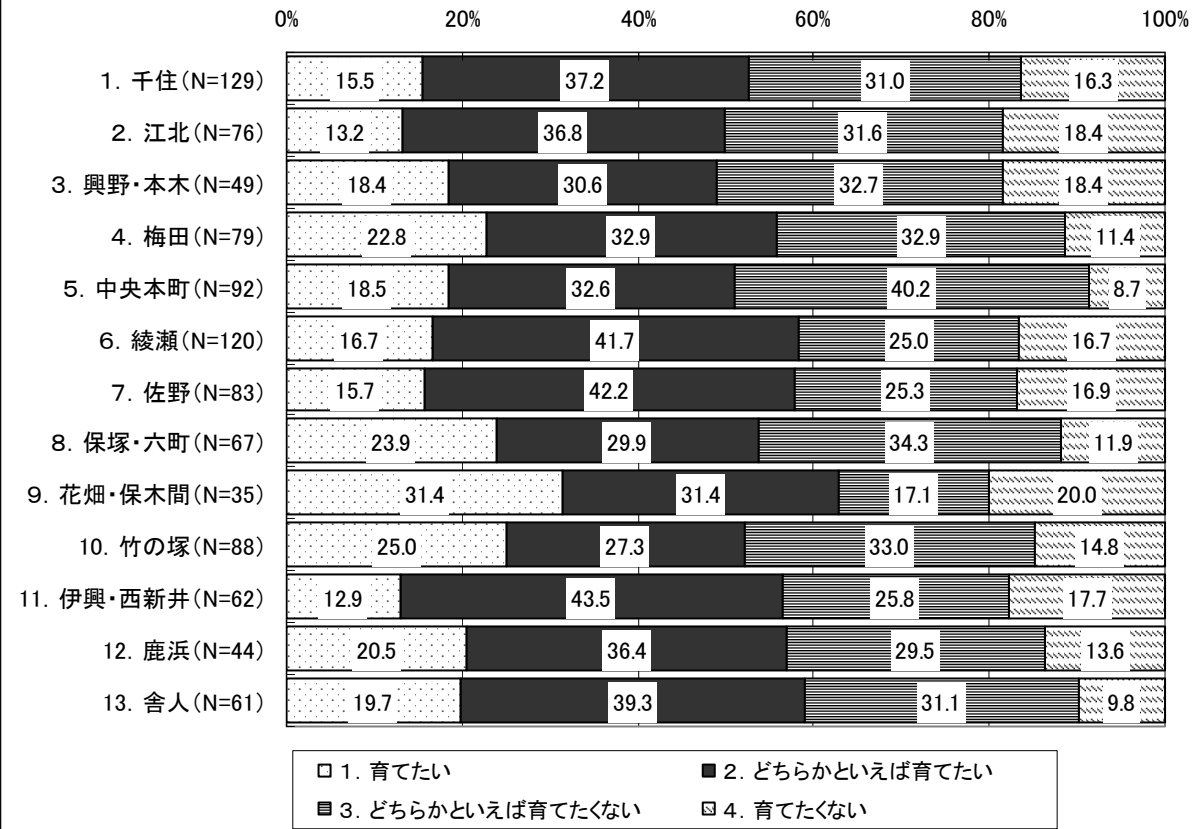
図表 足立区で子どもを育てたいか × ライフステージ

Q2-3 足立区で子どもを育てたいか
× Q4-8 居住歴



図表 足立区で子どもを育てたいか × 居住歴

Q2-3 足立区で子どもを育てたいか
× ブロック



図表 足立区で子どもを育てたいか × ブロック

Q2-3 (2) その理由は？

- 子どもを「育てたい」「どちらかといえば育てたい」理由としては、「自身が生まれ育ったところである」「医療費無料など子育て支援の充実」「公園・区の施設の充実」「親族が近くに住んでいる」為などが挙げられる。
- 子どもを「どちらかといえば育てたくない」「育てたくない」理由としては、「教育・学力のレベルの低さ」「治安の悪さ」「親や子ども・人のマナーやモラルの低さ」「ガラの悪い人・ヤンキーの多さ」などが挙げられる。

項目	件数
子供を育てたい	185 件
どちらかという育てたい	353 件
どちらかという育てたくない	303 件
育てたくない	146 件

● 育てたい理由

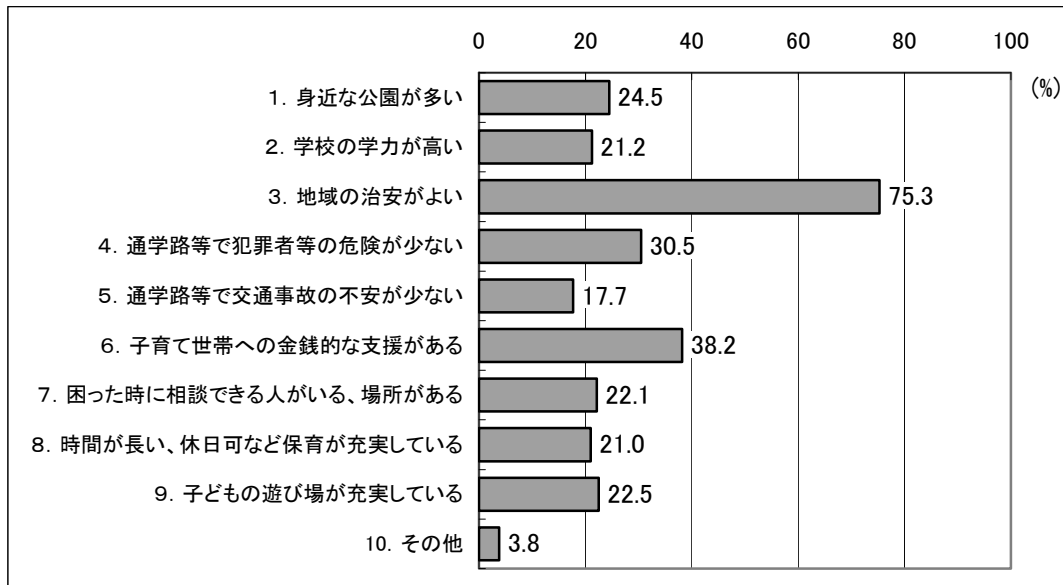
項目	主な意見	性別	年代	ブロック
子供を育てたい (185件)	下町文化のような、ご近所との関係が結構成り立っているから、地域と密接して育ててほしい。	女性	20代後半	1
	妊娠中、出産後を含めて、相談できる場所や公共施設などが身近にある	女性	30代後半	1
	自分の生まれ育った場所で、子供にも味あわせたいです。	男性	20代後半	3
	自分の地元だし、子供を転校させるのが嫌だから	女性	30代後半	4
	5年前に足立区に引っ越してきたのですが、こちらへ来てからの方が子供が明るくなり、私もお友達が増え、とても楽しく過ごしています。	女性	30代後半	5
	食育に力を入れている。子育て支援に対しての区の方針がしっかりしている	男性	30代後半	6
	医療証などの子育て支援や、学校での流行的ないろいろの対応がいたため	女性	20代後半	7
	保育園、幼稚園の補助、予防接種の補助、公園や区の施設が多いこと、子育てにはとても積極的だと感じています。	女性	20代後半	8
	ずっと住んでいるが住みやすい、環境も良いと思う。緑も多いし、公園もたくさんあるし、子どもにもいいと思う。	男性	20代後半	9
	公園が多い。児童館や子育てサロンが点在し、赤ちゃん→就学まで、子供同士、母親同士のコミュニケーションの場が数多くあり、とても楽しく利用させて頂いています。	女性	20代後半	10
	医療費が無料、物価が安い、近所との人とも付き合いやすい。	男性	30代後半	12
	どちらかというと育てたい (353件)	親族が近くに住んでいるので、もしもの事があった場合に頼れるから	男性	20代前半
引っ越してきたばかりなので、この先引っ越し予定も今はまだないので、特に問題がなければ、このまま子育てできればその方が良いので。		女性	20代後半	1
“足立区”と言うよりも今の地域では育てていきたい。		女性	20代後半	2
すぐ近くに荒川があり、自然に恵まれていること、新田学園が軌道に乗るころ子供が小学生になるため、教育上も良いかと		女性	30代前半	2
中学校まで医療費がかからない、信頼できる小児科の先生がいた、認可保育園に入れた		男性	20代後半	3
自分が生きていの中で現在の情報などと合わせて総合的に暮らしやすいのではと思うから。		男性	20代前半	5
現在、足立区にて育児をしていて特に不満を感じることはないから。ひとつ言えば、託児所等気軽に短時間利用できる施設がもっと欲しい。		女性	20代後半	5
他の地域と比較できないが、医療費無料、公園も多く、環境はいいと思う。中学・高校の学力レベルに不安を感じます		男性	30代後半	6
親族(実家・兄弟)が区内にいたため、子育ての助けとなっているから		女性	30代前半	7
子育て支援が充実していそう。また、自分自身、学校などの良い環境で育ってきたと思うため		女性	20代前半	8
主人も私も足立区で育ったのでこのままのほうが動きが取りやすいから(両家の実家も足立区内)		女性	30代後半	9
子供の医療費等の制度が整っているため。ただ、保育園の数については足りてないと思う。公園等は多く魅力的な遊び場が充実している。		男性	30代前半	11
ずっと足立区に住んでいたのですが、子供ができれば自分の育ったところで育てたいが、最近は物騒なことが多いので不安もある	女性	20代後半	11	

●育てたくない理由

項目	主な意見	性別	年代	ブロック
どちらか という育 てたくな い (303 件)	教育の質の関してあまり良い印象をもっていない	男性	20 代後半	1
	単純に評判が悪いから(実態、真相はこれから分析が必要)	男性	30 代前半	1
	学力レベルの低さ、地元公立学校の風紀の乱れ。	女性	20 代後半	1
	千住に住んでいますが、未就学児がいます。公園が狭く場所によっては近くにない。又、緑(自然)が少ないと感じます。	女性	30 代前半	1
	遊ばせる場所が少ない。学力が低いイメージ。区外の人が入ってこない立地→文化的にレベルが低いイメージ。	女性	30 代前半	2
	治安が悪いから、東南アジア系の外国人が多いから、生活保護世帯が足立区に集中しているから。	女性	20 代後半	3
	これから出産を予定していますが、区内の小学校を選ぶ保護者たちから学級崩壊など、とても悩む話をよく耳にする為	女性	20 代後半	4
	もう少し静かで自然のある環境で育てたい	男性	30 代後半	5
	足立区はさほど教育レベルが高いとは思えないし、育てるにしても設備が整っていないと思う	女性	20 代後半	5
	公立の幼稚園の場所が偏りすぎ。入るなど言っているようなもの。愛知県などの他県では、私立の幼稚園でも6歳まで正規にあずかってくれるのが常識。タダでさえ保育料が高いのに働けない、保育園も足りてない。	女性	30 代後半	5
	治安が悪いと聞く。学力がさほど高くない。人口ばかり増えて、施設(保育・託児所 etc)が増えず、その後のことも気になります。	女性	20 代後半	6
	私は県外で育ちました。治安が悪いとか、ヤンキーが多いとか聞くので…。あと、進学校(高校の)がないので困ります。	女性	20 代後半	8
	自宅が足立清掃工場の近くにあるため、思いのほか環境が良くない。また、近所の小学生を見ていると常識をもって行動しているとは思えない	男性	30 代前半	10
	ほったらかしの親、マナーの悪い親、自己中心的な親をよく見かけて嫌気がさすから	女性	30 代前半	10
団地が多いせいか、生活保護の人が多く、町の雰囲気あまり良いとは言えないから	女性	30 代後半	13	
育てたく ない (146 件)	学校の評判が悪いことがある	男性	20 代後半	1
	治安が良くない。学力が良くない。街灯がないところなどを歩くとき不安である。言葉使いが良くない。	女性	20 代後半	1
	自然がないから、人として当然のマナーを持ってない人が多い	女性	20 代前半	2
	色々な所に住みましたが、足立区の子供は男女ともガラが悪く感じる。ゲームセンターにたむろしていたり悪影響が多そう	男性	20 代後半	4
	同世代の親となっている方のモラルの低さが一番の理由。子供への影響を考えると、あらゆる面がかかわりたくないから。自由と責任が一對になっていることすら解らない方が多く、それはその方々の親も良くないように思うから	男性	20 代後半	6
	低所得者層が多いので、子供がグレそう。ヤンキー系が多いし、影響されそう。	女性	30 代後半	7
	33 年間住んでいるが一度もいい街だと思ったことがない	男性	30 代前半	8
	若年者、外国人等の犯罪件数多く治安が悪い。	男性	20 代後半	11
	あまりにも下品な親や子供が多いので、一緒に環境に身を置きたくない。	女性	30 代前半	11
	道路や足立区のシンボルのツツジにも平気でゴミや粗大ゴミが捨てられているし、遊び場にも過ちでいるような環境であるからです。	男性	30 代後半	13
	田舎くさく、学生らしい子供が少ないので。若い母親も多く、しつけがなっていない子と一緒に自分の子供を育てたくない。	女性	20 代後半	13

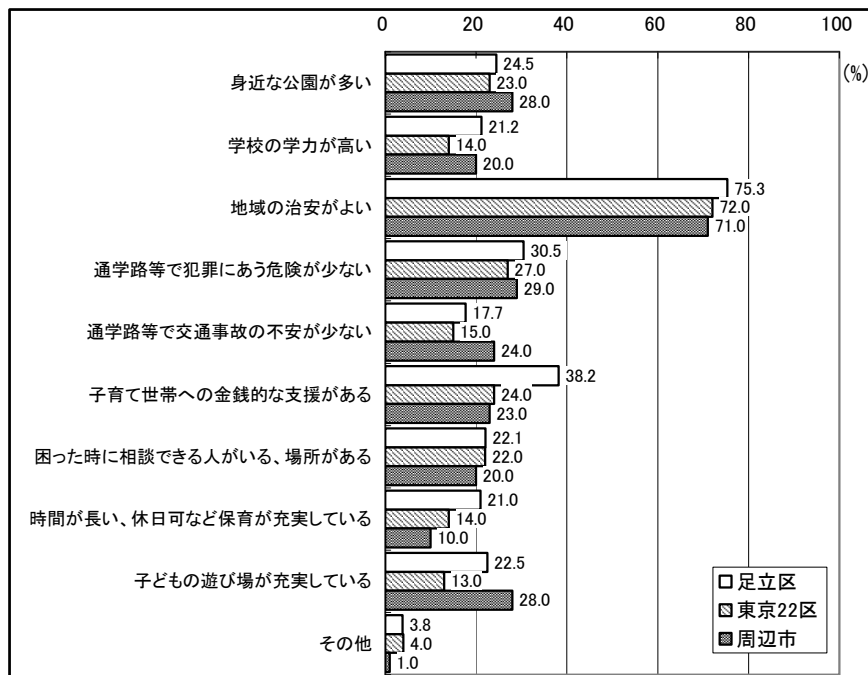
Q2-4 子育てしやすい条件として重視すること

- 全体では、「地域の治安がよい」が最も多く、次いで「子育て世帯への金銭的支援」「通学路などの犯罪者等の危険が少ない」が多い。
- 東京 22 区、周辺市と比較すると、「地域の治安がよい」が最も多いという傾向は共通していることがわかる。
- 「子育て世帯への金銭的支援」の割合が 4 割を超えたのは、年齢・性別別では 20 歳代女性、ライフステージ別では小学校入学前、小・中学校の子どもがいる人、ブロック別では興野・本木地域、花畑・保木間地域、竹の塚地域、舎人地域である。



N = 1001

図表 子育てに重視する条件 × 年齢・性別



図表 東京 22 区・周辺市の比較 (インターネット調査より)

Q2-4 子育てに重視する条件
× Q4-2.5 年齢・性別

上段:度数 下段:%	Q2-4 子育てに重視する条件										
	合計	1. 身近な公園が多い	2. 学校の学力が高い	3. 地域の治安がよい	4. 通学路等で犯罪者等の危険が少ない	5. 通学路等で交通事故の不安が少ない	6. 子育て世帯への金銭的な支援がある	7. 困った時に相談できる人がいる、場所がある	8. 時間が長い、休日可など保育が充実している	9. 子どもの遊び場が充実している	10. その他
20歳代男性	126 100.0	29 23.0	27 21.4	106 84.1	40 31.7	28 22.2	46 36.5	22 17.5	23 18.3	32 25.4	5 4.0
30歳代男性	223 100.0	61 27.4	55 24.7	172 77.1	72 32.3	47 21.1	79 35.4	46 20.6	38 17.0	36 16.1	6 2.7
20歳代女性	241 100.0	52 21.6	44 18.3	188 78.0	74 30.7	37 15.4	102 42.3	60 24.9	58 24.1	57 23.7	4 1.7
30歳代女性	403 100.0	103 25.6	86 21.3	283 70.2	117 29.0	63 15.6	151 37.5	92 22.8	90 22.3	98 24.3	22 5.5

図表 子育てに重視する条件 × 年齢・性別

Q2-4 子育てに重視する条件
× Q4-7 ライフステージ

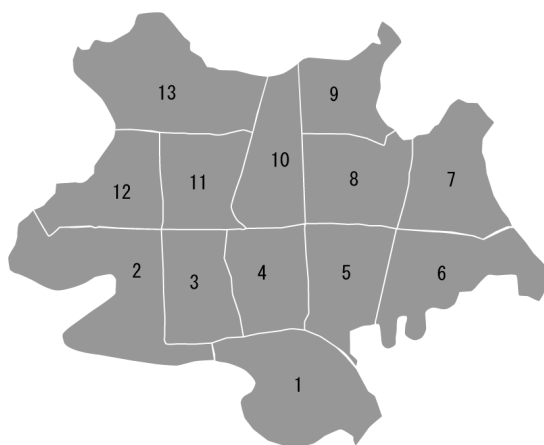
上段:度数 下段:%		Q2-4 子育てに重視する条件										
		合計	1. 身近な公園が多い	2. 学校の学力が高い	3. 地域の治安がよい	4. 通学路等で犯罪者等の危険が少ない	5. 通学路等で交通事故の不安が少ない	6. 子育て世帯への金銭的な支援がある	7. 困った時に相談できる人がいる、場所がある	8. 時間が長い、休日可など保育が充実している	9. 子どもの遊び場が充実している	10. その他
Q4-7 ライフ ステージ	1. 独身	395 100.0	88 22.3	72 18.2	314 79.5	124 31.4	76 19.2	120 30.4	102 25.8	96 24.3	90 22.8	13 3.3
	2. 子どものいない夫婦	177 100.0	35 19.8	47 26.6	143 80.8	57 32.2	28 15.8	68 38.4	32 18.1	52 29.4	25 14.1	8 4.5
	3. 子どもがいる (一番上の子どもが小学校入学前)	237 100.0	65 27.4	51 21.5	171 72.2	66 27.8	39 16.5	115 48.5	43 18.1	47 19.8	63 26.6	9 3.8
	4. 子どもがいる (一番上の子どもが小・中学校)	152 100.0	46 30.3	32 21.1	100 65.8	45 29.6	29 19.1	69 45.4	38 25.0	8 5.3	38 25.0	3 2.0
	5. 子どもがいる (一番上の子どもが高校生以上)	14 100.0	3 21.4	7 50.0	11 78.6	6 42.9	3 21.4	1 7.1	1 7.1	2 14.3	2 14.3	1 7.1
	6. その他	14 100.0	5 35.7	3 21.4	8 57.1	4 28.6	1 7.1	3 21.4	3 21.4	3 21.4	6 42.9	1 7.1

図表 子育てに重視する条件 × ライフステージ

Q2-4 子育てに重視する条件
× ブロック

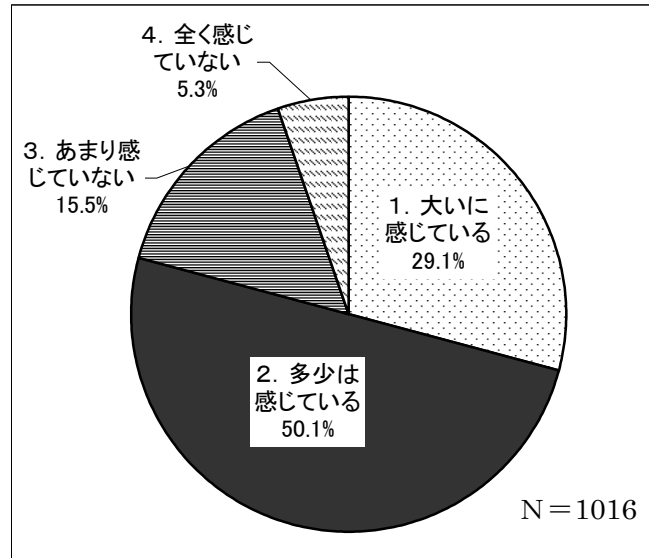
上段:度数 下段:%		Q2-4 子育てに重視する条件										
		合計	1. 身近な公園が多い	2. 学校の学力が高い	3. 地域の治安がよい	4. 通学路等で犯罪者等の危険が少ない	5. 通学路等で交通事故の不安が少ない	6. 子育て世帯への金銭的な支援がある	7. 困った時に相談できる人がいる、場所がある	8. 時間が長い、休日など保育が充実している	9. 子どもの遊び場が充実している	10. その他
ブロック	1. 千住	130 100.0	29 22.3	30 23.1	100 76.9	39 30.0	20 15.4	45 34.6	25 19.2	34 26.2	37 28.5	6 4.6
	2. 江北	75 100.0	23 30.7	20 26.7	63 84.0	16 21.3	14 18.7	23 30.7	12 16.0	19 25.3	13 17.3	1 1.3
	3. 興野・本木	49 100.0	5 10.2	12 24.5	35 71.4	18 36.7	11 22.4	21 42.9	9 18.4	6 12.2	15 30.6	1 2.0
	4. 梅田	81 100.0	21 25.9	19 23.5	63 77.8	33 40.7	14 17.3	26 32.1	19 23.5	17 21.0	12 14.8	3 3.7
	5. 中央本町	93 100.0	24 25.8	21 22.6	67 72.0	26 28.0	22 23.7	33 35.5	23 24.7	16 17.2	19 20.4	4 4.3
	6. 綾瀬	121 100.0	36 29.8	35 28.9	89 73.6	40 33.1	20 16.5	39 32.2	24 19.8	27 22.3	23 19.0	5 4.1
	7. 佐野	84 100.0	19 22.6	16 19.0	71 84.5	26 31.0	15 17.9	33 39.3	12 14.3	22 26.2	19 22.6	2 2.4
	8. 保塚・六町	70 100.0	25 35.7	8 11.4	54 77.1	21 30.0	11 15.7	25 35.7	24 34.3	13 18.6	12 17.1	2 2.9
	9. 花畑・保木間	35 100.0	8 22.9	9 25.7	19 54.3	13 37.1	4 11.4	17 48.6	10 28.6	4 11.4	11 31.4	- -
	10. 竹の塚	90 100.0	18 20.0	15 16.7	72 80.0	25 27.8	14 15.6	37 41.1	20 22.2	17 18.9	25 27.8	4 4.4
	11. 伊興・西新井	65 100.0	16 24.6	13 20.0	45 69.2	20 30.8	11 16.9	23 35.4	18 27.7	13 20.0	10 15.4	3 4.6
	12. 鹿浜	44 100.0	9 20.5	4 9.1	33 75.0	10 22.7	5 11.4	22 50.0	12 27.3	9 20.5	14 31.8	3 6.8
	13. 舎人	64 100.0	12 18.8	10 15.6	43 67.2	18 28.1	16 25.0	38 59.4	13 20.3	13 20.3	15 23.4	4 6.3

図表 子育てに重視する条件 × ブロック

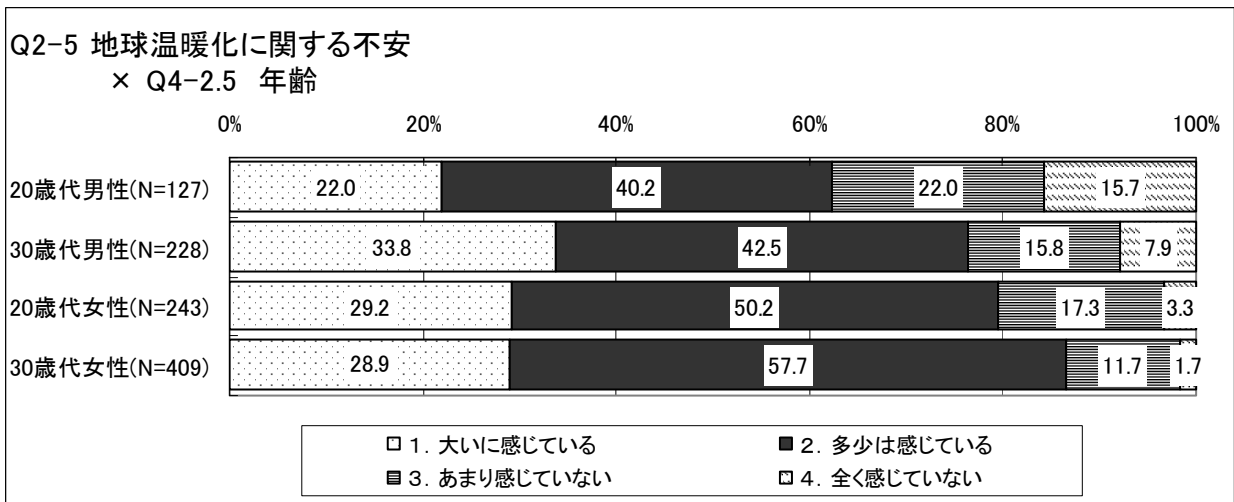


Q2-5 地球温暖化に対して不安を感じているか

- 全体では、「多少は感じている」が過半数を超え、「大いに感じている」と合わせると8割近くになっている。
- 年齢・性別別では、男性より女性で、20歳代より30歳代で不安を感じている傾向が強い。



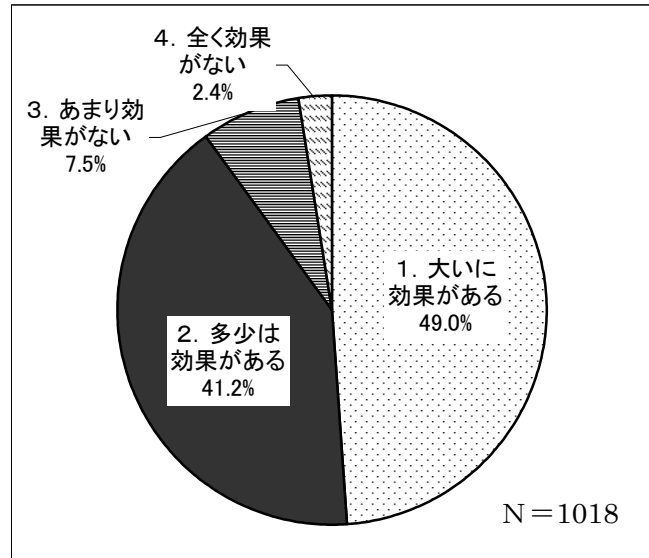
図表 地球温暖化に関する不安 (単純集計)



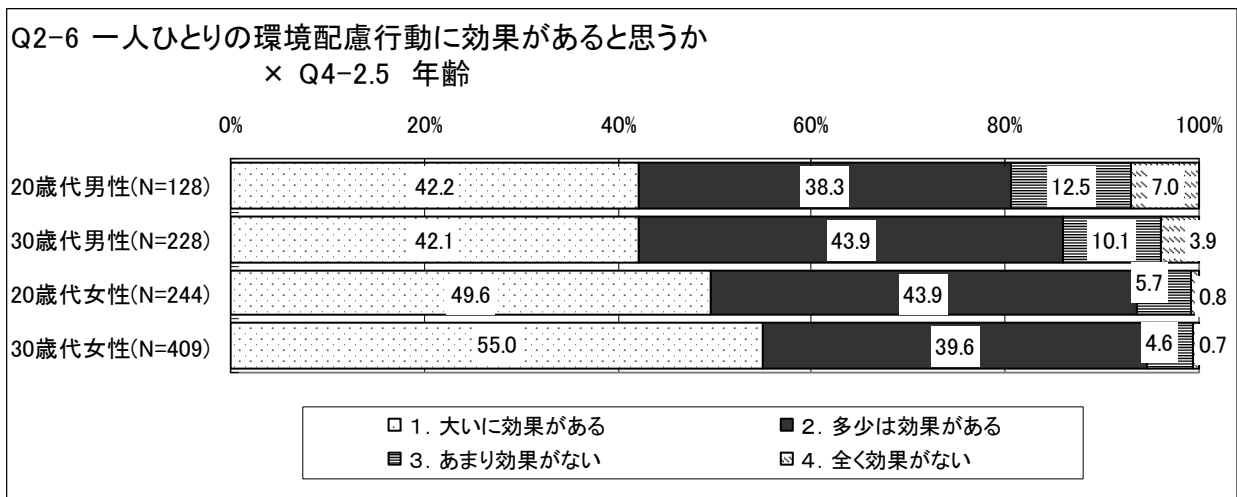
図表 地球温暖化に関する不安 × 年齢

Q2-6 一人ひとりの地球温暖化配慮行動は効果があるか

- 全体では、「大いに効果がある」「多少は効果がある」と回答した人が9割を超えている。
- 男性は女性に比べ効果に懐疑的な回答が多い。



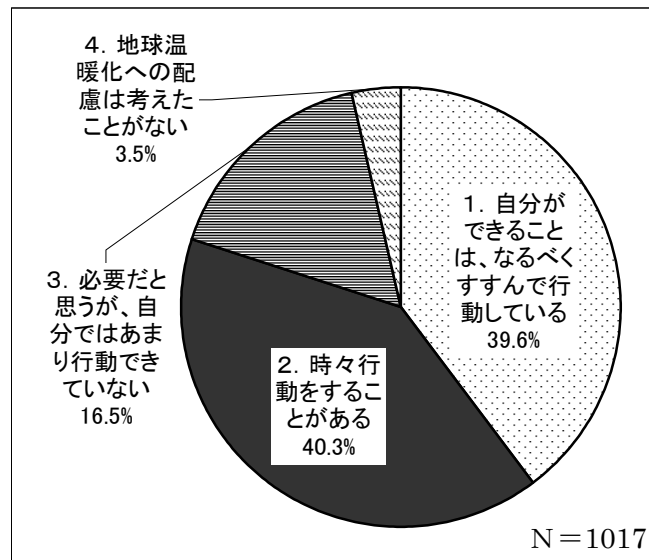
図表 一人ひとりの環境配慮行動に効果があると思うか (単純集計)



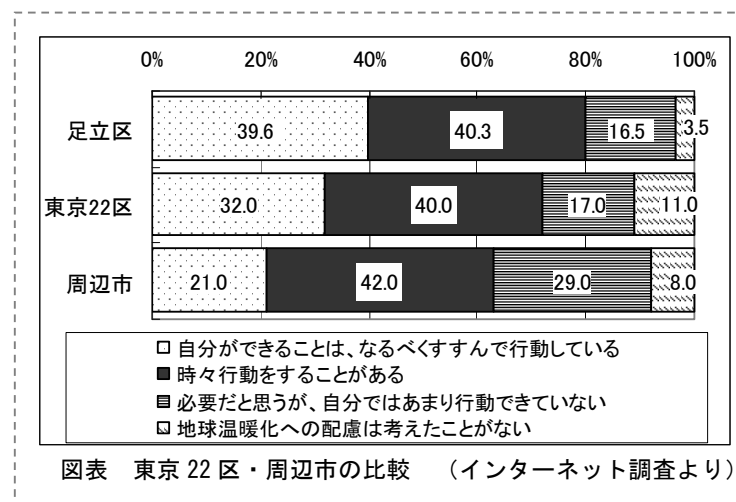
図表 一人ひとりの環境配慮行動に効果があると思うか ×年齢

Q2-7 地球温暖化配慮行動を行っているか

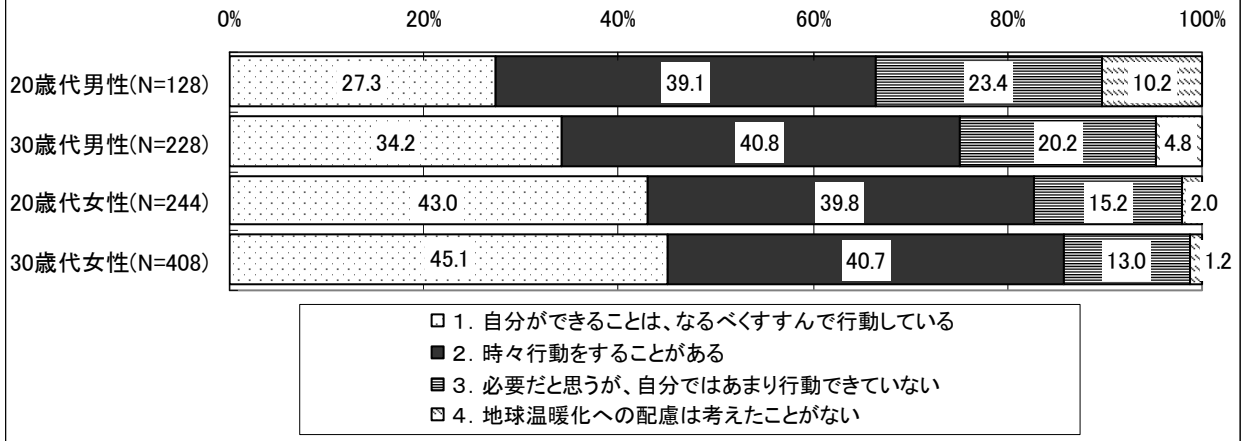
- 全体では、「すすんで行動している」「時々行動をすることがある」と回答した人が約8割である。
- 東京22区、周辺市と比較すると、足立区では、「すすんで行動している」「時々行動をすることがある」と回答した人が多い。
- 年齢・性別別でみると、男性より女性が、20歳代より30歳代が行動している割合が高くなっている。



図表 地球温暖化に配慮した行動をしているか（単純集計）



Q2-7 地球温暖化に配慮した行動をしているか
 × Q4-2.5 年齢



図表 地球温暖化に配慮した行動をしているか × 年齢

Q2-8 足立区に「愛着がある」と思う理由はなんだと思いますか

●生まれたときから/長く住んでいるから、友人/知り合いがいるから、下町だから、物価が安いから、交通の便が良いから、愛着があるかはわからない、愛着があると思わないという理由が挙げられた。

項目	件数
生まれたときから/長く住んでいるから	217 件
下町だから	117 件
愛着があるかはわからない	57 件
友人/知り合いがいるから	49 件
物価が安いから	49 件
愛着があると思わない	46 件
住めば都だから	38 件
交通の便が良いから	22 件
その他	233 件

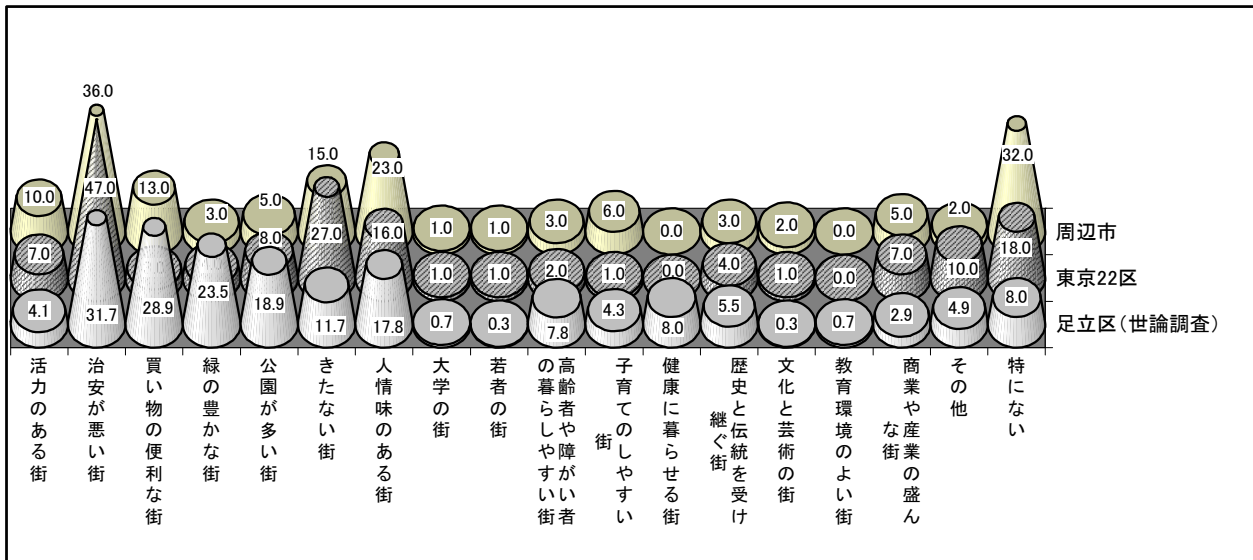
項目	主なコメント	性別	年代	ブック
生まれたときから/ 長く住んでいるから (217件)	長く足立区に住んでいる、下町のような商店などが愛着を湧かせる	女性	30代前半	4
	生まれた時から住んでいたか、親が住んでいるからだと思う	女性	20代後半	2
	生まれ育った場所だから	男性	20代前半	6
	昔から足立区に住んでいるから	男性	30代前半	4
	のどかで昔から住んでいる人が多数いるところ。	女性	30代後半	2
	生まれてから、住み続けている所であり、アイサツをしても、アイサツが返ってくる場所だから。	女性	20代前半	10
	生まれ育った街だからと、23区内で土地が安く、交通(電車、バス)の便が良いからだと思います。	男性	30代後半	5
	長く住んでいろいろな人とのふれあいを学んでいろいろな人と会話できる場所です。	男性	30代後半	3
	足立区にしか住んだことがありません、親の代から。なんとなく好きです。	男性	30代前半	8
	長く住んでいると住みやすい街になってくる。馴染みの飲み屋がある。	女性	20代後半	7
	子供の頃から住んでいるから他を知らない。	男性	30代前半	7
	地元から出ていく人が少ない(都心に出る機会がない(就職進学等)。都外に出る必要もない)。	女性	30代後半	7
	生まれた区だから、他の場所に行こうとは思わない。	男性	20代後半	13
	ずっと足立区に住んでいるので、落ち着く街です。	女性	30代後半	4
	私自身も子供の時から住み続けているが過ごしやすい街だと思います。ほかに住んだことがないので他の事がわからないというのがありますが…	女性	20代後半	5
	ずっと地元で生まれ育っているからではないか。外から来た人も同意見なのかは疑問に思う。	女性	20代後半	8
	小さい頃から、ずっと住んでいるところだから	男性	30代後半	11
	小さい頃から住んでいる為よく自分の地域のことを分かっている為。東京は忙しいイメージだが足立区はのんびりできる。	女性	30代後半	13
	親世代から住んでいる方が多く、他の地域の事を知らないから、一番だと思っている。	女性	20代後半	10
	自分自身が生まれ育ったから。そういった経験からの考え。	男性	20代前半	5
(ずっと)住んでいる、住宅が多く地域の人のつながりがある	女性	20代前半	8	
ずっと住んでるので、治安が悪いとは思ったことがない	男性	30代前半	4	
生まれ育った町だから、だと思います。地元根付いている。	男性	20代後半	5	
やはり生まれてから24年間住み続けた所だから。下町の人情あふれる宿場町通りを散歩していると、足立区に生まれてよかったと思う	女性	20代前半	5	
長く住んでいる人が多い、または街が変わらないからではないでしょうか	女性	20代後半	1	
下町だから (117件)	下町のような親しみ易さがあることや、23区の中では比較的地域住民とのコミュニケーションが出来ていること	男性	30代前半	10
	誰もが懐かしく感じる下町の住みやすい感じ、気さくで取らない住みやすい街づくりかと思います	女性	20代後半	13
	都心とは違い、住宅地が多く、暮らしやすいからと私は感じます	女性	30代後半	5
	下町っぽさと都会っぽさがうまく混ざっているから	女性	20代前半	3
	千住地区などに下町らしさが残っており、懐かしさがあるため。また、リーガルやイトーヨーカドー、千住金属などの大企業の創業地である。	男性	20代後半	10
	都会と田舎の良い感じの共存とノスタルジックな雰囲気を持ち、残っているためだと思います	男性	20代後半	12
	昔ながらの商店街が多かったり、銭湯の文化が残っているため	男性	30代後半	1
	23区なのに、ゴミゴミしすぎず、下町のような情緒もあり、近代化と両立したバランスがとれていると思います。鉄道駅間も短く、それぞれにコミュニティがあって、エリアを超えて活動しやすい。	女性	30代後半	8
	田舎風情も残っているから	男性	20代前半	1
	下町的な雰囲気が良くも悪くもある	男性	30代前半	2
	敷居の低い下町文化で近所との交流があるからではないか	男性	20代前半	1
	都心に比べて家賃などが安く長く住むことができたり下町気質のようなものがあるからではないかと思います。	女性	20代後半	6
	下町の雰囲気があるから、お祭りを地区でやっていたりするのが良いんじゃないかと思います	男性	30代後半	3
	下町風情が残っているから	男性	30代前半	1

項目	主なコメント	性別	年代	ブロック
愛着があるかはわからない (57件)	まだ良さがわからない。(転入して8ヶ月なので)	女性	20代後半	1
	お年寄りが多いので、「愛着がある」と答える人が多いのでは？	女性	20代後半	1
	足立区に住んでまだ2年なのでなんとも言えません	女性	20代前半	7
	引っ越してきたばかりなのでわかりません	男性	20代後半	2
友人/知り合いがいるから (49件)	個人的には地元の友人同士のつながりが深いこともあり、仲間意識がある	女性	30代後半	11
	長く住んでいて周りに友人などがいるし、公園や緑が多くて住みやすいから愛着があると思う。	女性	20代後半	11
	古い街並みでの近所同士のつきあいが多いのでは	男性	30代後半	11
	私も日常自転車をよく使っていますが(足立区は平地なので楽)、地域の人々が自転車などで地元で密着した生活を送っている人が多いと思う。外出すると沢山知り合いに会うので(笑)。コミュニティが充実していることが理由です。	女性	30代後半	10
	人情があり、近所の人たちとの交流をとりやすい。	男性	30代前半	1
	仲間意識が強い	男性	20代後半	3
	地域に根ざした活動が見受けられ、それを中心に密着した温かい環境が生まれている。昔からの住人。	女性	20代前半	1
	「緑が多い街」と同時に「地域親交」=人と人とのつながりや温かさのようなもの(個人的に長くこの地に住んでいるからです)	女性	30代後半	10
	商店などで話しかけてもらえることが多いし、子供と散歩していても声を掛けてもらえる。人との接点が多いと感じるところではないでしょうか。	女性	20代後半	12
	近所や町会とのつながりが、まだ多少なりとも残っていると感じられるため	男性	20代後半	6
	家族、友達が多くいる。	男性	30代後半	12
	人柄が良い	男性	30代後半	11
土着の人が多い	男性	30代前半	3	
物価が安いから (49件)	治安も悪くないし、なんとなく居心地が良いと思います。物価も安いし。親切な人も多いと思います	女性	30代後半	5
	比較的物価が安く、東京の中でも肩ひじはらず、住みやすいから。	女性	20代後半	11
	何となくのんびりしている。静かで落ち着く。家賃が比較的安い。	男性	30代前半	5
	ギリギリ東京都で暮らしやすい。地価が安めで意外と便利。	男性	20代後半	11
	公園が多い、福祉(幼児・児童)が充実している、土地や物価が安い	男性	20代後半	13
	商店街の存在と物価の安さ、路線の便利さ	男性	30代後半	1
	物価が安く、交通の便が良いところ。下町の感じで気取らなくて良いところ。	女性	20代後半	13
物価が割と安い。下町っぽさが親しみやすい。生まれ育った町だから。	女性	20代前半	4	
愛着があると思わない (46件)	昔から住んでいる人がそう思っているだけ、他から転入した人は愛着はないのでは??	男性	20代後半	4
	愛着があると、答える人は生まれた時からずっと住んでいるからだと思う。	女性	20代後半	6
	長く住んでいるためでしょうか？私は住んで間もないので愛着がない	男性	30代後半	4
	ただ長く住んでいるということでもいい街だと勘違いしている	男性	30代前半	8
	足立区にきてまだ1年たっていないので、実感は私自身ありませんが、イベントなどでの地域交流が盛んなことは親しみやすさを覚えます。	女性	20代後半	2
特に愛着がない。引っ越ししたばかりなので	男性	30代前半	1	
住めば都だから (38件)	住めば都になる、長く住めば感じる	男性	30代後半	10
	住めば都。5年くらい住んでますが、特に悪いと感じたことがないです。郊外にも出やすく買い物にも便利。	女性	30代前半	10
	住めば都というくらいだから住んでいると住み心地が良くなってくのでは？友達などができればそう思うのかも？と思います。	女性	30代前半	4
	「住めば都」という感覚であると思う。	男性	20代後半	5
住めば都の考えで、最初のイメージが悪くてもだんだん慣れてくる	女性	30代後半	13	

項目	主なコメント	性別	年代	ブロック
交通の便が良いから (22件)	交通の便が良いところでしょうか	男性	30代前半	1
	交通の便が良い。都会の中での自然(緑が多い)	男性	20代後半	6
	私は北千住駅近くに住んでいますが通勤などに便利なので、引っ越しをする必要がなく、長年住むことができるため。	男性	20代前半	1
	町が静かなところ。中心地(上野・新宿)からさほど遠くない(交通の便が良い)	女性	30代後半	4
	北千住など交通の便や、ここ何年か素晴らしく発展している所や、まだまだ少し奥に入ると緑がいっぱいあったり・・・	女性	20代後半	7
その他 (233件)	よくも悪くも変化が緩やか、公園が多く、水路があったりと独特の風情がある、庶民的で気を張らずに生活できる	女性	30代後半	6
	福祉が充実している方だと思う。他区に比べてまだ自然(畑や緑)が多く高層ビルも少ない。	女性	20代後半	13
	マンションなどの乱立がなく、住宅街としてくつられている町並み、大きな公園などがあり元々いる人達を大事にしていくような雰囲気があるところ。	男性	30代前半	13
	色々イベントなどがあり、地域のつながりが深いように思います。千葉から来た私にはとてもあたたかい町に思えた。	女性	20代後半	10
	東京23区であるにも関わらず、緑も多く、また昔からの商店街などもあり、ほっとする環境だから。	男性	20代後半	2
	緑の多い大きな公園(中川公園)や、中川などがあり、ゆったりと静かで落ち着いた街のイメージがある。	女性	20代前半	6
	治安は昔に比べてよくなっていると思う。なんか住みやすい、どこにでかけても、足立区がいいなとやっぱり思ってしまうのはなぜ?	男性	30代後半	9
	都心で唯一公園が多いし、緑が多いけど、それに加えてゴミも多いということです。	男性	20代後半	13
	公園が多く、道路もきれい。幼稚園や学校が充実している。	女性	20代後半	11
	足立区で遊ぶ機会があるからだと思う	男性	20代前半	1
	公園が多く、子供にとってはすごくいいことだと思うし、ママ友も出来るので安心して子供を育てられる	女性	20代後半	2
	地域での行事、スポーツ etc を町会で参加し親睦を深められ離れられず皆に協力してもらっています。	男性	20代後半	7
	小さい頃から足立区に住んでいる人や、親が住んでいるなどの理由で区内に居住している人の割合が多いからだと思います。	女性	20代後半	11
	庶民が暮らしやすい街ではないかと思えます。若干の暴走族を除いて、ほとんどの人はマナーがいいです。	男性	30代前半	6
	やはり公園や緑が多く、私の家の近くでは農園や個人で農業をされている方がいて、広々としたイメージがあるため。	男性	30代前半	11
	福祉が充実している。また、23区にしては田舎に似通っていて静かなので暮らしやすい。	男性	30代後半	2
	都会でありながらも他区と比べて落ち着いたところがある点	男性	20代後半	7
	住みなればどんな場所でも変わりはない	男性	20代前半	10
	東京だけど東京らしくない住みやすさがあると思います。画一的な都会ではないところが、自分自身も好きです。	男性	20代前半	6
	近年ではレジャー施設やショッピングモールの増加で、足立区内で仕事(バイト)・生活・娯楽が一通り済むことが多くなったから	女性	20代前半	10
	住宅が多く住みやすい。都心へのアクセスが便利。人と人の横のつながりが都内では強いほうかもしれない。	男性	30代後半	10
	荒川と隅田川が流れ、緑豊かかで住んでいる人々が穏やかである	男性	30代前半	1
	近所に公園や児童館が多く、ボランティアの方が育成にかかわっていることもとても良いと思う	女性	20代後半	7
世の中の人と言うほど悪い街ではないと、低いレベルで思っているだけ	女性	20代前半	7	

※ 足立区のイメージ（世論調査との比較）

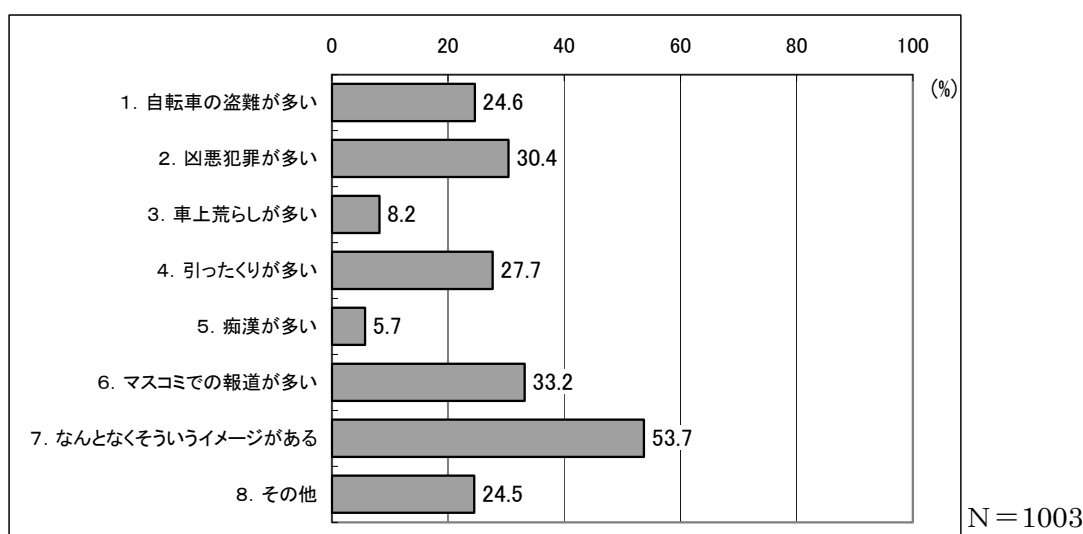
- 世論調査（足立区）では、「治安が悪い」（31.7%）が最も多く、次いで「買い物の便利な街」（28.9%）、「緑の豊かな街」（18.9%）が多い。
- 東京 22 区では、「治安が悪い」（47.0%）、「汚い街」（27.0%）と、悪いイメージが先行しており、周辺市では、「治安が悪い」（36.0%）、「特にない」（32.0%）、「人情味のある街」（23.0%）が多い。



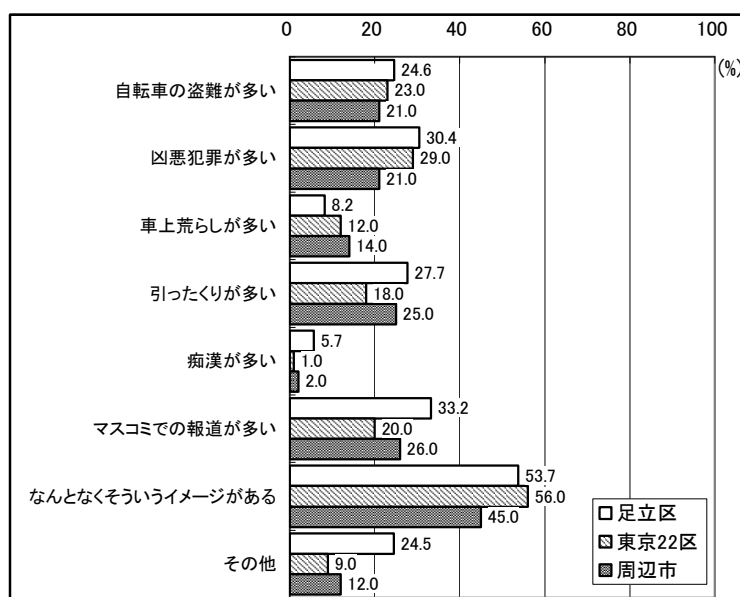
図表 東京 22 区・周辺市の比較（インターネット調査より）

Q2-9 足立区が「治安が悪い」とされている理由

- 全体では、「なんとなくそういうイメージがある」「マスコミの報道が多い」「凶悪犯罪が多い」と回答した割合が多い。
- 東京 22 区、周辺市と比較すると、東京 22 区では「なんとなくそういうイメージがある」との理由が高い。
- ブロック別では、
「自転車の盗難が多い」の回答は、花畑・保木間地域、舎人地域、鹿浜地域に多く、
「凶悪犯罪が多い」の回答は、佐野地域、花畑・保木間地域、興野・本木地域に多く
「引ったくりが多い」の回答は、保塚・六町地域、伊興・西新井地域、舎人地域に多く、
「マスコミの報道が多い」の回答は、保塚・六町地域、佐野地域、梅田地域に多く、
「なんとなくそういうイメージがある」の回答は、江北地域、千住地区、伊興・西新井地域に多い。



図表 「治安が悪い」とされる理由（単純集計）



図表 東京 22 区・周辺市の比較（インターネット調査より）

Q2-9「治安が悪い」とされる理由
× Q4-2.5 年齢

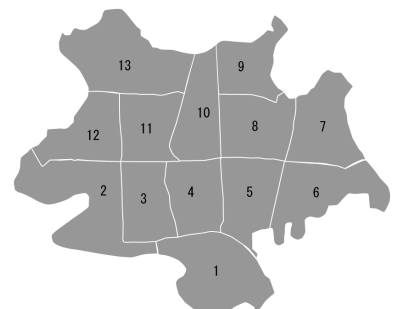
上段:度数 下段:%	Q2-9「治安が悪い」とされる理由								
	合計	1. 自転車の盗難が多い	2. 凶悪犯罪が多い	3. 車上荒らしが多い	4. 引ったくりが多い	5. 痴漢が多い	6. マスコミでの報道が多い	7. なんとなくそういうイメージがある	8. その他
20歳代男性	128 100.0	34 26.6	44 34.4	7 5.5	24 18.8	5 3.9	41 32.0	65 50.8	33 25.8
30歳代男性	226 100.0	57 25.2	69 30.5	33 14.6	59 26.1	3 1.3	77 34.1	135 59.7	46 20.4
20歳代女性	242 100.0	56 23.1	74 30.6	10 4.1	69 28.5	22 9.1	80 33.1	119 49.2	62 25.6
30歳代女性	398 100.0	97 24.4	114 28.6	32 8.0	122 30.7	27 6.8	133 33.4	215 54.0	103 25.9

図表 「治安が悪い」とされる理由 × 年齢

Q2-9「治安が悪い」とされる理由
× ブロック

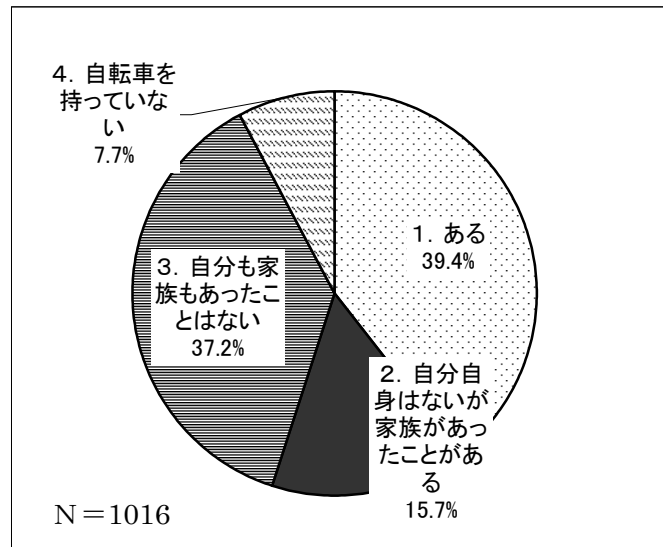
上段:度数 下段:%		Q2-9「治安が悪い」とされる理由								
		合計	1. 自転車の盗難が多い	2. 凶悪犯罪が多い	3. 車上荒らしが多い	4. 引ったくりが多い	5. 痴漢が多い	6. マスコミでの報道が多い	7. なんとなくそういうイメージがある	8. その他
ブロック	1. 千住	131 100.0	23 17.6	36 27.5	6 4.6	28 21.4	1 0.8	45 34.4	82 62.6	35 26.7
	2. 江北	76 100.0	15 19.7	25 32.9	7 9.2	11 14.5	6 7.9	23 30.3	48 63.2	15 19.7
	3. 興野・本木	50 100.0	14 28.0	18 36.0	5 10.0	12 24.0	4 8.0	19 38.0	22 44.0	10 20.0
	4. 梅田	81 100.0	16 19.8	23 28.4	6 7.4	20 24.7	2 2.5	31 38.3	40 49.4	26 32.1
	5. 中央本町	91 100.0	21 23.1	22 24.2	6 6.6	21 23.1	7 7.7	23 25.3	49 53.8	23 25.3
	6. 綾瀬	119 100.0	29 24.4	38 31.9	5 4.2	35 29.4	6 5.0	43 36.1	67 56.3	40 33.6
	7. 佐野	84 100.0	23 27.4	34 40.5	9 10.7	25 29.8	7 8.3	33 39.3	41 48.8	16 19.0
	8. 保塚・六町	69 100.0	16 23.2	21 30.4	4 5.8	28 40.6	4 5.8	31 44.9	38 55.1	7 10.1
	9. 花畑・保木間	35 100.0	13 37.1	13 37.1	4 11.4	11 31.4	2 5.7	9 25.7	15 42.9	12 34.3
	10. 竹の塚	91 100.0	24 26.4	23 25.3	7 7.7	27 29.7	9 9.9	30 33.0	45 49.5	20 22.0
	11. 伊興・西新井	66 100.0	15 22.7	23 34.8	5 7.6	25 37.9	2 3.0	16 24.2	39 59.1	13 19.7
	12. 鹿浜	46 100.0	15 32.6	14 30.4	5 10.9	12 26.1	3 6.5	15 32.6	22 47.8	11 23.9
	13. 舎人	64 100.0	23 35.9	15 23.4	13 20.3	13 35.9	4 6.3	15 23.4	31 48.4	18 28.1

図表 「治安が悪い」とされる理由 × ブロック

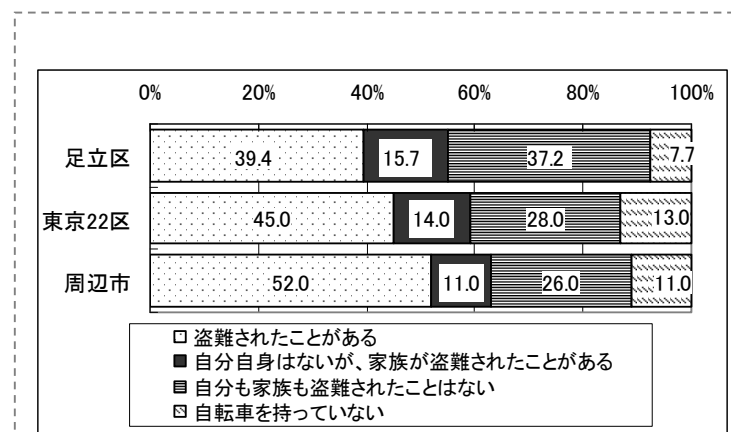


Q2-10 自転車盗難にあったことがあるか

- 全体では、「自分あるいは家族が自転車盗難にあったことがある」と回答した人が過半数を超えている。
- 東京 22 区、周辺市と比較すると、足立区の自転車盗難被害経験は必ずしも多くないことが伺える。
- 居住歴別にみると、居住歴が長いほど自身が自転車盗難にあっている割合が増えている。
- ブロック別では、伊興・西新井地域、保塚・六町地域では、「自分も家族もあつたことがない」人が比較的多く、興野・本木地域、鹿浜地域では自転車盗難にあつたことがある人が多い。

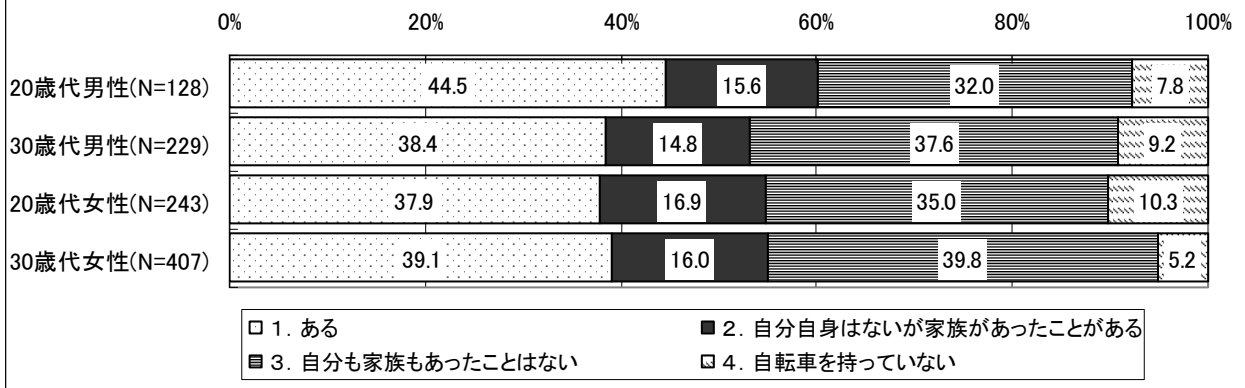


図表 自転車を盗難された経験 (単純集計)



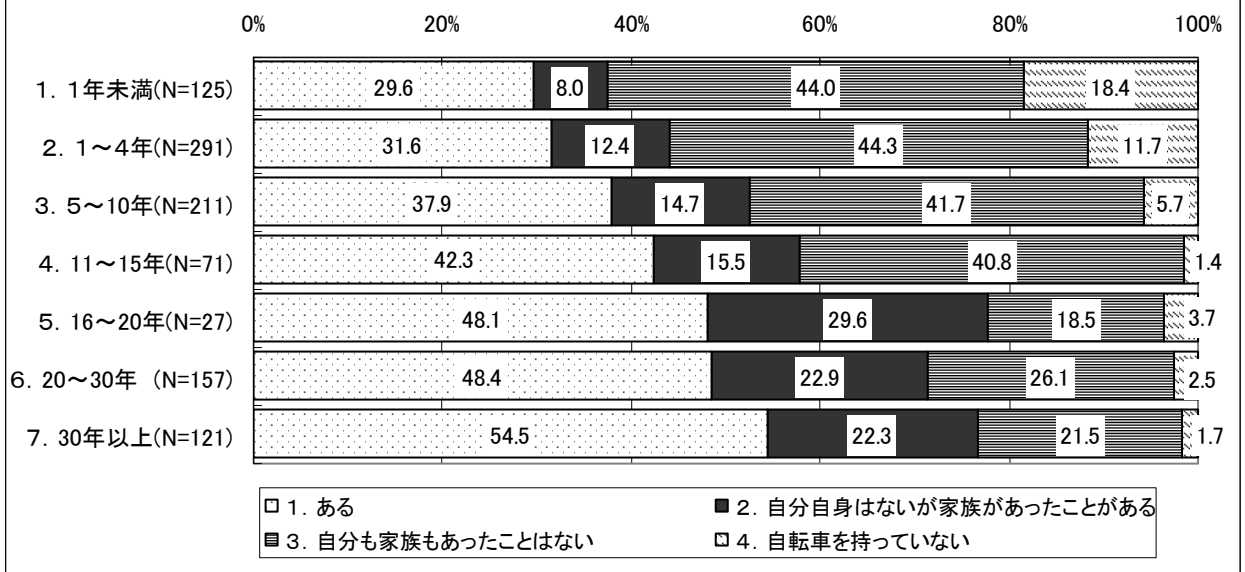
図表 東京 22 区・周辺市の比較 (インターネット調査より)

Q2-10 自転車を盗難された経験
× Q4-2.5 年齢



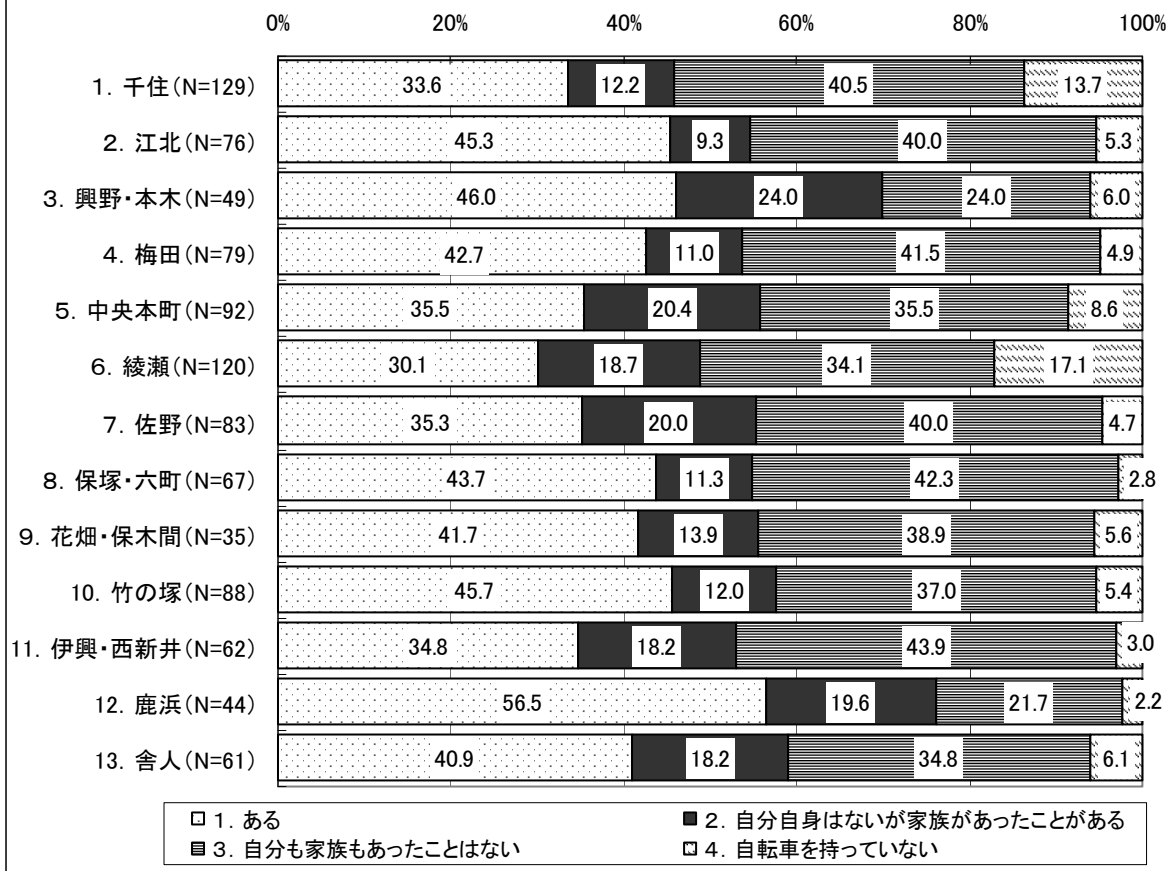
図表 自転車を盗難された経験 × 年齢

Q2-10 自転車を盗難された経験
× Q4-8 居住歴

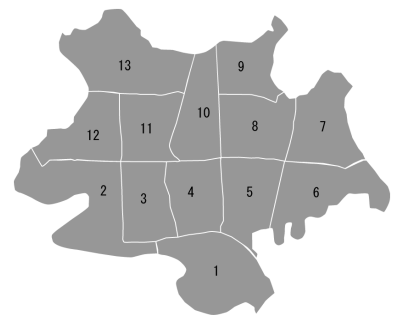


図表 自転車を盗難された経験 × 居住歴

Q2-10 自転車を盗難された経験
× ブロック

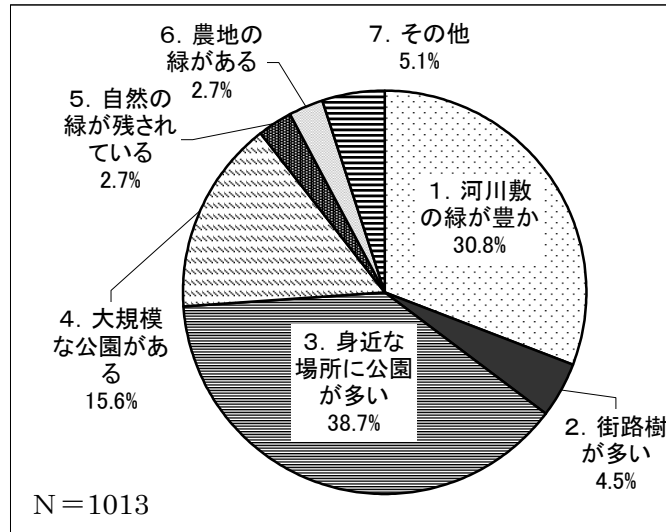


図表 自転車を盗難された経験 × ブロック



Q2-11 足立区が「公園や緑が多い」とされている理由

- 全体では、「身近な場所に公園が多い」が最も多く、次いで「河川敷の緑が豊か」が多い。
- 年齢・性別別では、20歳代男性は「河川敷の緑が豊か」が最も多く、他は「身近な場所に公園が多い」が最も多い。
- ブロック別では、「河川敷の緑が豊か」の回答が、千住地区、江北地域に多く、「身近な場所に公園が多い」の回答は、綾瀬地域、花畑・保木間地域に多い。



図表 「公園や緑が多い」とされる理由 (単純集計)

Q2-11「公園や緑が多い」とされる理由
× Q4-2.5 年齢

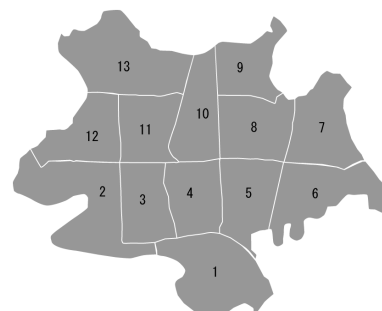
上段:度数 下段:%	Q2-11「公園や緑が多い」とされる理由							
	合計	1. 河川敷の緑が豊か	2. 街路樹が多い	3. 身近な場所に公園が多い	4. 大規模な公園がある	5. 自然の緑が残されている	6. 農地の緑がある	7. その他
20歳代男性	126	45	6	41	19	4	1	10
	100.0	35.7	4.8	32.5	15.1	3.2	0.8	7.9
30歳代男性	227	63	7	96	38	6	4	13
	100.0	27.8	3.1	42.3	16.7	2.6	1.8	5.7
20歳代女性	239	77	19	87	28	9	7	12
	100.0	32.2	7.9	36.4	11.7	3.8	2.9	5.0
30歳代女性	403	122	13	161	70	7	15	15
	100.0	30.3	3.2	40.0	17.4	1.7	3.7	3.7

図表 「公園や緑が多い」とされる理由 × 年齢

Q2-11「公園や緑が多い」とされる理由
× ブロック

上段:度数 下段:%		Q2-11「公園や緑が多い」とされる理由							
		合計	1. 河川敷の緑が豊か	2. 街路樹が多い	3. 身近な場所に公園が多い	4. 大規模な公園がある	5. 自然の緑が残されている	6. 農地の緑がある	7. その他
ブロック	1. 千住	128 100.0	92 71.9	3 2.3	13 10.2	8 6.3	1 0.8	- -	11 8.6
	2. 江北	76 100.0	46 60.5	2 2.6	17 22.4	6 7.9	1 1.3	1 1.3	3 3.9
	3. 興野・本木	48 100.0	14 29.2	- -	13 27.1	12 25.0	1 2.1	4 8.3	4 8.3
	4. 梅田	79 100.0	33 41.8	3 3.8	26 32.9	8 10.1	3 3.8	4 5.1	2 2.5
	5. 中央本町	93 100.0	42 45.2	2 2.2	34 36.6	6 6.5	2 2.2	2 2.2	5 5.4
	6. 綾瀬	122 100.0	21 17.2	8 6.6	69 56.6	17 13.9	2 1.6	1 0.8	4 3.3
	7. 佐野	84 100.0	14 16.7	8 9.5	38 45.2	17 20.2	3 3.6	1 1.2	3 3.6
	8. 保塚・六町	71 100.0	4 5.6	2 2.8	44 62.0	12 16.9	1 1.4	2 2.8	6 8.5
	9. 花畑・保木間	35 100.0	4 11.4	5 14.3	19 54.3	6 17.1	1 2.9	- -	- -
	10. 竹の塚	91 100.0	15 16.5	7 7.7	41 45.1	17 18.7	3 3.3	2 2.2	6 6.6
	11. 伊興・西新井	66 100.0	9 13.6	1 1.5	30 45.5	19 28.8	3 4.5	1 1.5	3 4.5
	12. 鹿浜	46 100.0	10 21.7	2 4.3	18 39.1	6 13.0	2 4.3	5 10.9	3 6.5
	13. 舎人	64 100.0	5 7.8	2 3.1	26 40.6	22 34.4	4 6.3	4 6.3	1 1.6

図表 「公園や緑が多い」とされる理由 × ブロック



Q2-12 あなたが足立区内にあったらいいなと思う場所

- 自宅近くにあるとよい所は、「カフェ」が最も多い。
- 休日に行きたい所は、「アウトレット」が最も多い。

○自由記入回答結果

自宅 (871 件)	カフェ	149 件
	アウトレット	109 件
	スーパー	103 件
	スポーツジム	90 件
	デパート・百貨店	70 件
休日 (797 件)	アウトレット	255 件
	デパート・百貨店	94 件
	カフェ	93 件
	公園	83 件
	ショッピングセンター	63 件

Q2-13 これから足立区のブランドやシンボルとしてPRすべきものはなんですか

●花火大会、公園、緑、川の多さ（荒川、舎人公園）、交通の便、アダチン、キャラクター、子育てしやすい環境、福祉の充実、学力の向上・大学、住みやすさ、下町らしさ・人情、人柄、商店街を作り活性化、B級グルメやご当地グルメの開発、eco や温暖化対策などの環境対策への取り組み、治安の良さ・安心・安全、再開発、施設づくり、地元の産業、文化、歴史、イベント、悪いイメージ、治安等の改善などが挙げられる。

項目	件数
公園、緑、川の多さ(荒川、舎人公園)	143 件
子育てしやすい環境、福祉の充実	63 件
住みやすさ	49 件
下町らしさ・人情、人柄	43 件
交通の便	35 件
地元の産業、文化、歴史	33 件
治安の良さ・安心・安全	25 件
学力の向上・大学	20 件
eco や温暖化対策などの環境対策への取り組み	20 件
花火大会	18 件
再開発、施設づくり	17 件
イベント	17 件
悪いイメージ、治安等の改善	13 件
アダチン、キャラクター	13 件
商店街を作り活性化	12 件
B級グルメやご当地グルメの開発	8 件
その他	91 件

項目	主な意見	性別	年代	ブック
公園、緑、川の多さ(荒川、舎人公園)(143 件)	荒川、古くから残っている文化財	女性	30 代前半	8
	河川敷の緑と下町の良さ	男性	20 代後半	1
	緑が減ってきているから、できる限り残して街路樹がたくさんあるといいですね、桜の道とか	女性	30 代前半	12
	公園や緑の多い環境の良い所	男性	30 代前半	12
	舎人公園は敷地内が広く家族連れで訪れる方がいるので有名人のイベント等、舎人公園をシンボルとしてPRしてもよいのではないのでしょうか。	女性	20 代後半	10
	緑があるし、土地もあるから家の景観を統一していく条例とか、新百合ヶ丘みたいな町にすればよい	女性	30 代前半	13
	足立区のシンボルとしてPRするものは荒川かな、大きな川なので自慢してほしい	男性	30 代前半	7
	人々が世代を超えたコミュニケーションをとりやすい町づくり、河原や公園など	男性	20 代後半	5
	足立区は他区に比べて特筆すべき点は何より緑が多い事ですので、そこをもっと有効活用すべきだと思います。例えば、その緑に隣接して、ショッピングセンターや家族と過ごせる複合温泉施設など良いと思います	男性	30 代後半	12
	緑・公園が多い所をアピール。東京と埼玉、千葉などの中継拠点となる機能があるところをアピールできればよいのでは？	男性	20 代後半	1
	都心へのアクセスが良く、緑や自然が多く残されているところ	男性	30 代後半	1
	自然が多く、庶民的で実は暮らしやすい街(新田3丁目をアピールしてほしいかも(品が安いとか物価が安いとか、後は区がいろいろ頑張っている印象がある)新しく開発されている所なので	女性	20 代後半	2
	緑が多いので、環境には自信を持ってよいのでは。	女性	20 代前半	9
	自然、緑、舎人公園、舎人ライナー	女性	20 代後半	11

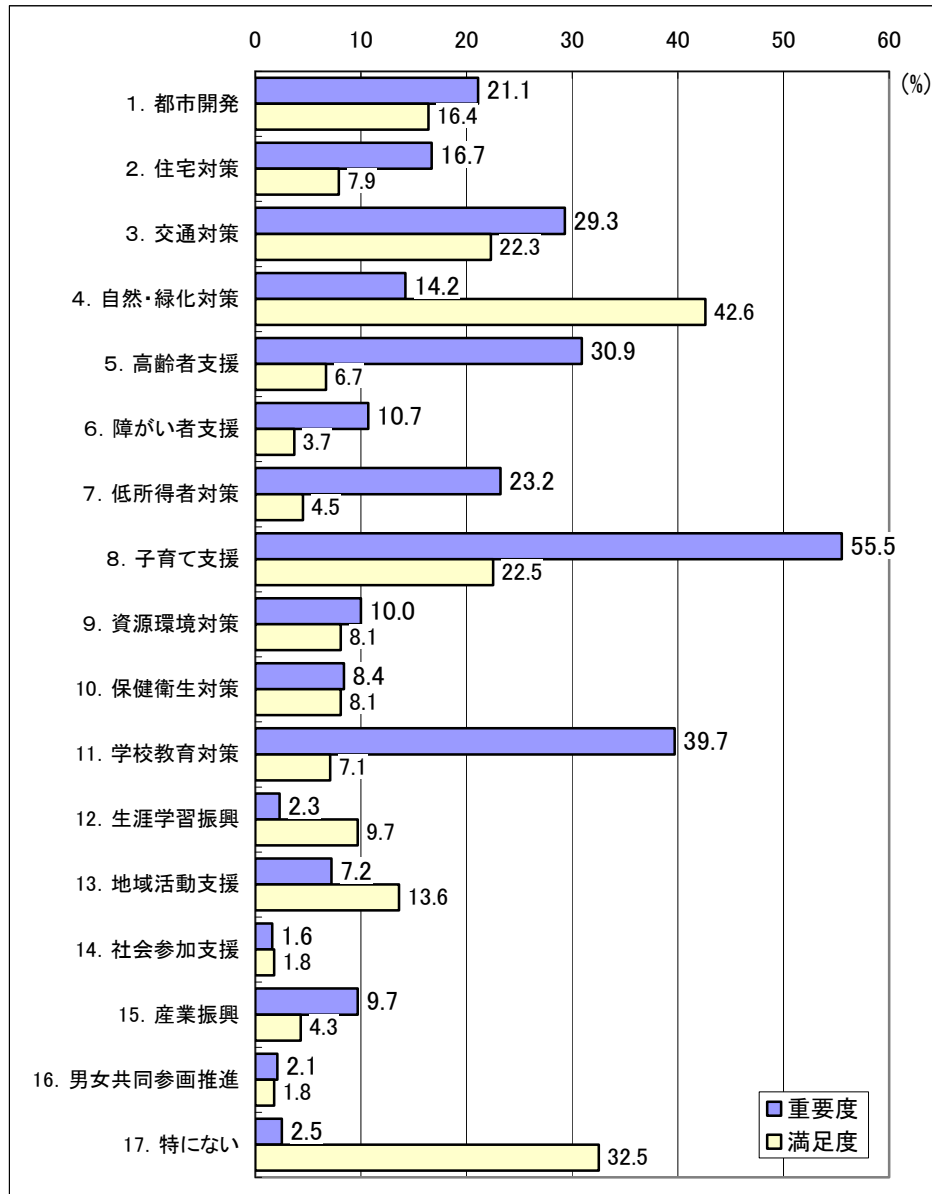
項目	主な意見	性別	年代	ブロック
子育てしやすい環境、福祉の充実 (63件)	20代～40代が多いということは子どもも多くなると考えられる。育児手当の増額や子育てしやすい環境が求められる	女性	30代後半	2
	子育て支援の充実、対策に力を入れている事、給食なども独自の手法を試しているところ。	女性	30代後半	1
	治安の良さ(良くなったら)、子育てのしやすさ(駅の近くなど通いやすいところに進学校を作ってください)	女性	20代後半	8
	治安の悪いイメージをなくして緑も多く子供を育てやすい環境が整っている街というのをPRしていけばいいと思う。	女性	20代後半	8
	保育所を充実して、子育てしやすい街を作ってください。それを足立区のブランドやシンボルとしてアピールすべきだと思います。	男性	30代前半	6
	やはり子育てのしやすさをアピールしてよいと思う。	女性	30代後半	6
住みやすさ (49件)	住みやすいことをPRしつつ、犯罪を犯したり、治安を守ろうとしない人にとっては住みにくい区であることを示すべきだと思う	女性	20代後半	3
	地価が安い、緑が多く住みやすい	女性	30代前半	7
	家賃の相場、土地が安いので、住みやすさ等が加わればアピールできると思う。	女性	20代後半	7
	住みやすい街(育児がしやすい等)	女性	30代前半	4
下町らしさ・人情、人柄 (43件)	下町っぽい良さ、再開発でかわりつつあるイメージをアピールしたら良い	女性	30代前半	4
	足立区に愛着があり、区民同士のつながりを大切に思う気持ち	女性	20代後半	10
	昔ながらの下町、緑の多く、環境の良い街	男性	30代前半	9
	親しみやすさと独特の雰囲気、下町らしさが残る風景	女性	20代前半	4
交通の便 (35件)	閑静な住宅街、都心へのアクセスも便利。	男性	20代前半	10
	交通の便の良さ(区内、区外ともに)	男性	20代後半	11
	北千住:北千住は交通の便がとても優れているので、この地の利を活かして他区よりも価値を高めてほしい	男性	30代前半	1
	学園都市となると。通勤にも近く、便利であるところ。	女性	30代前半	1
	舎人ライナーをもっとアピールして駅前に花を咲かせる！！	女性	30代後半	10
地元の産業、文化、歴史 (33件)	農業、自然、教育の充実、足立区は住む所で生活用品は買っても、衣料・家電とかを買うのは別の地域に行くと思います	男性	30代後半	4
	もっと足立区で頑張っている職人さんをPRした方が良いと思います。伝統的な工芸をもっている方が多いので。	女性	20代後半	13
	その地区にあったものをシンボルとしてPRすべき。北千住では宿場町だったことや綾瀬では新撰組がいたことなど。	女性	30代後半	6
	革製品がたくさんありますので、それをもっとPRできると思います。リーガル、ハルタ etc	男性	20代後半	10
治安の良さ・安心・安全 (25件)	安全で安心して住める街であるということ	女性	30代前半	12
	実際は治安は悪くないと思うので、具体的な治安対策で安心して暮らせる場所をアピールできたら良いと思います。	女性	30代前半	10
	安全。危険がおきても迅速に対応できる態勢	男性	20代前半	5
	治安がいい街、楽しめる街	女性	20代前半	8
	実態は別として悪いイメージを改善すべき、子育て環境、防災、治水、治安	男性	30代前半	1
学力の向上・大学 (20件)	①緑が多く、静かで子育てしやすい街②伝統が残る職人の街③学力の高い街←他区の友人からは足立区の学力の低さは有名です。悲しいです。←でも、学校の授業数を増やせばいいというものではないと思います。←今の子は忙しい。	女性	30代後半	9
	大学が増えているのならば、学生向けのPR。駅や近くに遊べる場をつくる。	男性	20代前半	10
	新しい足立、学力向上率、住みやすさ上昇率等、昔と違うイメージ	男性	30代前半	8
	知的なイメージが薄いため、教育面で力を入れることで区全体のイメージアップするのではないのでしょうか？施設など形のあるものに求めるのではなく、1人1人が他の区へ自慢できる様な(学力No.1、犯罪検挙率No.1など)ことが良いと思います。	女性	30代前半	11

項目	主な意見	性別	年代	ブロック
エコや温暖化対策などの環境対策への取り組み (20件)	自然や緑等、環境を売りに。	男性	30代前半	12
	リサイクル先進区、子ども特区	男性	30代前半	13
	子育てしやすい、環境問題に積極的、地域産業・農業が活性化	女性	30代前半	2
	eco＝自然体へ近づける環境として、足立区は緑や公園が多いので、空気のおいしい街としてクリーンなイメージがつけばと思います。	女性	30代前半	13
花火大会 (18件)	花火大会はすごく良いのでぜひPRして欲しい	女性	30代後半	3
	夏の花火。冬の(竹ノ塚イルミネーション)	女性	30代後半	5
再開発、施設づくり (17件)	北千住ターミナルの更なる商業化、これにより足立区＝北千住がシンボルとして定着するのではないか	男性	30代前半	10
	北千住→学生の町としてさらに開発、みんなが立ち寄りたくなる駅へ、高級住宅街開発→モデルとなるような街を出現させてほしい	男性	20代後半	10
	足立区の住みにくいところはマンションばかり建ってスーパーやデパートが全然ないところなので大きいデパートを作ってほしい。北千住にはあるけど王子に全くない。	女性	20代後半	2
	人が集まるような施設を造りPRをしたほうが良いと思います。(アウトレットモールやショッピングセンターなど)。イメージを変えていくことが大事だと思います。	女性	30代後半	4
イベント (17件)	もっとイルミネーション以外でも季節のイベントをしてPRをした方がよいと思います。	男性	20代後半	10
	みんなが集まれる場所(冬:イルミネーション、秋:公園、夏:おまつり、春:花見)	女性	30代前半	6
	大規模な公園でのイベントをもっと人が集まるようなものを企画してPRしてほしいと思う。	女性	30代後半	13
	市民参加型のイベント等を企画して、発信していくのはどうか	男性	30代前半	7
アダチン、キャラクター (13件)	下町の温かさ、アダチンは初めは「え!？」と思いましたが、今はかわいく思えるようになりました。	女性	30代前半	11
	キャラクターとしてアダチンももっと有名に!	女性	20代前半	4
悪いイメージ、治安等の改善 (13件)	まずは住民の生活レベル向上を考えた方がよいのでは! 本当に引っ越してきてペットのフンには驚く! ここまでマナー悪いのは23区で他にないでしょう!	男性	30代後半	1
	「治安が悪い街」というイメージをなんとかするべきだと思う	男性	20代後半	6
	治安、経済的な面。足立区で子供を育てたいと、みんなが思えるようにしてください	女性	20代後半	12
商店街を作り活性化 (12件)	下町と都市部の融合(ショッピングモールと商店街がある亀有駅前みたいな)	男性	20代前半	8
	マルイやルミネができた事により、商店街がさびしくなっているので、谷中ぎんざ商店街などのように商店街に力を入れてほしい	女性	30代後半	1
B級グルメやご当地グルメの開発 (8件)	宇都宮＝ギョウザ、佐野＝ラーメン、的な特色のある食べ物など店がたくさんあり、日本で足立区と言えば〇〇というものを作ること。独自の社会保障制度でNo1になる	男性	30代後半	5
	本当に、B級グルメストリートを作って欲しい!! イメージは、月島もんじゃ街のように整然とした道に、もんじゃ、焼鳥、ぎょうざなど、きれいな店を何軒も並べて、有名にしたい。	女性	20代後半	4
	下町らしさ。昭和テイストな懐かしさ。B級グルメをつくるとか。無理やり文化的な街に仕立てるのはムリがあると思う。	女性	30代前半	11
その他 (91件)	そんなとこよりキレイな町にするべき。風俗店をどうにかしない限り、イメージが悪いまま。しいて言えば「住民を大切にしたいレトロな区」のようなイメージで、変化が緩やかなことを逆手に取る	女性	20代後半	6
	景観をそこなうマンションの乱立、それによる区民の爆発的な増加で、ゴチャゴチャしちやわなないような安心な町づくり。	男性	30代前半	13
	治安のよい街、最先端技術の導入、学力・教養向上	男性	30代後半	7
	昔ながらの街並みや建物など残っているものを活かして、下町の良さを前に出す	男性	20代後半	1

(3) 区や地域との関わり

Q3-1 区の取り組みの重要度・満足度

- 全体では、重要度が高い取り組みは「子育て支援」「学校教育対策」が多く、満足度が高い取り組みは「自然・緑化対策」が多いが、「特にない」も多くなっている。
- 重要度が高い取り組みは、
 - 〔年齢・性別別〕では、「交通対策」が女性より男性に多く、「学校教育対策」は男性より女性に多い。また、「高齢者支援」は30歳代女性に多く、「低所得者対策」は20歳代男性に多くなっている。
 - 〔ライフステージ別〕では、「子育て支援」が全て3割を超えており、「学校教育対策」も独身以外は3割を超えている。
 - 〔居住歴別〕では、「子育て支援」「学校教育対策」が全て3割を超えており、「高齢者支援」も比較的多く3割を超えている。
 - 〔ブロック別〕でも、「子育て支援」「学校教育対策」が全て3割を超えており、「交通対策」「高齢者支援」も比較的多く3割を超えている。
- また、ブロックごとでは、「子育て支援」の回答は、伊興・西新井地域（65.9%）、興野・本木地域（64.5%）、保塚・六町地域（60.5%）に多く、「学校教育対策」の回答は、花畑・保木間地域（55.0%）、梅田地域（48.9%）、興野・本木地域（48.4%）に多い。
- 満足度が高い取り組みは、
 - 〔年齢・性別別〕では、「自然対策」が全体で4割を超え、「交通対策」が20歳代男性で3割を超えたが、「特にない」の回答も30歳代男性と20歳代女性では3割を超えている。
 - 〔ライフステージ別〕では、「自然対策」が全体で4割を超え、「子育て支援」が小学校入学前、小・中学校の子どもがいる人は3割を超えたが、「特にない」の回答も子どもがいない人は3割を超えている。
 - 〔居住歴別〕でも、「自然対策」が全体で4割を超えたが、「特にない」の回答もほぼ3割を超えている。
 - 〔ブロック別〕でも、「自然対策」が全体で4割を超えたが、「特にない」の回答も比較的多く3割を超えている。
- また、ブロックごとでは、「自然対策」の回答は、伊興・西新井地域（58.3%）、佐野地域（51.3%）、鹿浜地域（50.0%）に多く、「特にない」の回答も、伊興・西新井地域（41.7%）、舎人地域（40.0%）、中央本町地域（39.2%）と多い。



N = 569

図表 重要度・満足度の高い区の取り組み（単純集計）

Q3-1(1) 重要度の高い区の実施
 × Q4-2.5 年齢

上段:度数 下段:%	Q3-1(1) 重要度の高い区の実施								
	合計	1. 都市開 発	2. 住宅対 策	3. 交通対 策	4. 自然・ 緑化対策	5. 高齢者 支援	6. 障がい 者支援	7. 低所得 者対策	8. 子育て 支援
20歳代男性	58 100.0	17 29.3	7 12.1	20 34.5	5 8.6	15 25.9	6 10.3	20 34.5	32 55.2
30歳代男性	136 100.0	26 19.1	29 21.3	46 33.8	21 15.4	35 25.7	17 12.5	39 28.7	72 52.9
20歳代女性	143 100.0	34 23.8	20 14.0	41 28.7	25 17.5	40 28.0	13 9.1	33 23.1	73 51.0
30歳代女性	227 100.0	43 18.9	36 15.9	59 26.0	30 13.2	85 37.4	25 11.0	39 17.2	136 59.9

上段:度数 下段:%	Q3-1(1) 重要度の高い区の実施									
	9. 資源環 境対策	10. 保健衛 生対策	11. 学校教 育対策	12. 生涯学 習振興	13. 地域活 動支援	14. 社会参 加支援	15. 産業振 興	16. 男女共 同参画推 進	17. 特にな い	
20歳代男性	4 6.9	7 12.1	20 34.5	1 1.7	7 12.1	- -	7 12.1	- -	1 1.7	
30歳代男性	12 8.8	9 6.6	46 33.8	6 4.4	8 5.9	5 3.7	22 16.2	3 2.2	1 0.7	
20歳代女性	17 11.9	15 10.5	59 41.3	2 1.4	12 8.4	3 2.1	8 5.6	2 1.4	5 3.5	
30歳代女性	23 10.1	16 7.0	100 44.1	4 1.8	14 6.2	1 0.4	17 7.5	7 3.1	7 3.1	

図表 重要度の高い区の実施 × 年齢

Q3-1(1) 重要度の高い区の取り組み
× Q4-7 ライフステージ

上段:度数 下段:%		Q3-1(1) 重要度の高い区の取り組み								
		合計	1. 都市 開発	2. 住宅 対策	3. 交通 対策	4. 自然・ 緑化対策	5. 高齢 者支援	6. 障が い者支援	7. 低所 得者対策	8. 子育 て支援
Q4-7 ライフ ステー ジ	1. 独身	220	55	34	71	35	82	34	63	83
		100.0	25.0	15.5	32.3	15.9	37.3	15.5	28.6	37.7
	2. 子どものいな い夫婦	104	20	14	33	18	31	6	19	52
		100.0	19.2	13.5	31.7	17.3	29.8	5.8	18.3	50.0
	3. 子どもがいる (一番上の子ども が小学校入学前)	139	25	28	38	20	31	11	25	109
		100.0	18.0	20.1	27.3	14.4	22.3	7.9	18.0	78.4
4. 子どもがいる (一番上の子ども が小・中学校)	84	14	14	19	7	25	8	17	59	
	100.0	16.7	16.7	22.6	8.3	29.8	9.5	20.2	70.2	
5. 子どもがいる (一番上の子ども が高校生以上)	9	4	-	2	-	3	2	4	6	
	100.0	44.4	-	22.2	-	33.3	22.2	44.4	66.7	
6. その他	8	2	2	3	1	2	-	3	4	
	100.0	25.0	25.0	37.5	12.5	25.0	-	37.5	50.0	

上段:度数 下段:%		Q3-1(1) 重要度の高い区の取り組み								
		9. 資源 環境対策	10. 保健 衛生対策	11. 学校 教育対策	12. 生涯 学習振興	13. 地域 活動支援	14. 社会 参加支援	15. 産業 振興	16. 男女 共同参画 推進	17. 特 に ない
Q4-7 ライフ ステー ジ	1. 独身	27	20	65	7	17	6	23	3	5
		12.3	9.1	29.5	3.2	7.7	2.7	10.5	1.4	2.3
	2. 子どものいな い夫婦	10	13	34	3	7	-	12	4	6
		9.6	12.5	32.7	2.9	6.7	-	11.5	3.8	5.8
	3. 子どもがいる (一番上の子ども が小学校入学前)	10	9	68	2	11	3	11	4	1
		7.2	6.5	48.9	1.4	7.9	2.2	7.9	2.9	0.7
4. 子どもがいる (一番上の子ども が小・中学校)	10	4	51	1	5	-	7	1	1	
	11.9	4.8	60.7	1.2	6.0	-	8.3	1.2	1.2	
5. 子どもがいる (一番上の子ども が高校生以上)	-	-	5	-	-	-	1	-	-	
	-	-	55.6	-	-	-	11.1	-	-	
6. その他	-	1	2	-	-	-	1	-	1	
	-	12.5	25.0	-	-	-	12.5	-	12.5	

図表 重要度の高い区の取り組み × ライフステージ

Q3-1(1) 重要度の高い区の取り組み
× Q4-8 居住歴

上段:度数 下段:%		Q3-1(1) 重要度の高い区の取り組み								
		合計	1. 都市 開発	2. 住宅 対策	3. 交通 対策	4. 自然・ 緑化対策	5. 高齢 者支援	6. 障が い者支援	7. 低所 得者対策	8. 子育 て支援
Q4-8 居住歴	1. 1年未満	69 100.0	21 30.4	7 10.1	19 27.5	8 11.6	21 30.4	7 10.1	15 21.7	41 59.4
	2. 1～4年	152 100.0	32 21.1	31 20.4	46 30.3	25 16.4	31 20.4	19 12.5	30 19.7	100 65.8
	3. 5～10年	123 100.0	24 19.5	25 20.3	28 22.8	16 13.0	37 30.1	7 5.7	27 22.0	70 56.9
	4. 11～15年	37 100.0	7 18.9	5 13.5	9 24.3	7 18.9	10 27.0	4 10.8	12 32.4	20 54.1
	5. 16～20年	16 100.0	1 6.3	4 25.0	4 25.0	-	5 31.3	2 12.5	3 18.8	8 50.0
	6. 20～30年	89 100.0	19 21.3	9 10.1	30 33.7	14 15.7	31 34.8	8 9.0	25 28.1	41 46.1
	7. 30年以上	77 100.0	16 20.8	11 14.3	29 37.7	10 13.0	39 50.6	14 18.2	18 23.4	33 42.9

上段:度数 下段:%		Q3-1(1) 重要度の高い区の取り組み								
		9. 資源 環境対策	10. 保健 衛生対策	11. 学校 教育対策	12. 生涯 学習振興	13. 地域 活動支援	14. 社会 参加支援	15. 産業 振興	16. 男女 共同参画 推進	17. 特 に ない
Q4-8 居住歴	1. 1年未満	7 10.1	4 5.8	25 36.2	3 4.3	4 5.8	-	9 13.0	-	1 1.4
	2. 1～4年	10 6.6	21 13.8	52 34.2	4 2.6	13 8.6	2 1.3	14 9.2	2 1.3	4 2.6
	3. 5～10年	14 11.4	7 5.7	58 47.2	3 2.4	6 4.9	2 1.6	13 10.6	5 4.1	5 4.1
	4. 11～15年	4 10.8	1 2.7	19 51.4	1 2.7	2 5.4	1 2.7	2 5.4	-	2 5.4
	5. 16～20年	1 6.3	3 18.8	8 50.0	-	1 6.3	-	1 6.3	1 6.3	1 6.3
	6. 20～30年	13 14.6	7 7.9	37 41.6	1 1.1	10 11.2	2 2.2	8 9.0	1 1.1	1 1.1
	7. 30年以上	8 10.4	4 5.2	25 32.5	1 1.3	5 6.5	2 2.6	8 10.4	3 3.9	-

図表 重要度の高い区の取り組み × 居住歴

Q3-1(1) 重要度の高い区の取り組み
× ブロック

上段:度数 下段:%		Q3-1(1) 重要度の高い区の取り組み								
		合計	1. 都市開 発	2. 住宅対 策	3. 交通対 策	4. 自然・ 緑化対策	5. 高齢者 支援	6. 障がい 者支援	7. 低所得 者対策	8. 子育て 支援
ブロック	1. 千住	73 100.0	16 21.9	15 20.5	10 13.7	9 12.3	27 37.0	7 9.6	19 26.0	34 46.6
	2. 江北	38 100.0	9 23.7	7 18.4	23 60.5	9 23.7	10 26.3	1 2.6	6 15.8	21 55.3
	3. 興野・本木	31 100.0	4 12.9	7 22.6	11 35.5	2 6.5	4 12.9	3 9.7	8 25.8	20 64.5
	4. 梅田	47 100.0	10 21.3	5 10.6	11 23.4	6 12.8	13 27.7	8 17.0	8 17.0	26 55.3
	5. 中央本町	53 100.0	9 17.0	5 9.4	13 24.5	9 17.0	17 32.1	3 5.7	13 24.5	29 54.7
	6. 綾瀬	69 100.0	17 24.6	18 26.1	18 26.1	13 18.8	15 21.7	9 13.0	15 21.7	38 55.1
	7. 佐野	44 100.0	10 22.7	7 15.9	15 34.1	5 11.4	14 31.8	4 9.1	14 31.8	24 54.5
	8. 保塚・六町	38 100.0	9 23.7	8 21.1	14 36.8	3 7.9	13 34.2	-	10 26.3	23 60.5
	9. 花畑・保木間	20 100.0	4 20.0	3 15.0	5 25.0	4 20.0	6 30.0	2 10.0	2 10.0	11 55.0
	10. 竹の塚	55 100.0	12 21.8	6 10.9	13 23.6	9 16.4	21 38.2	10 18.2	10 18.2	32 58.2
	11. 伊興・西新井	44 100.0	8 18.2	5 11.4	16 36.4	2 4.5	17 38.6	4 9.1	15 34.1	29 65.9
	12. 鹿浜	25 100.0	4 16.0	6 24.0	12 48.0	3 12.0	8 32.0	5 20.0	8 32.0	12 48.0
	13. 舎人	32 100.0	8 25.0	3 9.4	6 18.8	7 21.9	11 34.4	5 15.6	4 12.5	17 53.1

上段:度数 下段:%		Q3-1(1) 重要度の高い区の取り組み								
		9. 資源 環境対 策	10. 保健 衛生対策	11. 学校 教育対策	12. 生涯 学習振興	13. 地域 活動支援	14. 社会 参加支援	15. 産業 振興	16. 男女 共同参画 推進	17. 特 に ない
ブロック	1. 千住	9 12.3	5 6.8	31 42.5	1 1.4	6 8.2	2 2.7	12 16.4	1 1.4	3 4.1
	2. 江北	4 10.5	5 13.2	13 34.2	-	2 5.3	-	3 7.9	1 2.6	-
	3. 興野・本木	3 9.7	5 16.1	15 48.4	1 3.2	2 6.5	-	3 9.7	-	-
	4. 梅田	6 12.8	5 10.6	23 48.9	2 4.3	3 6.4	-	3 6.4	1 2.1	1 2.1
	5. 中央本町	7 13.2	4 7.5	21 39.6	-	5 9.4	-	4 7.5	-	4 7.5
	6. 綾瀬	6 8.7	6 8.7	25 36.2	3 4.3	5 7.2	1 1.4	6 8.7	2 2.9	-
	7. 佐野	6 13.6	2 4.5	17 38.6	-	4 9.1	1 2.3	5 11.4	-	1 2.3
	8. 保塚・六町	-	2 5.3	15 39.5	-	3 7.9	1 2.6	3 7.9	1 2.6	1 2.6
	9. 花畑・保木間	3 15.0	3 15.0	11 55.0	1 5.0	2 10.0	-	2 10.0	-	-
	10. 竹の塚	3 5.5	3 5.5	19 34.5	2 3.6	7 12.7	2 3.6	3 5.5	2 3.6	2 3.6
	11. 伊興・西新井	5 11.4	3 6.8	16 36.4	1 2.3	1 2.3	-	5 11.4	2 4.5	-
	12. 鹿浜	2 8.0	-	8 32.0	-	1 4.0	2 8.0	2 8.0	1 4.0	-
	13. 舎人	3 9.4	5 15.6	12 37.5	2 6.3	-	-	4 12.5	1 3.1	2 6.3

図表 重要度の高い区の取り組み × ブロック

Q3-1(2) 満足度の高い区の取り組み
× 年齢・性別

上段:度数 下段:%	Q3-1(2) 満足度の高い区の取り組み								
	合計	1. 都市開 発	2. 住宅対 策	3. 交通対 策	4. 自然・ 緑化対策	5. 高齢者 支援	6. 障がい 者支援	7. 低所得 者対策	8. 子育て 支援
20歳代男性	52 100.0	11 21.2	8 15.4	18 34.6	21 40.4	3 5.8	1 1.9	4 7.7	7 13.5
30歳代男性	126 100.0	24 19.0	11 8.7	31 24.6	52 41.3	12 9.5	7 5.6	6 4.8	27 21.4
20歳代女性	123 100.0	17 13.8	9 7.3	19 15.4	50 40.7	9 7.3	3 2.4	4 3.3	23 18.7
30歳代女性	189 100.0	29 15.3	10 5.3	42 22.2	87 46.0	9 4.8	7 3.7	8 4.2	52 27.5

上段:度数 下段:%	Q3-1(2) 満足度の高い区の取り組み									
	9. 資源環 境対策	10. 保健衛 生対策	11. 学校教 育対策	12. 生涯学 習振興	13. 地域活 動支援	14. 社会参 加支援	15. 産業振 興	16. 男女共 同参画推 進	17. 特にな い	
20歳代男性	5 9.6	3 5.8	3 5.8	2 3.8	8 15.4	2 3.8	4 7.7	2 3.8	15 28.8	
30歳代男性	9 7.1	12 9.5	15 11.9	9 7.1	13 10.3	2 1.6	6 4.8	2 1.6	42 33.3	
20歳代女性	13 10.6	7 5.7	6 4.9	13 10.6	16 13.0	1 0.8	4 3.3	1 0.8	47 38.2	
30歳代女性	12 6.3	17 9.0	11 5.8	24 12.7	30 15.9	4 2.1	6 3.2	4 2.1	55 29.1	

図表 満足度の高い区の取り組み × 年齢・性別

Q3-1(2) 満足度の高い区の取り組み
× Q4-7 ライフステージ

上段:度数 下段:%		Q3-1(2) 満足度の高い区の取り組み								
		合計	1. 都市 開発	2. 住宅 対策	3. 交通 対策	4. 自然・ 緑化対策	5. 高齢 者支援	6. 障が い者支援	7. 低所 得者対策	8. 子育 て支援
Q4-7 ライフ ステー ジ	1. 独身	197 100.0	32 16.2	15 7.6	53 26.9	82 41.6	14 7.1	9 4.6	8 4.1	24 12.2
	2. 子どものいな い夫婦	82 100.0	13 15.9	8 9.8	16 19.5	35 42.7	2 2.4	3 3.7	5 6.1	11 13.4
	3. 子どもがいる (一番上の子ども が小学校入学前)	122 100.0	19 15.6	8 6.6	19 15.6	55 45.1	8 6.6	2 1.6	7 5.7	46 37.7
	4. 子どもがいる (一番上の子ども が小・中学校)	75 100.0	14 18.7	7 9.3	20 26.7	34 45.3	9 12.0	4 5.3	1 1.3	28 37.3
	5. 子どもがいる (一番上の子ども が高校生以上)	7 100.0	2 28.6	- -	1 14.3	4 57.1	- -	- -	1 14.3	1 14.3
	6. その他	7 100.0	1 14.3	- -	1 14.3	- -	- -	- -	- -	- -

上段:度数 下段:%		Q3-1(2) 満足度の高い区の取り組み								
		9. 資源 環境対策	10. 保健 衛生対策	11. 学校 教育対策	12. 生涯 学習振興	13. 地域 活動支援	14. 社会 参加支援	15. 産業 振興	16. 男女 共同参画 推進	17. 特 に ない
Q4-7 ライフ ステー ジ	1. 独身	14 7.1	10 5.1	14 7.1	19 9.6	21 10.7	4 2.0	11 5.6	5 2.5	75 38.1
	2. 子どものいな い夫婦	7 8.5	7 8.5	2 2.4	4 4.9	11 13.4	1 1.2	1 1.2	- -	34 41.5
	3. 子どもがいる (一番上の子ども が小学校入学前)	10 8.2	16 13.1	9 7.4	11 9.0	19 15.6	2 1.6	7 5.7	4 3.3	28 23.0
	4. 子どもがいる (一番上の子ども が小・中学校)	7 9.3	5 6.7	9 12.0	11 14.7	13 17.3	2 2.7	2 2.7	- -	16 21.3
	5. 子どもがいる (一番上の子ども が高校生以上)	1 14.3	- -	- -	2 28.6	2 28.6	- -	- -	- -	2 28.6
	6. その他	1 14.3	1 14.3	1 14.3	- -	1 14.3	- -	- -	- -	4 57.1

図表 満足度の高い区の取り組み × ライフステージ

Q3-1(2) 満足度の高い区の取り組み
× Q4-8 居住歴

上段:度数 下段:%		Q3-1(2) 満足度の高い区の取り組み								
		合計	1. 都市 開発	2. 住宅 対策	3. 交通 対策	4. 自然・ 緑化対策	5. 高齢 者支援	6. 障が い者支援	7. 低所 得者対策	8. 子育 て支援
Q4-8 居住歴	1. 1年未満	58 100.0	6 10.3	5 8.6	9 15.5	25 43.1	1 1.7	2 3.4	2 3.4	12 20.7
	2. 1～4年	134 100.0	24 17.9	12 9.0	26 19.4	65 48.5	6 4.5	5 3.7	10 7.5	29 21.6
	3. 5～10年	103 100.0	16 15.5	8 7.8	25 24.3	46 44.7	8 7.8	3 2.9	3 2.9	34 33.0
	4. 11～15年	33 100.0	5 15.2	2 6.1	10 30.3	11 33.3	2 6.1	2 6.1	1 3.0	6 18.2
	5. 16～20年	15 100.0	4 26.7	1 6.7	3 20.0	7 46.7	1 6.7	-	1 6.7	3 20.0
	6. 20～30年	77 100.0	18 23.4	5 6.5	23 29.9	25 32.5	6 7.8	1 1.3	3 3.9	12 15.6
	7. 30年以上	69 100.0	8 11.6	5 7.2	14 20.3	31 44.9	9 13.0	5 7.2	2 2.9	14 20.3

上段:度数 下段:%		Q3-1(2) 満足度の高い区の取り組み								
		9. 資源 環境対策	10. 保健 衛生対策	11. 学校 教育対策	12. 生涯 学習振興	13. 地域 活動支援	14. 社会 参加支援	15. 産業 振興	16. 男女 共同参画 推進	17. 特 に ない
Q4-8 居住歴	1. 1年未満	8 13.8	3 5.2	2 3.4	4 6.9	8 13.8	2 3.4	2 3.4	-	19 32.8
	2. 1～4年	9 6.7	11 8.2	7 5.2	14 10.4	19 14.2	3 2.2	6 4.5	3 2.2	39 29.1
	3. 5～10年	10 9.7	14 13.6	3 2.9	13 12.6	17 16.5	1 1.0	3 2.9	2 1.9	28 27.2
	4. 11～15年	3 9.1	1 3.0	3 9.1	3 9.1	2 6.1	-	3 9.1	-	17 51.5
	5. 16～20年	2 13.3	2 13.3	1 6.7	-	1 6.7	1 6.7	-	-	5 33.3
	6. 20～30年	4 5.2	4 5.2	8 10.4	8 10.4	8 10.4	1 1.3	5 6.5	2 2.6	26 33.8
	7. 30年以上	4 5.8	3 4.3	10 14.5	6 8.7	11 15.9	1 1.4	2 2.9	2 2.9	24 34.8

図表 満足度の高い区の取り組み × 居住歴

Q3-1(2) 満足度の高い区の取り組み
× ブロック

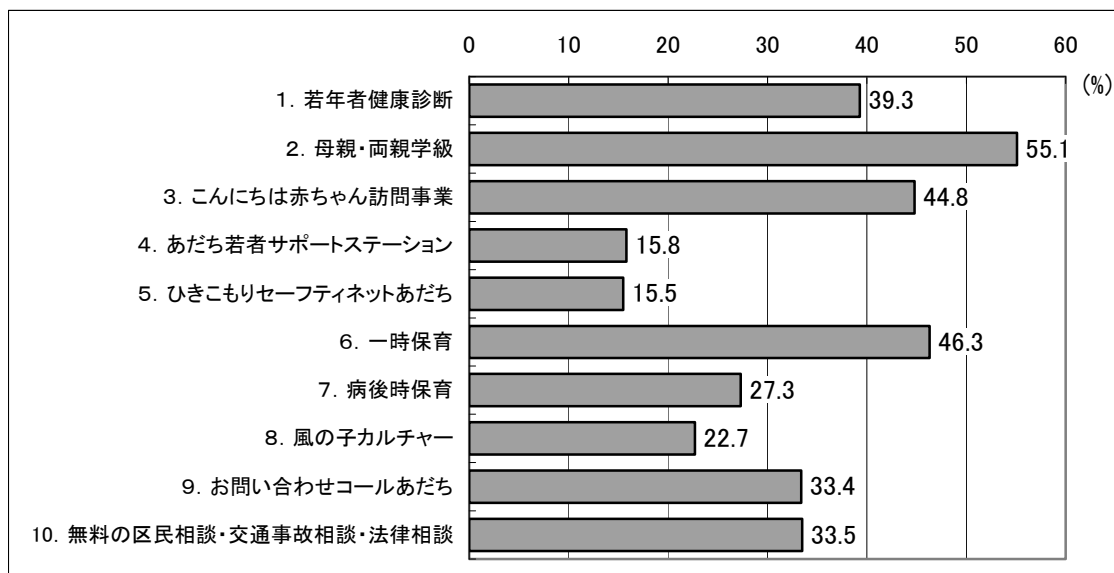
上段:度数 下段:%		Q3-1(2) 満足度の高い区の取り組み								
		合計	1. 都市開 発	2. 住宅対 策	3. 交通対 策	4. 自然・ 緑化対策	5. 高齢者 支援	6. 障がい 者支援	7. 低所得 者対策	8. 子育て 支援
ブロック	1. 千住	67 100.0	15 22.4	1 1.5	28 41.8	20 29.9	5 7.5	5 7.5	5 7.5	15 22.4
	2. 江北	30 100.0	8 26.7	1 3.3	5 16.7	14 46.7	6 20.0	2 6.7	3 10.0	7 23.3
	3. 興野・本木	25 100.0	6 24.0	2 8.0	2 8.0	11 44.0	1 4.0	- -	1 4.0	7 28.0
	4. 梅田	37 100.0	9 24.3	4 10.8	8 21.6	16 43.2	2 5.4	1 2.7	- -	9 24.3
	5. 中央本町	51 100.0	8 15.7	4 7.8	6 11.8	19 37.3	2 3.9	1 2.0	2 3.9	11 21.6
	6. 綾瀬	62 100.0	8 12.9	5 8.1	11 17.7	29 46.8	3 4.8	1 1.6	3 4.8	14 22.6
	7. 佐野	39 100.0	6 15.4	4 10.3	8 20.5	20 51.3	1 2.6	2 5.1	4 10.3	14 35.9
	8. 保塚・六町	33 100.0	- -	3 9.1	5 15.2	14 42.4	4 12.1	1 3.0	1 3.0	4 12.1
	9. 花畑・保木間	17 100.0	4 23.5	2 11.8	5 29.4	4 23.5	- -	1 5.9	- -	5 29.4
	10. 竹の塚	47 100.0	6 12.8	6 12.8	11 23.4	20 42.6	3 6.4	1 2.1	2 4.3	8 17.0
	11. 伊興・西新井	36 100.0	5 13.9	2 5.6	8 22.2	21 58.3	1 2.8	1 2.8	- -	4 11.1
	12. 鹿浜	24 100.0	3 12.5	3 12.5	6 25.0	12 50.0	4 16.7	1 4.2	- -	7 29.2
	13. 舎人	25 100.0	3 12.0	2 8.0	7 28.0	10 40.0	1 4.0	1 4.0	1 4.0	6 24.0

上段:度数 下段:%		Q3-1(2) 満足度の高い区の取り組み								
		9. 資源 環境対 策	10. 保健 衛生対策	11. 学校 教育対策	12. 生涯 学習振興	13. 地域 活動支援	14. 社会 参加支援	15. 産業 振興	16. 男女 共同参画 推進	17. 特 に ない
ブロック	1. 千住	3 4.5	5 7.5	4 6.0	4 6.0	11 16.4	1 1.5	5 7.5	- -	19 28.4
	2. 江北	1 3.3	3 10.0	1 3.3	1 3.3	3 10.0	- -	1 3.3	1 3.3	9 30.0
	3. 興野・本木	3 12.0	2 8.0	1 4.0	4 16.0	2 8.0	- -	- -	2 8.0	8 32.0
	4. 梅田	1 2.7	- -	5 13.5	5 13.5	5 13.5	1 2.7	1 2.7	1 2.7	14 37.8
	5. 中央本町	5 9.8	3 5.9	2 3.9	6 11.8	8 15.7	- -	2 3.9	2 3.9	20 39.2
	6. 綾瀬	4 6.5	5 8.1	1 1.6	4 6.5	10 16.1	2 3.2	1 1.6	2 3.2	17 27.4
	7. 佐野	7 17.9	4 10.3	4 10.3	3 7.7	3 7.7	1 2.6	3 7.7	- -	13 33.3
	8. 保塚・六町	4 12.1	3 9.1	1 3.0	3 9.1	3 9.1	- -	1 3.0	- -	12 36.4
	9. 花畑・保木間	2 11.8	2 11.8	2 11.8	4 23.5	- -	- -	2 11.8	- -	5 29.4
	10. 竹の塚	5 10.6	6 12.8	6 12.8	5 10.6	7 14.9	2 4.3	3 6.4	- -	12 25.5
	11. 伊興・西新井	4 11.1	4 11.1	4 11.1	1 2.8	8 22.2	1 2.8	1 2.8	- -	15 41.7
	12. 鹿浜	1 4.2	2 8.3	2 8.3	3 12.5	4 16.7	1 4.2	1 4.2	1 4.2	6 25.0
	13. 舎人	- -	1 4.0	2 8.0	5 20.0	3 12.0	- -	- -	- -	10 40.0

図表 満足度の高い区の取り組み × ブロック

Q3-2 区民サービスの認知度

- 全体では、「母親・両親学級」が最も多く、次いで「一時保育」「こんにちは赤ちゃん訪問事業」が多く認知されている。
- 年齢・性別別で認知度が4割を超えているものは、
 20歳代男性で「お問い合わせコールあだち」「無料区民相談・交通事故相談・法律相談」
 30歳代男性で「母親・両親学級」
 20歳代女性で「母親・両親学級」
 30歳代女性で「若年者健康診断」「母親・両親学級」「こんにちは赤ちゃん訪問事業」「一時保育」「病後保育」である。
- ライフステージ別では、「若年者健康診断」は全体で3割を超えている。また、「こんにちは赤ちゃん訪問事業」「一時保育」「病後保育」「風の子カルチャー」は小学校入学前、小・中学校の子どもがいる人の認知度は高いが、他は少ない傾向にある。
- 居住歴別では、「母親・両親学級」は全体で4割を超えているが、「若年者健康診断」「こんにちは赤ちゃん訪問事業」「一時保育」の回答は居住歴が20～30年の人を除いて3割を超えている。
- ブロック別では、「母親・両親学級」「一時保育」が全体の3割を超えている。また、ブロックごとでは、「母親・両親学級」の回答は、花畑・保木間地域（70.0%）、興野・本木地域（64.7%）、保塚・六町地域（63.0%）に多く、「一時保育」の回答は、興野・本木地域（58.8%）、花畑・保木間地域（56.7%）、綾瀬地域（54.7%）に多い。



N = 728

図表 区民サービスの認知度（単純集計）

Q3-2 区民サービスの認知度
× Q4-2.5 年齢・性別

上段:度数 下段:%	Q3-2 区民サービスの認知度										
	合計	1. 若年者健康診断	2. 母親・両親学級	3. こんにちは赤ちゃん訪問事業	4. あだち若者サポートステーション	5. ひきこもりセーフティネットあだち	6. 一時保育	7. 病後時保育	8. 風の子カルチャー	9. お問い合わせコールあだち	10. 無料の区民相談・交通事故相談・法律相談
20歳代男性	62 100.0	17 27.4	16 25.8	18 29.0	12 19.4	12 19.4	19 30.6	9 14.5	4 6.5	26 41.9	31 50.0
30歳代男性	153 100.0	55 35.9	67 43.8	56 36.6	17 11.1	12 7.8	51 33.3	13 8.5	19 12.4	46 30.1	59 38.6
20歳代女性	161 100.0	43 26.7	75 46.6	62 38.5	26 16.1	23 14.3	59 36.6	30 18.6	26 16.1	61 37.9	36 22.4
30歳代女性	349 100.0	168 48.1	240 68.8	189 54.2	60 17.2	65 18.6	206 59.0	147 42.1	116 33.2	109 31.2	117 33.5

図表 区民サービスの認知度 × 年齢・性別

Q3-2 区民サービスの認知度
× Q4-7 ライフステージ

上段:度数 下段:%		Q3-2 区民サービスの認知度										
		合計	1. 若年者健康診断	2. 母親・両親学級	3. こんにちは赤ちゃん訪問事業	4. あだち若者サポートステーション	5. ひきこもりセーフティネットあだち	6. 一時保育	7. 病後時保育	8. 風の子カルチャー	9. お問い合わせコールあだち	10. 無料の区民相談・交通事故相談・法律相談
Q4-7 ライフ ステージ	1. 独身	223 100.0	81 36.3	46 20.6	18 8.1	45 20.2	38 17.0	36 16.1	12 5.4	19 8.5	87 39.0	92 41.3
	2. 子どものいない夫婦	109 100.0	39 35.8	35 32.1	27 24.8	11 10.1	17 15.6	26 23.9	8 7.3	7 6.4	32 29.4	34 31.2
	3. 子どもがいる(一番上の子どもが小学校入学前)	226 100.0	91 40.3	190 84.1	192 85.0	37 16.4	30 13.3	158 69.9	103 45.6	84 37.2	76 33.6	52 23.0
	4. 子どもがいる(一番上の子どもが小・中学校)	138 100.0	60 43.5	115 83.3	78 56.5	21 15.2	25 18.1	101 73.2	73 52.9	53 38.4	40 29.0	52 37.7
	5. 子どもがいる(一番上の子どもが高校生以上)	12 100.0	7 58.3	6 50.0	3 25.0	- -	1 8.3	7 58.3	1 8.3	1 8.3	1 8.3	5 41.7
	6. その他	12 100.0	4 33.3	5 41.7	6 50.0	1 8.3	1 8.3	4 33.3	2 16.7	1 8.3	4 33.3	7 58.3

図表 区民サービスの認知度 × ライフステージ

Q3-2 区民サービスの認知度
× Q4-8 居住歴

上段:度数 下段:%		Q3-2 区民サービスの認知度										
		合計	1. 若年 者健康診 断	2. 母親・ 両親学級	3. こん にちは赤 ちゃん訪 問事業	4. あだ ち若者サ ポートス テーショ ン	5. ひきこ もりセー フティネッ トあだち	6. 一時 保育	7. 病後 時保育	8. 風の 子カル チャー	9. お問 い合わせ コールあ だち	10. 無料 の区民相 談・交通 事故相 談・法律 相談
Q4-8 居住歴	1. 1年未満	84 100.0	34 40.5	39 46.4	33 39.3	9 10.7	13 15.5	28 33.3	14 16.7	15 17.9	37 44.0	24 28.6
	2. 1～4年	210 100.0	74 35.2	113 53.8	109 51.9	34 16.2	33 15.7	102 48.6	57 27.1	44 21.0	71 33.8	69 32.9
	3. 5～10年	170 100.0	75 44.1	116 68.2	98 57.6	24 14.1	25 14.7	107 62.9	73 42.9	63 37.1	46 27.1	48 28.2
	4. 11～15年	54 100.0	25 46.3	33 61.1	20 37.0	8 14.8	7 13.0	27 50.0	17 31.5	13 24.1	18 33.3	18 33.3
	5. 16～20年	19 100.0	10 52.6	9 47.4	8 42.1	3 15.8	3 15.8	7 36.8	7 36.8	1 5.3	5 26.3	8 42.1
	6. 20～30年	96 100.0	24 25.0	41 42.7	28 29.2	24 25.0	16 16.7	28 29.2	14 14.6	14 14.6	32 33.3	38 39.6
	7. 30年以上	88 100.0	39 44.3	46 52.3	27 30.7	13 14.8	15 17.0	35 39.8	17 19.3	15 17.0	31 35.2	37 42.0

図表 区民サービスの認知度 × 居住歴

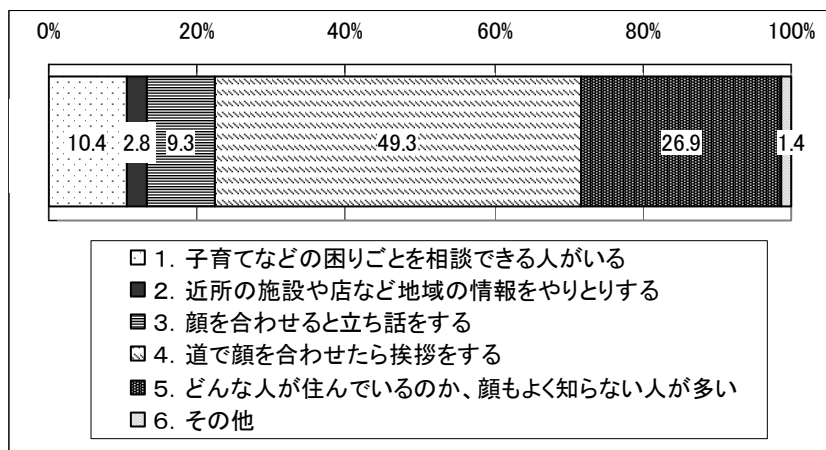
Q3-2 区民サービスの認知度
× ブロック

上段:度数 下段:%		Q3-2 区民サービスの認知度										
		合計	1. 若年 者健康診 断	2. 母親・ 両親学級	3. こん にちは赤 ちゃん訪 問事業	4. あだ ち若者サ ポートス テーショ ン	5. ひきこ もりセー フティネッ トあだち	6. 一時保 育	7. 病後時 保育	8. 風の 子カル チャー	9. お問 い合わせ コールあ だち	10. 無料 の区民相 談・交通 事故相 談・法律 相談
ブロック	1. 千住	83 100.0	25 30.1	45 54.2	40 48.2	19 22.9	12 14.5	31 37.3	16 19.3	18 21.7	28 33.7	35 42.2
	2. 江北	51 100.0	17 33.3	29 56.9	23 45.1	6 11.8	6 11.8	21 41.2	12 23.5	10 19.6	13 25.5	16 31.4
	3. 興野・本木	34 100.0	15 44.1	22 64.7	19 55.9	5 14.7	6 17.6	20 58.8	13 38.2	4 11.8	9 26.5	14 41.2
	4. 梅田	58 100.0	29 50.0	31 53.4	24 41.4	17 29.3	9 15.5	28 48.3	16 27.6	11 19.0	18 31.0	17 29.3
	5. 中央本町	68 100.0	24 35.3	32 47.1	27 39.7	8 11.8	10 14.7	28 41.2	20 29.4	20 29.4	23 33.8	19 27.9
	6. 綾瀬	86 100.0	42 48.8	54 62.8	43 50.0	10 11.6	15 17.4	47 54.7	30 34.9	29 33.7	34 39.5	28 32.6
	7. 佐野	61 100.0	20 32.8	29 47.5	22 36.1	7 11.5	8 13.1	27 44.3	17 27.9	13 21.3	26 42.6	25 41.0
	8. 保塚・六町	54 100.0	25 46.3	34 63.0	31 57.4	10 18.5	11 20.4	27 50.0	13 24.1	11 20.4	19 35.2	14 25.9
	9. 花畑・保木間	30 100.0	11 36.7	21 70.0	14 46.7	3 10.0	4 13.3	17 56.7	10 33.3	5 16.7	15 50.0	14 46.7
	10. 竹の塚	71 100.0	25 35.2	40 56.3	30 42.3	11 15.5	14 19.7	32 45.1	22 31.0	17 23.9	16 22.5	22 31.0
	11. 伊興・西新井	50 100.0	19 38.0	28 56.0	21 42.0	8 16.0	11 22.0	27 54.0	14 28.0	12 24.0	17 34.0	15 30.0
	12. 鹿浜	28 100.0	10 35.7	10 35.7	7 25.0	5 17.9	-	11 39.3	2 7.1	3 10.7	7 25.0	9 32.1
	13. 舎人	54 100.0	24 44.4	26 48.1	25 46.3	6 11.1	7 13.0	21 38.9	14 25.9	12 22.2	18 33.3	16 29.6

図表 区民サービスの認知度 × ブロック

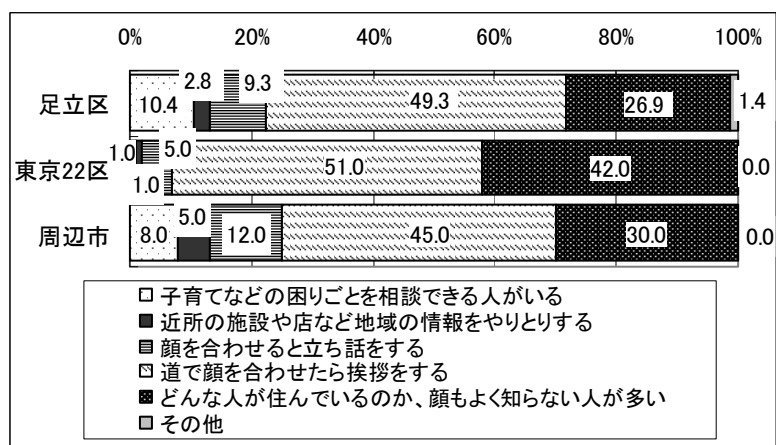
Q3-3 近所づきあいの程度

- 全体では、「道で顔をあわせたらあいさつをする」程度が過半数に近い。
- 東京 22 区、周辺市と比較すると、東京 22 区では、「どんな人が住んでいるのか、顔もよく知らない人が多い」が、足立区や周辺市と比較して多い。
- 20 歳代では、「どんな人が住んでいるのか、顔もよく知らない」が 3 割を超えた。また、30 歳代女性では、「子育てなど困りごとを相談できる人がいる」や「顔を合わせると立ち話をする」が他と比べて多くなっている。
- ライフステージ別では、独身、子どものいない夫婦では「どんな人が住んでいるのか、顔もよく知らない」が 3 割を超えた。また、子どもがいる人は「子育てなど困りごとを相談できる人がいる」が他と比べて多くなっている。
- ブロック別では、興野・本木地域、花畑・保木間地域で、比較的近所づきあいの程度が高い。
- 居住形態別は、賃貸マンション・アパートの人は「どんな人が住んでいるのか、顔もよく知らない」が過半数に近くなっている。



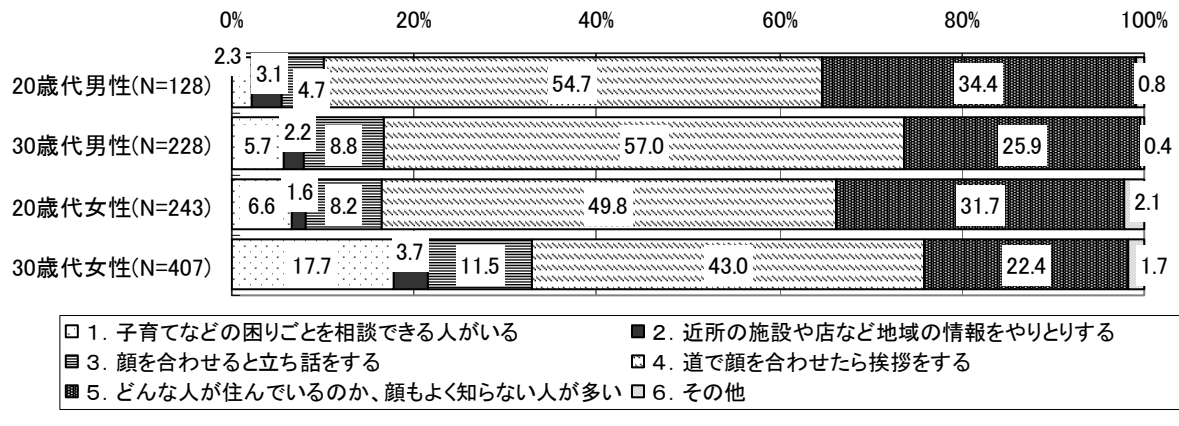
図表 近所づきあいの程度（単純集計）

N = 1014



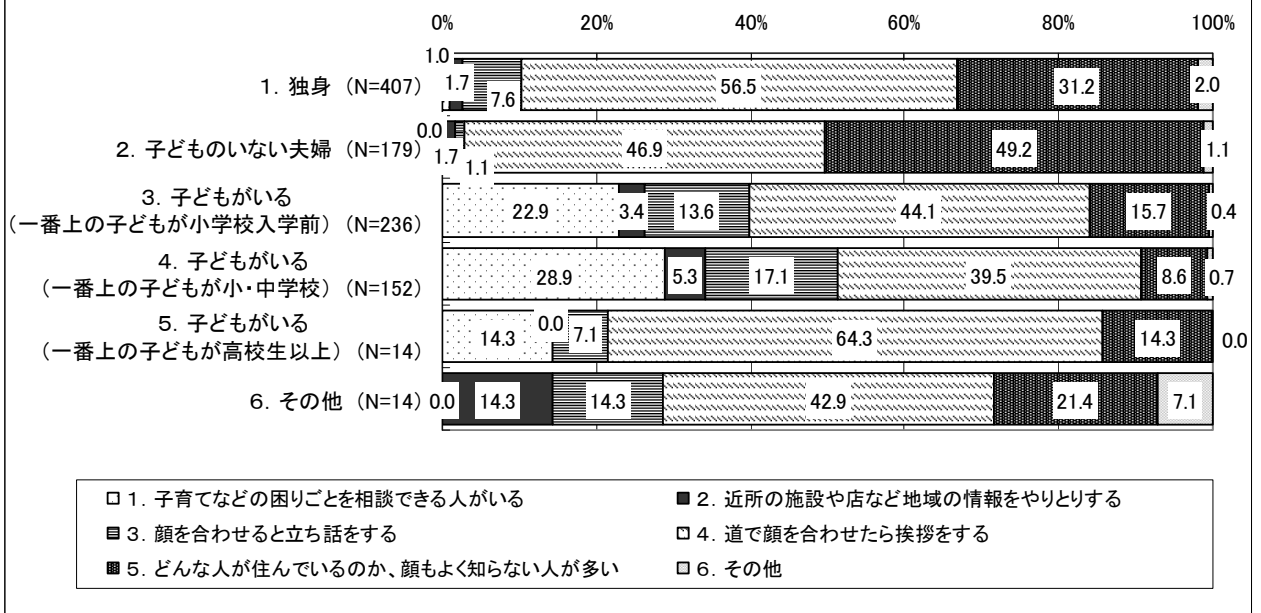
図表 東京 22 区・周辺市の比較（インターネット調査より）

Q3-3 近所づきあいの程度
× Q4-2.5 年齢



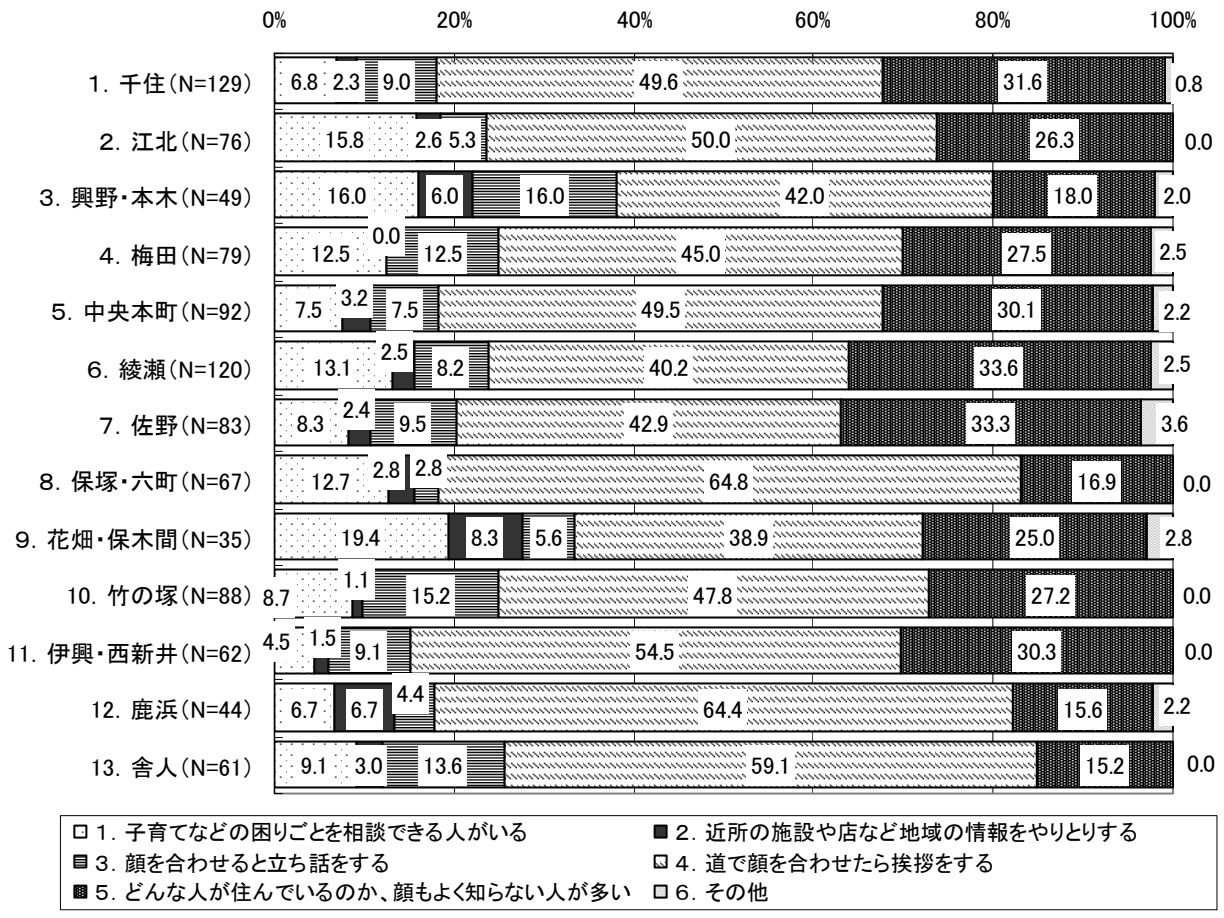
図表 近所づきあいの程度 × 年齢

Q3-3 近所づきあいの程度
× Q4-7 ライフステージ



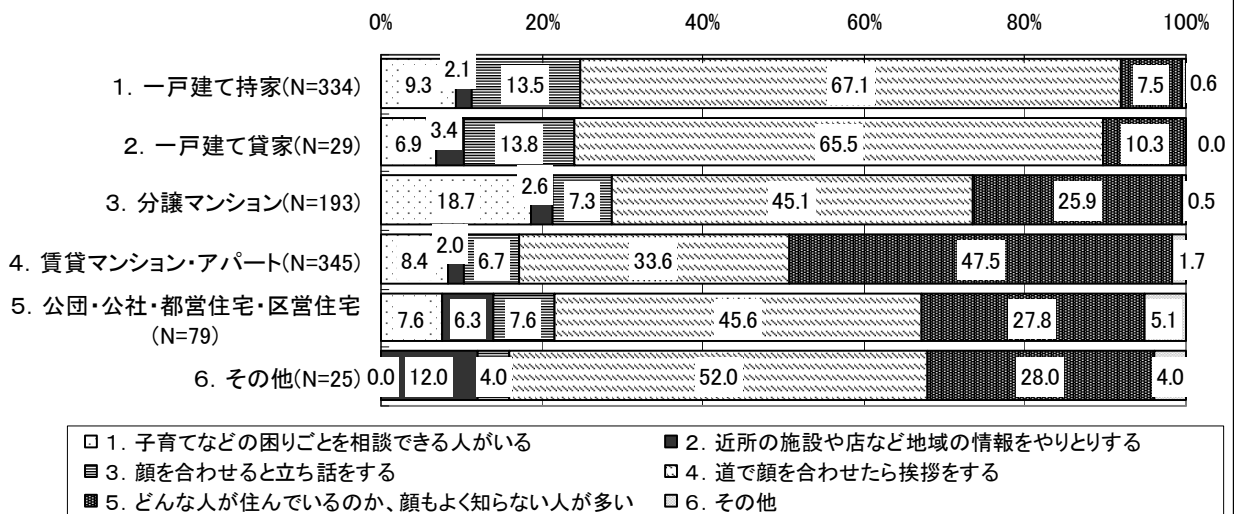
図表 近所づきあいの程度 × ライフステージ

Q3-3 近所づきあいの程度
× ブロック



図表 近所づきあいの程度 × ブロック

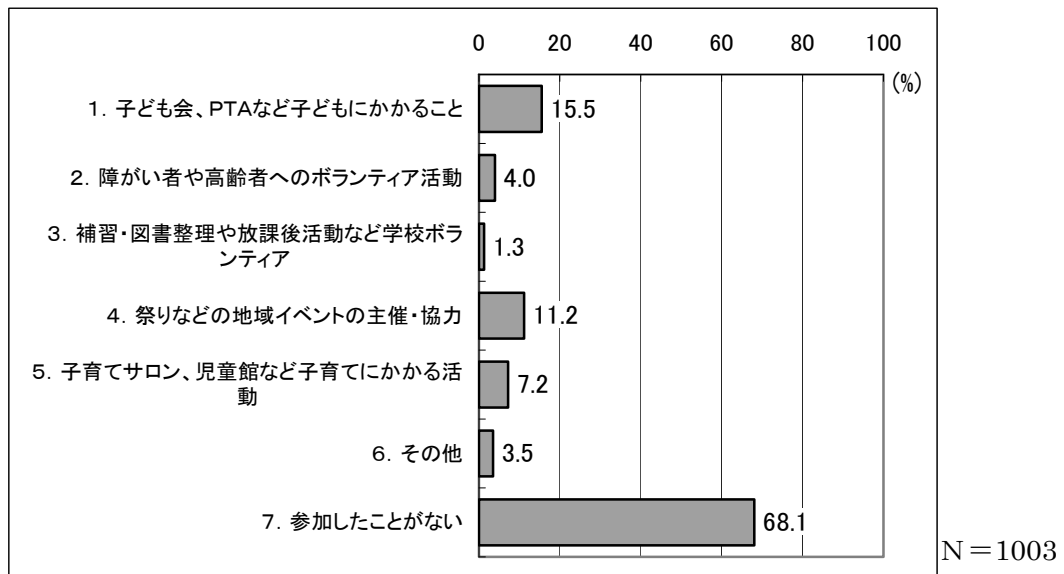
Q3-3 近所づきあいの程度
× Q4-4 住居形態



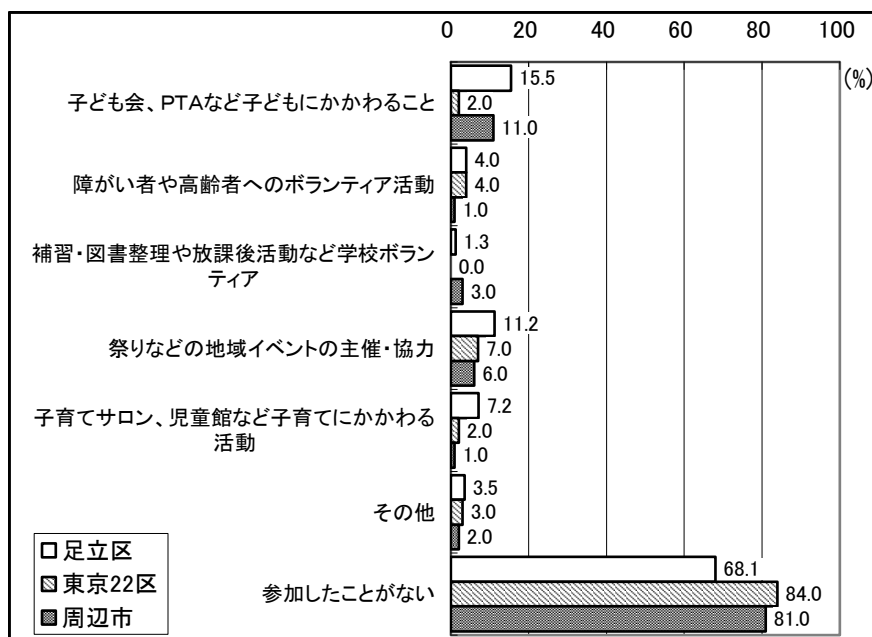
図表 近所づきあいの程度 × 住居形態

Q3-4 5年間に参加した地域活動・ボランティア活動

- 全体では、「参加したことがない」が約7割を占めている。
- 東京22区、周辺市と比較すると、全体的に足立区では、地域活動・ボランティア活動の参加率が比較的高いことが伺える。
- 年齢・性別別では、30歳代女性は「子ども会、PTAなど子どもに関わること」に約4分の1が参加している。
- ライフステージ別では、小・中・高校の子どもがいる人は「子ども会、PTAなど子どもに関わること」に過半数以上が参加している。また、「祭りなどの地域イベントの主催・協力」も小・中・高校の子どもがいる人は他と比べると多くなっている。



図表 過去5年に参加経験のある地域・ボランティア活動（単純集計）



図表 東京22区・周辺市の比較（インターネット調査より）

Q3-4 過去5年に参加経験のある地域・ボランティア活動
× Q4-2.5 年齢

上段:度数 下段:%	Q3-4 過去5年に参加経験のある地域・ボランティア活動							7. 参加した ことがない
	合計	1. 子ども 会、PTAなど 子どもにかかる こと	2. 障がい者 や高齢者へ のボランティ ア活動	3. 補習・図 書整理や放 課後活動な ど学校ボラン ティア	4. 祭りなど の地域イベ ントの主催・協 力	5. 子育てサ ロン、児童館 など子育てに かかる活動	6. その他	
20歳代男性	126	8	7	-	17	1	7	97
	100.0	6.3	5.6	-	13.5	0.8	5.6	77.0
30歳代男性	224	26	7	-	27	6	5	170
	100.0	11.6	3.1	-	12.1	2.7	2.2	75.9
20歳代女性	237	12	14	3	21	15	9	175
	100.0	5.1	5.9	1.3	8.9	6.3	3.8	73.8
30歳代女性	412	107	12	10	45	50	14	239
	100.0	26.0	2.9	2.4	10.9	12.1	3.4	58.0

図表 過去5年に参加経験のある地域・ボランティア活動 × 年齢

Q3-4 過去5年に参加経験のある地域・ボランティア活動
× Q4-7 ライフステージ

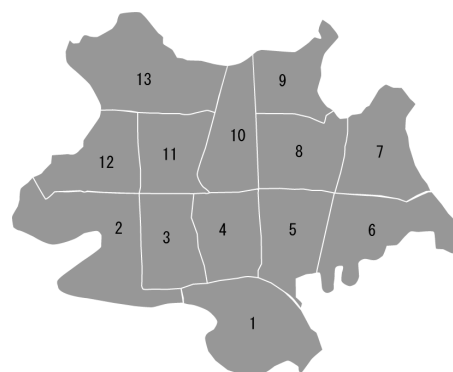
上段:度数 下段:%		Q3-4 過去5年に参加経験のある地域・ボランティア活動							7. 参加した ことがない
		合計	1. 子ども 会、PTAなど 子どもにかかる こと	2. 障がい者 や高齢者へ のボランティ ア活動	3. 補習・図 書整理や放 課後活動な ど学校ボラン ティア	4. 祭りなど の地域イベ ントの主催・協 力	5. 子育てサ ロン、児童館 など子育てに かかる活動	6. その他	
Q4-7 ライフ ステー ジ	1. 独身	401	15	22	3	39	5	20	322
		100.0	3.7	5.5	0.7	9.7	1.2	5.0	80.3
	2. 子どものいな い夫婦	181	2	10	-	14	-	3	156
		100.0	1.1	5.5	-	7.7	-	1.7	86.2
	3. 子どもがいる (一番上の子ども が小学校入学前)	234	17	4	2	15	51	8	153
		100.0	7.3	1.7	0.9	6.4	21.8	3.4	65.4
	4. 子どもがいる (一番上の子ども が小・中学校)	152	112	4	8	37	14	3	33
	100.0	73.7	2.6	5.3	24.3	9.2	2.0	21.7	
5. 子どもがいる (一番上の子ども が高校生以上)	14	7	-	-	5	1	-	4	
	100.0	50.0	-	-	35.7	7.1	-	28.6	
6. その他	13	-	-	-	1	1	1	10	
	100.0	-	-	-	7.7	7.7	7.7	76.9	

図表 過去5年に参加経験のある地域・ボランティア活動 × ライフステージ

Q3-4 過去5年に参加経験のある地域・ボランティア活動
× ブロック

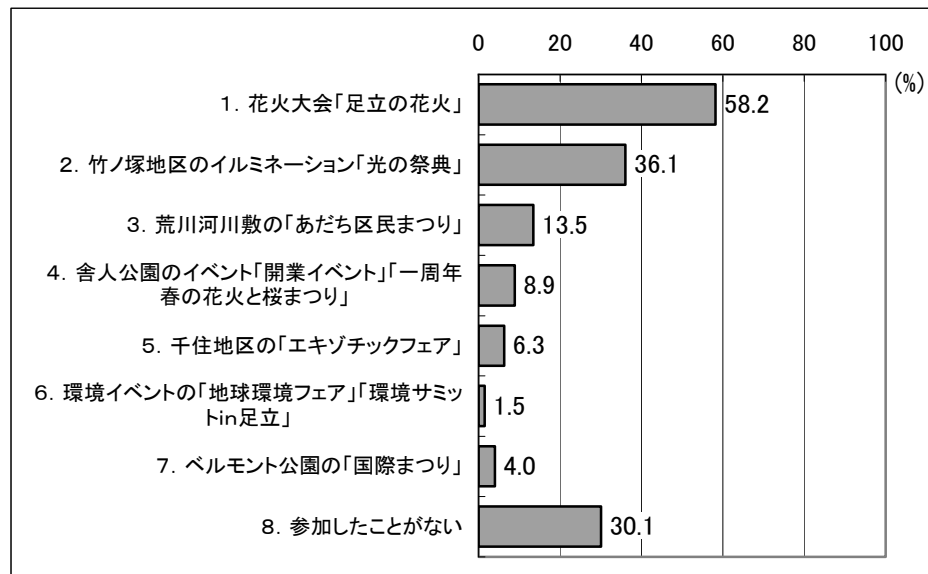
上段:度数 下段:%		Q3-4 過去5年に参加経験のある地域・ボランティア活動							
		合計	1. 子ども会、PTAなど子どもにかかること	2. 障がい者や高齢者へのボランティア活動	3. 補習・図書整理や放課後活動など学校ボランティア	4. 祭りなどの地域イベントの主催・協力	5. 子育てサロン、児童館など子育てにかかる活動	6. その他	7. 参加したことがない
ブロック	1. 千住	132 100.0	13 9.8	12 9.1	2 1.5	14 10.6	7 5.3	4 3.0	95 72.0
	2. 江北	75 100.0	12 16.0	2 2.7	1 1.3	6 8.0	8 10.7	2 2.7	52 69.3
	3. 興野・本木	50 100.0	8 16.0	3 6.0	-	7 14.0	4 8.0	3 6.0	31 62.0
	4. 梅田	78 100.0	12 15.4	-	2 2.6	13 16.7	3 3.8	2 2.6	52 66.7
	5. 中央本町	91 100.0	18 19.8	4 4.4	1 1.1	11 12.1	6 6.6	7 7.7	57 62.6
	6. 綾瀬	121 100.0	15 12.4	6 5.0	1 0.8	11 9.1	14 11.6	2 1.7	86 71.1
	7. 佐野	85 100.0	16 18.8	4 4.7	2 2.4	15 17.6	4 4.7	2 2.4	54 63.5
	8. 保塚・六町	70 100.0	12 17.1	1 1.4	-	8 11.4	6 8.6	-	47 67.1
	9. 花畑・保木間	35 100.0	9 25.7	-	-	3 8.6	3 8.6	-	24 68.6
	10. 竹の塚	90 100.0	15 16.7	2 2.2	1 1.1	13 14.4	7 7.8	6 6.7	57 63.3
	11. 伊興・西新井	66 100.0	9 13.6	2 3.0	2 3.0	3 4.5	5 7.6	3 4.5	48 72.7
	12. 鹿浜	46 100.0	4 8.7	1 2.2	-	4 8.7	2 4.3	2 4.3	36 78.3
	13. 舎人	64 100.0	12 18.8	3 4.7	1 1.6	4 6.3	3 4.7	2 3.1	44 68.8

図表 過去5年に参加経験のある地域・ボランティア活動 × ブロック



Q3-5 5年間に参加したことがあるイベント

- 全体では、「足立の花火」が最も多く、次いで「光の祭典」「参加したことがない」が多い。
- 年齢・性別別では、「足立の花火」は女性の参加率が高く、「光の祭典」は20歳代男性以外で3割を超え、30歳代の参加率が高くなっている。また、男性は「参加したことがない」という回答も3割を超えている。
- 居住歴別では、「足立の花火」「光の祭典」で、4年未満の人が比較的少ない傾向にある。
- ブロック別では、「足立の花火」の回答は、千住地区（78.0%）、梅田地域（75.3%）、興野・本木地域（74.0%）に多く、「光の祭典」は、竹の塚地域（68.1%）、保塚・六町地域（66.2%）、花畑・保木間地域（61.8%）に多くなっている。



N = 1011

図表 過去5年に参加したことがあるイベント（単純集計）

Q3-5 5年間に参加したことがあるイベント
× Q4-2.5 年齢・性別

上段:度数 下段:%	Q3-5 5年間に参加したことがあるイベント								
	合計	1. 花火大会「足立の花火」	2. 竹ノ塚地区のイルミネーション「光の祭典」	3. 荒川河川敷の「あだち区民まつり」	4. 舎人公園のイベント「開業イベント」「一周年春の花火と桜まつり」	5. 千住地区の「エキゾチックフェア」	6. 環境イベントの「地球環境フェア」「環境サミットin足立」	7. ベルモント公園の「国際まつり」	8. 参加したことがない
20歳代男性	128 100.0	71 55.5	38 29.7	14 10.9	5 3.9	6 4.7	1 0.8	5 3.9	43 33.6
30歳代男性	224 100.0	113 50.4	70 31.3	26 11.6	23 10.3	11 4.9	-	10 4.5	85 37.9
20歳代女性	244 100.0	149 61.1	76 31.1	23 9.4	14 5.7	12 4.9	4 1.6	10 4.1	71 29.1
30歳代女性	412 100.0	253 61.4	180 43.7	73 17.7	48 11.7	35 8.5	10 2.4	15 3.6	104 25.2

図表 過去5年に参加したことがあるイベント×年齢・性別

Q3-5 5年間に参加したことがあるイベント
× Q4-8 居住歴

上段:度数 下段:%		Q3-5 5年間に参加したことがあるイベント								
		合計	1. 花火大会「足立の花火」	2. 竹ノ塚地区のイルミネーション「光の祭典」	3. 荒川河川敷の「あだち区民まつり」	4. 舎人公園のイベント「開業イベント」「一周年春の花火と桜まつり」	5. 千住地区の「エキゾチックフェア」	6. 環境イベントの「地球環境フェア」「環境サミットin足立」	7. ベルモント公園の「国際まつり」	8. 参加したことがない
Q4-8 居住歴	1. 1年未満	124 100.0	47 37.9	26 21.0	8 6.5	4 3.2	4 3.2	-	3 2.4	63 50.8
	2. 1～4年	295 100.0	149 50.5	80 27.1	32 10.8	20 6.8	18 6.1	1 0.3	13 4.4	108 36.6
	3. 5～10年	211 100.0	144 68.2	97 46.0	48 22.7	28 13.3	17 8.1	8 3.8	12 5.7	43 20.4
	4. 11～15年	70 100.0	52 74.3	34 48.6	14 20.0	12 17.1	6 8.6	1 1.4	2 2.9	12 17.1
	5. 16～20年	27 100.0	10 37.0	10 37.0	1 3.7	2 7.4	-	-	-	11 40.7
	6. 20～30年	155 100.0	108 69.7	65 41.9	16 10.3	11 7.1	12 7.7	4 2.6	6 3.9	33 21.3
	7. 30年以上	122 100.0	74 60.7	50 41.0	17 13.9	13 10.7	7 5.7	1 0.8	4 3.3	32 26.2

図表 過去5年に参加したことがあるイベント × 居住歴

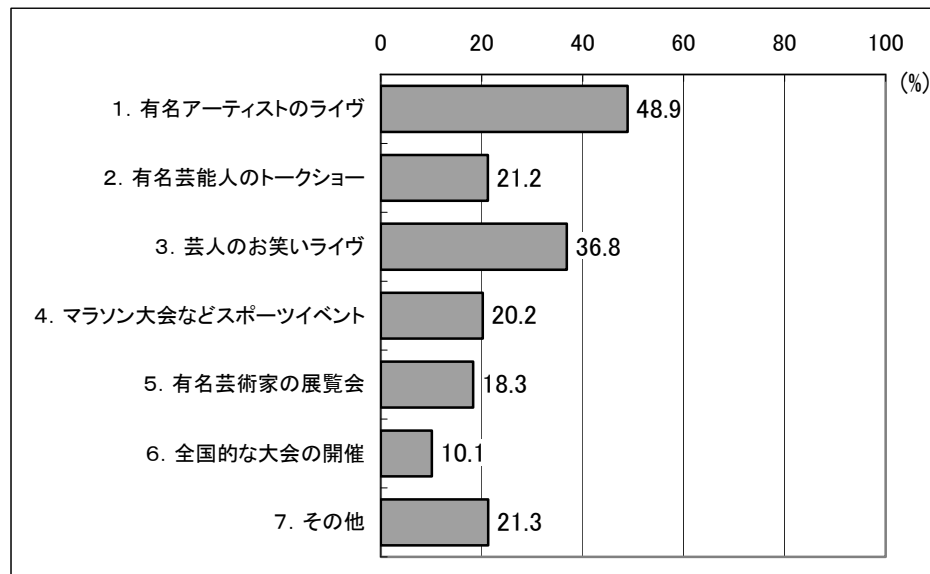
Q3-5 5年間に参加したことがあるイベント
× ブロック

上段:度数 下段:%		Q3-5 5年間に参加したことがあるイベント								
		合計	1. 花火大会「足立の花火」	2. 竹ノ塚地区のイルミネーション「光の祭典」	3. 荒川河川敷の「あだち区民まつり」	4. 舎人公園のイベント「開業イベント」「一周年春の花火と桜まつり」	5. 千住地区の「エキゾチックフェア」	6. 環境イベントの「地球環境フェア」「環境サミットin足立」	7. ベルモント公園の「国際まつり」	8. 参加したことがない
ブロック	1. 千住	132 100.0	103 78.0	22 16.7	37 28.0	6 4.5	39 29.5	1 0.8	2 1.5	22 16.7
	2. 江北	76 100.0	34 44.7	14 18.4	6 7.9	6 7.9	1 1.3	-	2 2.6	36 47.4
	3. 興野・本木	50 100.0	37 74.0	18 36.0	8 16.0	4 8.0	2 4.0	-	1 2.0	12 24.0
	4. 梅田	81 100.0	61 75.3	26 32.1	15 18.5	6 7.4	6 7.4	3 3.7	12 14.8	12 14.8
	5. 中央本町	93 100.0	61 65.6	38 40.9	21 22.6	2 2.2	6 6.5	4 4.3	7 7.5	19 20.4
	6. 綾瀬	122 100.0	55 45.1	27 22.1	15 12.3	1 0.8	4 3.3	2 1.6	2 1.6	55 45.1
	7. 佐野	84 100.0	34 40.5	16 19.0	2 2.4	1 1.2	1 1.2	-	1 1.2	46 54.8
	8. 保塚・六町	71 100.0	43 60.6	47 66.2	8 11.3	5 7.0	2 2.8	1 1.4	2 2.8	11 15.5
	9. 花畑・保木間	34 100.0	19 55.9	21 61.8	-	2 5.9	-	-	-	9 26.5
	10. 竹の塚	91 100.0	57 62.6	62 68.1	12 13.2	10 11.0	3 3.3	2 2.2	9 9.9	20 22.0
	11. 伊興・西新井	66 100.0	37 56.1	29 43.9	6 9.1	17 25.8	-	1 1.5	2 3.0	16 24.2
	12. 鹿浜	46 100.0	18 39.1	14 30.4	2 4.3	7 15.2	-	1 2.2	-	23 50.0
	13. 舎人	65 100.0	29 44.6	31 47.7	4 6.2	23 35.4	-	-	-	23 35.4

図表 過去5年に参加したことがあるイベント × ブロック

Q3-6 区内であれば行ってみたいイベント

- 全体では「有名アーティストのライブ」が過半数近くを占めている。
- 年齢・性別別では、「有名アーティストのライブ」が20歳代男性、女性では過半数を占めるが、30歳代男性では比較的少ない傾向にあ。また、「芸人のお笑いライブ」は、20歳代女性で4割を超えている。
- ライフステージ別では、「有名アーティストのライブ」が全体で4割を超え、高校生以上の子どもがいる人は「有名芸能人のトークショー」が、小・中学校、高校生以上の子どもがいる人は「芸人のお笑いライブ」が4割を超えている。



N = 783

図表 あれば行ってみたい区内のイベント（単純集計）

Q3-6 あれば行ってみたい区内のイベント
× Q4-2.5 年齢・性別

上段:度数 下段:%	Q3-6 あれば行ってみたい区内のイベント							
	合計	1. 有名アーティストのライブ	2. 有名芸能人のトークショー	3. 芸人のお笑いライブ	4. マラソン大会などスポーツイベント	5. 有名芸術家の展覧会	6. 全国的な大会の開催	7. その他
20歳代男性	101	51	19	32	22	17	13	15
	100.0	50.5	18.8	31.7	21.8	16.8	12.9	14.9
30歳代男性	164	56	27	57	43	23	16	49
	100.0	34.1	16.5	34.8	26.2	14.0	9.8	29.9
20歳代女性	202	118	55	90	34	37	22	28
	100.0	58.4	27.2	44.6	16.8	18.3	10.9	13.9
30歳代女性	314	157	65	109	59	66	28	74
	100.0	50.0	20.7	34.7	18.8	21.0	8.9	23.6

図表 あれば行ってみたい区内のイベント × 年齢・性別

Q3-6 あれば行ってみたい区内のイベント
× Q4-7 ライフステージ

上段:度数 下段:%		Q3-6 あれば行ってみたい区内のイベント							
		合計	1. 有名アーティストのライヴ	2. 有名芸能人のトークショー	3. 芸人のお笑いライヴ	4. マラソン大会などスポーツイベント	5. 有名芸術家の展覧会	6. 全国的な大会の開催	7. その他
Q4-7 ライフ ステー ジ	1. 独身	319 100.0	159 49.8	68 21.3	115 36.1	62 19.4	66 20.7	30 9.4	65 20.4
	2. 子どものいない夫婦	137 100.0	64 46.7	24 17.5	49 35.8	33 24.1	26 19.0	17 12.4	22 16.1
	3. 子どもがいる(一番上の子どもが小学校入学前)	185 100.0	90 48.6	38 20.5	62 33.5	35 18.9	33 17.8	21 11.4	50 27.0
	4. 子どもがいる(一番上の子どもが小・中学校)	115 100.0	58 50.4	29 25.2	53 46.1	25 21.7	16 13.9	9 7.8	21 18.3
	5. 子どもがいる(一番上の子どもが高校生以上)	11 100.0	6 54.5	5 45.5	6 54.5	-	1 9.1	1 9.1	3 27.3
	6. その他	11 100.0	5 45.5	2 18.2	2 18.2	-	1 9.1	1 9.1	4 36.4

図表 あれば行ってみたい区内のイベント × ライフステージ

フリートーク

●交通政策（バス、電車、道路、高架などの整備）、開発を進めてほしい、もっとお店がほしい、駐輪場が少ない、自転車道の整備、保育園が少ない・待機児童が多い、教育の向上、イベント必要、イベントへの要望、イベントは不要、マナーの向上・歩き煙草禁止、イメージが悪い・改善してほしい、環境問題、ゴミ問題について、街並み整備・清掃、自然を増やす、減らさない、低所得者支援について、医療福祉への要望、高齢者への支援、行政サービスを改善してほしい、税金が高い、減税、子育て支援・不妊支援、住みやすい、住みやすい街になってほしい、治安対策してほしい、産業、商店街の支援などのコメントが多かった。

項目	件数
交通政策(バス、電車、道路、高架などの整備)	75 件
教育の向上	43 件
イメージが悪い・改善してほしい	43 件
子育て支援・不妊支援	43 件
治安対策してほしい	42 件
保育園が少ない・待機児童が多い	27 件
行政サービスを改善してほしい	24 件
マナーの向上・歩き煙草禁止	21 件
もっとお店がほしい	18 件
イベント必要、イベントへの要望	17 件
住みやすい	14 件
住みやすい街になってほしい	14 件
税金が高い、減税	13 件
医療福祉への要望	12 件
環境問題、ゴミ問題について	11 件
低所得者支援について	11 件
自然を増やす、減らさない	10 件
高齢者への支援	10 件
開発を進めてほしい	9 件
街並み整備・清掃	8 件
自転車道の整備	7 件
駐輪場が少ない	6 件
イベントは不要	6 件
産業、商店街の支援	6 件
その他・分からない	150 件

項目	主な意見	性別	年齢	ブロック
交通政策 (バス、電車、道路、高架などの整備) (75件)	足立区の「はるかぜ」バスについて、本数が少ない上にお年寄りが多いためすぐ埋まってしまい、他のお年寄りが座れないことが多い。座席数が少ないので、本数を増やすか車体を拡大してほしい。青井駅がもう少し栄えてほしい。病院が少ない。	女性	20代後半	5
	日暮里・舎人ライナーの朝の混雑。何とかして欲しいです(特に7時30分前後)。	男性	30代後半	3
	区を縦に走る電車、バス等の交通機関は多いが、横(環七等)に走る交通機関が少ないので、今後増やしてほしい。	男性	30代前半	3
	北千住駅の朝の混雑がもう少し良くなるとより良いと思います。	男性	30代前半	1
	東武伊勢崎線を通勤で使っています。毎朝ホームに人があふれ、転落しても不思議ではない混雑です。このあたりから改善して欲しい。	男性	20代後半	4
	日暮里・舎人ライナーの駅から足立区役所への直行バスってありましたっけ?あると大変便利でありがたいです。	男性	30代前半	13
	交通整備を一番にしてほしい(生活道路に車が入ってきて、高齢者、子どもにとって本当に危険)	女性	30代後半	1
	竹ノ塚の大踏切を何とかしてほしい(過去に事故があったり、開かずの踏切になっているから。アンダーパスにするか、立体交差にするなり対策をして欲しい)。	男性	30代後半	11
	つくばエクスプレス、舎人ライナー開通するも、その間の地域に住んでいる人には何も関係ない。4号線を走るバスの本数を増やして欲しい。始発と終バスの時間をもう少し考えて欲しい。	女性	30代後半	8
	五反野駅近くの道幅が狭くて歩くのも車の運転もそれぞれよけて通るので危ないです。一般住宅に道幅を広くするよという前に、五反野駅付近の直線上(中央本町の辺りまで)の通りを一番にやるべきだと思います。	女性	30代後半	5
	千代田線北綾瀬駅利用人口が増えているが、運行本数が少ない。残業で遅い時間は本数や終電時間が早く不便です。環状7号線のメトロセブン構想を、ぜひ実現できるように期待しています。よろしくをお願いします。	男性	30代後半	7
	マンションばかり増え、電車に乗れないことが多々ある。今、このような状態なのに、これから先梅島、西新井間のマンション入居が始まったら駅が人で溢れかえってしまうのでは?人口ばかり増やして交通の便は悪いままなのはどうかと思う。	女性	20代後半	4
	西新井に住んでいますが、駅にエスカレーターができると良いなと思いました。(Arioも出来たし…)舎人ライナーの料金ももう少し安いと助かります。西新井駅前の歩道をもう少し広くしていただきたいです。バスターミナルをもう少し整理したほうが良いと思います。	女性	30代前半	4
	神明町方面はバスが少なく、とても通勤が不便である。	女性	20代後半	10
	竹ノ塚駅に急行電車が止まるようにしてほしいです。冬のイルミネーションの時期を少し早めてもいいかな、と思います。	女性	20代後半	10
	4号線の渋滞をなんとかしていただきたいです。よろしくをお願いします。	男性	30代前半	10
	舎人ライナーができて交通が全く解消されていない。区役所の方々が実際に動いて調査されてないからじゃないでしょうか?舎人ライナーも混雑で朝は常に停まってしまって動かないし、バスは橋が少ないため動かない。この状況を区役所の方はご存じいただいてないと思います。これからは紙切れじゃなく足で動いて調べて頂きたいです。	男性	30代前半	2
	千代田線綾瀬～北千住間の増発又は綾瀬止まりを北綾瀬まで繋げる歩道をもっと作ってほしい。	女性 女性	30代後半 30代前半	7 5
	足立区のはじめの方に住んでいるので、北区や荒川区の施設を利用することが多いので、もっと交通の便が良くなってほしい。足立区のいろんな場所へ行ってみたいが、バスを乗り継いでまで行きたいと思う場所がないので、もっと活性化してほしい	女性	20代後半	2
	足立区に限ったことではないが、歩行者、車、自転車が入り乱れて通らなくてはならない道路や交差点をどうにかしてほしい。あと、曲がり角やなどにミラーがなく、出会い頭にヒヤッとする場所も、家の近所だけでもたくさんあるので、そういう整備もしっかり進めてほしい。	女性	30代前半	4

項目	主な意見	性別	年齢	ブロック
教育の向上 (43件)	子供の学力向上に力を入れてほしい	女性	30代前半	8
	足立区の子供の学力低下が気になる。まだ私の子供は小学生前ですが、他の区立と比べると不安です。個人的に教育熱心な方ですので、学区内の小学校には不安もあります。先生のレベルも低いのでは、と疑問に思います。足立区の小学校のレベルが上がらないのでしょうか。学童保育の充実を期待します。	女性	30代後半	13
	我が子のクラスは38人学級です。高学年ともなると体つきも大きくなり書道授業などは隣とぶつかり満足にできないと聞いています。あと3人転校してこないで2クラスにならないよう望みはありません。2クラスになる様、今後学校教育対策として改善されることを望みます。来年下の子が入学ですので少人数学級になればよりよい小学校生活が送れると思います。	男性	30代後半	6
	子育てにお金がかからない社会。→高校・大学までの義務教育化。(せめて専門・短大)。授業料や給食費、必要経費の無償化。	女性	30代後半	13
	子供の教育。これだけ英語が当たり前の世の中に、授業としてもっと早い段階から取り入れるべき。子供が1人だからって支援が少なすぎる。	女性	30代前半	8
	中学校の子供がいますが、学校により学力の差がスゴいので、レベルを統一してもらいたい。学校選択できるようになり、片寄も多くなったと思います。	女性	30代後半	5
	子供の教育にもう少し力を入れてほしい(放課後、遊びみたいのはどうでもいいので)。小・中学校にどんどん外部(民間)の人を呼んで授業してもらいたい。講演してもらったり。教師の方にもいい刺激になるのでは。	女性	30代前半	9
	私のライフステージからも今は子供の教育が重要です。公立教育の充実はもちろんのこと、私立校や塾も足立区は見劣りする傾向があります。近くで充実した教育を受けることが希望ですのでご尽力いただければ幸いです。	男性	30代後半	13
	子供の教育にお金をかけたくても不景気で収入が減っている現状では、それもままならない状態です。学校で基礎を徹底的に身につけさせてほしいです。土曜日の計算教室のような事業を通年で行うなどより充実した教育事業の展開を期待しています。	女性	30代後半	3
	他の地域に比べて子供の教育に関心な親が多いと思います。親子で学べる機関や、学力向上に力を入れてほしいです	女性	30代後半	10
子供を育てる環境の向上を強く希望、個別の問題かもしれないが保育園の教員の質が悪いように感じる。小・中学校に関しても、区外や私立へ通わせる率が比較的高い傾向・イメージがあり、区内の学力の低いイメージがあるからと思われる	男性	30代前半	1	

項目	主な意見	性別	年齢	ブロック
イメージが悪い・改善してほしい (43件)	西高東低の地域間のイメージから抜け出す必要がある。「しょせん足立区でしょ」これはかなり耳にします。下町も良いが、色んな意味で成長していないから下町止まり。	男性	30代後半	4
	イメージを良くしてください。私は北千住なので、とても交通の便が良く、学生であり独身のときには住みやすいですが、子育てはしたくないと思ってしまいました。特に足立区の北の方。	女性	20代前半	1
	足立区に引越して来るまでは正直あまり良いイメージがなく、周りの反応もそうであったが、実際生活してみると住みやすい所だと思った。このようなイメージを持っている方が多いので治安面を含め、イメージが向上する様になるとよりよい地になると思います。	女性	20代後半	5
	芸大や電機大を設置したのだから、足立区のイメージを高める活動をして欲しい。エキゾチックフェアなどのPRを十分やれば、区のイメージを高められると感じる。	男性	30代後半	1
	「足立区に住んでいる」というと友人や周囲と話すと、治安が悪い、低所得者が多いでしょ、とマイナスイメージなことばかり言われるので、子育てしやすい、住環境が良い区と思われる足立区を目指してほしい。	女性	30代前半	8
	イメージ悪すぎ。どこに住んでるか言いたくない。「綾瀬」は凶悪事件と刑務所で怖いイメージ。みんなに引っ越せと言われる。でも家賃や物価が安いので住んでいる。部屋も広いし、イメージの悪さのおかげか♪	女性	30代後半	7
	治安が悪いところだと言われることが多い。住んでいる人にとって、かなり悪いイメージ。そのイメージを変えてほしい。足立区＝綾瀬・竹ノ塚と言われる。(治安が悪い)	女性	30代前半	7
	「足立区」と聞くと何となく治安の悪い地区と思われてしまうのが、区民としてとても悲しいです。このイメージを何とか変えようとする前に地元の産物や工業など、多くの「足立区産」のものをアピールして、もっと元気な区であることを広めてほしい。「治安の悪い区」ではなく、「下町特有の元気な地域」と他の出身者からも思われるようなまちづくりを期待します。	女性	20代前半	5
	足立区の悪いイメージを変えてほしい。足立区は怖いから行きたくないと言う人もいるほどなので、良いイメージを作っていくことが大事だと思います。	女性	30代後半	4

項目	主な意見	性別	年齢	ブロック
子育て支援・不妊支援 (43件)	不妊治療にお金がとてもかかります。子供への支援よりも、子供が欲しくてもできない人への負担を考えてみてください。子供へ支援しても子供に使われることは考えていません。きっと給食費など払わない人は払わないと思うし、それよりも学校でかかる金額を負担すればよいのではないのでしょうか？	女性	20代後半	6
	子供の保育料が高い。その割に保育内容は変わらない。幼稚園の様に補助もなく、明らかにあるところからお金を徴収している気がしてならない。生活保護者が多く区に住んでいる限り仕方がない事なのか？あだち子育てパスポートも協賛店で何だかんだと理由をつけて割引はしてもらえない事はあまりない。なので、持ち歩くのをやめました。	女性	30代後半	4
	妊婦向けのサービスがない、他区はあるのに充実させるべき。	女性	20代後半	6
	もっと子供が多い街になるよう、予算配分を変えてほしい 他の区と同じではなく、積極的に足立区を選択されるような、政策・施策を打って欲しい	男性	30代前半	13
	将来子供が欲しいと思うが、共働きでないと、余裕のある生活は難しい。近くに頼れる人もいないため、遅くまで預かってくれる託児所がないと困る。また、子供が欲しいと思う人たちが多くいると思うので、不妊治療等も支援して欲しい。	女性	20代後半	1
	足立区内の小学校すべてに空き教室を利用して学童保育室を作ってほしい。学年に関係なく利用できればベストだと思う。	女性	20代後半	7
	子供が幼稚園に通っていた頃はもう少し補助金が出るとありがたいなあと思ってました。医療費や児童手当は3月末で切るのはなく満年齢にしていきたいと思います。子供は2人も早生まれなので4月生まれの子に比べるとだいぶ損した気分です。	女性	30代後半	5
	幼稚園などの子供の補助金をもう少しあげてほしい(江戸川区並みに) 屋内で体育館くらい広い場所で子供(赤ちゃんも)遊ばせられるところがほしい(お昼などおやつも持ち込めて)	女性	30代前半	12
	子育てする環境としては、2才の子供を持つ母親としれば大変満足しています。医療費無料、母親学級、保健所での幼児対象のイベント(離乳食、歯科など)子育てサロンなどの講座など楽しんでいます。 荒川沿いに子供向けの遊具の設置がされると嬉しい。図書館の更なる充実も期待。どうしても柄が悪いので、教育面も力を入れてほしい。	女性	30代前半	4
	北千住や西新井のように出かけられる場所がもっと増えたらいいなと思いました。子供人口が増えたと思うので、ますます子育て支援に力を入れてほしいです。保育所は民営化が進みますが、保育の質が低下しないように区としてしっかりと基準を持ち、定期的に監査してもらえたら安心です	女性	20代後半	2

項目	主な意見	性別	年齢	ブロック
治安対策してほしい (42件)	自転車を盗難やいたずらされ買いなおすのにお金が掛かったり、籠に入れていた荷物を取られたりするのので治安を本当にどうにかしてほしいです	女性	20代後半	11
	学力の低下、犯罪など、治安の悪さなど、改善してほしい。このままでは不安で、子供を安心して育てていけない	女性	30代後半	8
	西新井の開発された場所に住んでいますが、夜、犬の散歩で家のそばから離れると、正直「こわい」と思う場所や、状況があります。	女性	30代後半	4
	駅前の治安の悪さ。公園での浮浪者をどうにかしてほしい。	男性	20代後半	9
	私たちの将来も子供の将来も心配です。経済的にも治安的にもすべてに不安があります。住みやすくするために協力していきたいと気持はありますが、参加する時間がありません。1歳児を保育園へ入園させての共ばたらきです。大金を使つての建築などや遊び場の希望はありません。普通の暮らしがしていければそれでいい。	女性	30代前半	7
	治安が悪いので、警察官を増やしてパトロールも増やす。カメラの設置。防犯ベル。	女性	20代後半	10
	六町駅周辺の治安をよくしてほしい	女性	20代後半	8
	高校生などが公園に集まりタバコなどを吸い、小さい子が遊びにくい	女性	30代後半	5
	治安さえ良ければ今後も住みたいと思う	男性	30代後半	4
	よく立ち寄りコンビニが近くの新田高校の学生が利用している、コンビニの駐車場にねっ転がって会話していたり、マナーが悪い。最寄り駅でも道をふさいで歩いているのをよく見る。とにかく若者のマナーの悪さが目立ち、結果、治安の悪化につながっていると思う。	女性	20代後半	2
	とにかく治安を良くしてください。夜道が暗すぎる。もっと街灯を増やして、暗くて人通りが少ないから、夜中変質者に会った！	女性	20代後半	12
	保育園が少ない・待機児童が多い (27件)	保育所が少なすぎる。共働きの出来るようにしてほしい。	男性	30代前半
中央本町地区の一歳児が入れる保育園が少なすぎます。待っている人が20人以上って1クラス分ですよ。		女性	30代前半	4
保育園の増設、今まで必死に働いてきた中で出産育児を機に保育園に入れられないために、仕事を断念しなければならない状況にある。そんな状況では子供も作れない。いくら子供手当が出て意味がない		女性	30代後半	4
保育園が全く入れない状況で自分の病院etc通院のための一時保育すらできない状況です。これでは、2人目、3人目とはなりませんので、保育園を増やしてください。		女性	30代後半	1
北千住駅近辺に、0歳時保育可能な保育園が少なすぎます、駅ビルや大学もいいですが、少子化問題のためにもそのような施設を増やして下さい。		女性	30代前半	1
保育園を増やしてほしい。新田地域の開発が決まった時点でなぜ保育園をすぐ作ってくれなかったのか。地域開発をするなら、住民にとって必要な環境整備の着手も早々に行うべき。確実に保育園に入れる環境にして欲しい。子育て支援にお金をバラまくよりも、制度の充実に使って欲しい。		女性	30代前半	2
一時保育の時間をもう少し遅い時間までやってくれたり休日や祝日もやってくれたら助かります。		女性	20代後半	11
保育園の空きがなく、ずっと待機している状態で、このままだと区外に転居せざるを得ません。何とか保育園の拡充をお願いします。		女性	30代前半	6

項目	主な意見	性別	年齢	ブロック
行政サービスを改善してほしい (24件)	チャイルドシートの貸し出し、3人乗り自転車購入の助成金、保育所入所の為の育児休暇明けの加算、足立区内の主要地域を回る無料バスの運行	男性	30代後半	10
	仕事をしているので、平日の日中、届が必要な時、休みを取るか、外出届を出したり昼休みに行かなければなりません(区役所へ)。せめて土曜日の午前中だけでも区役所を開けて欲しい。	女性	30代前半	13
	選挙の投票所が遠い。駅前の区の施設等をもっと活用すべき。	男性	30代前半	11
	足立区役所へのアクセスが不便	女性	20代前半	1
	防犯対策をしっかりしてほしい。区内で事件が起きると小学校や保育園には連絡が行くらしいが、他の人はわからず、ヘリコプターやパトカーがたくさん走っているのを見ると何があったのか不安になる。放送などで区内全体に注意を呼び掛けてほしい。	女性	20代後半	4
	働く人(サラリーマン、OL、パートなど)は平日は時間がなく、何かするのは土日有休しかないのでもそういう人たちが住みやすい区になってほしい。区役所や出張所の時間延長や土日の開庁など)。又、図書館などの施設を増やしたり、時間延長などしてほしい。	女性	30代後半	8
	区民サービスがわかりづらいので相談など(案内してくれる)ができる窓口、コールセンターがあるといいなと思いました。	女性	20代前半	6
	納税していない子供、高齢者、低所得者支援ばかりではなく、がんばって働いている世代にも区民サービスをお願いします。突飛な意見ですが納税者優遇例が区役所にあっても・・・	女性	30代後半	1
マナーの向上・歩き煙草禁止 (21件)	新田地区から勉強できる図書館、税務署、子育て関連、(母親学級、健康診断等)の設備までが本当に不便なので、出張施設を充実させてほしい。	女性	30代前半	2
	2月に引越してきました。一番私が気になったことは「タバコのポイ捨て」や「歩きタバコ」をしている人が多いという事です。特に駅前にはすいすがらが多く落ちています。	女性	30代前半	13
	子供を持つ親の教育レベルが低いのかマナーの悪い親子が多い気がするが、どのように解決したらよいかはわかりません。	女性	30代後半	1
	足立区へ越してきて一番驚いたのは電車のマナーが悪いこと。特に朝のラッシュ時はひどすぎる。最近では小学生まで周囲のマネが一番最後に電車へ乗り(綾瀬駅での乗り換えを楽にするため)挟まれかけて遅延になりかけるといふ悪循環を見ている。	女性	20代後半	6
	私自身喫煙者ですが、あまりにも喫煙マナーがひどすぎる街だと思います。足立区のイメージ低下の要因の一つだと思います。具体的な対策を打てないでしょうか？	男性	30代前半	1
	以前の居住地では考えられないような口論やバイクの暴走、救急車両の往来は住民のモラルの問題だと思います。改めてモラル向上を働きかけるような取り組みをしてください	女性	30代前半	10
	とにかく自転車のマナーが、大人子供問わず悪い(道路の逆走など)周知徹底できないものか。	女性	30代前半	4
犬のフンを家の前に捨てたままで片付けない飼い主や、煙草のポイ捨てが多く、ストレスを感じている。	女性	30代前半	11	

項目	主な意見	性別	年齢	ブロック
もっとお店がほしい (18件)	大学誘致や新しいマンション建設ではなく、便利に買い物ができるようにして欲しい	女性	30代後半	1
	小台、宮城地区に店舗を増やしてほしいです。(西松屋など)子供の物が、近所であまり買えないので、車がないと困ります。	女性	30代後半	2
	自転車置き場を作らないで店を作ってほしかった。駅前(TXの青井、六町)は自転車置き場しかない。	男性	20代前半	8
	本当に本屋が少ないので、もう少し本屋のある街にして欲しい。	女性	30代後半	4
	新田に住んでいます。1丁目には店がない。コンビニでもいいので作ってほしい。大きいマンションが建ったのに、それに対して生活面の充実が乏しい。	女性	20代前半	2
	六町駅周辺はまだまだこれからだと思いますが、銀行・本屋・ドラッグストアなど駅前にあると助かるのでぜひお願いしたい。	女性	20代後半	8
	北綾瀬の方に住んでいます。周りに小さな本屋さんがあるだけで、あとは葛飾区のアリオの中の本売場か竹ノ塚のサミットの所まで行かなければなりません。人口の割には少ないと感じました。	女性	30代前半	7
	舎人ライナー沿いの谷在家周辺にスーパーや飲食店をもっとたくさん建ててほしい。	男性	20代前半	12
イベント必要、イベントへの要望 (17件)	足立の花火が毎年平日なので一度も行ったことがありません。主人は平日遅いし、子供は小さいし、同じマンションのママ友も不満を持っています。土日に実施してほしいです	女性	30代前半	6
	区内のイベントに関して全然分かりませんでした。参加をしたくても、どこから情報を取得できるのか分かりません。	女性	20代後半	6
	足立区でしかできないイベントを考え、毎年、恒例にしていけると良いと思います。東京マラソンのような催し物を考えてみては。	女性	30代後半	1
	新足立区、昔と違う足立区を打ち出してほしい。光の祭典、花火等、「観光足立」としてもすぐ期待しています。不況に負けず頑張してほしいです。	男性	30代前半	8
	区名でのイベント(ライブ、トークショーなど)期待しています。実際難しいとは思いますが…。私立幼稚園の負担をもう少し軽くして頂きたいです(月謝)	女性	30代前半	2
	より地域の人とコミュニケーションがとれるようなイベントがあれば防犯対策になると思います。	女性	20代前半	8
住みやすい (14件)	よく足立区は治安が悪いとか、学力が低いとか田舎っぽいとか言われますが、少しずつイメージが良くなってきているかと思います。足立区は住みやすい所だと思うので、良いところは残しつつ、これからもより住みやすい足立区を目指してほしいと思います。良いところというのは、緑が多い、人情味があること、子供が多いなどです	女性	30代後半	10
	まだ住んで一年も経っていないので、あまり詳しくわかりませんが、住みやすいと感じています。もう少し商店などが充実するとうれしいです。	女性	30代前半	11
	埼玉より引っ越してきて、下町の風情が残っていて近所の方もとても親切な人が多い、お店も多く住みやすい。ただ、車や自転車の交通マナーが悪く感じる。	女性	30代後半	11
	他県を転々としてきましたが、やはり足立区が住みやすく、今年の夏戻ってきました。足立区はイベント会場にも行きやすく、コンパクトにいろいろまとまっていると思います。ただ、他県からわざわざ人が来るようなスポット(コストコ、ららぽーと、アウトレットモール)が少ないように思います。伊勢丹くらいいいのでデパートがあるとレベルが上がるイメージがあります。	女性	30代前半	4
	千葉県から足立区に引っ越してきました。足立区に住居を決めたのが、通勤のためでしたが良い街だと思います。要望は治安を良くすることが一番だと思われます	男性	20代後半	3

項目	主な意見	性別	年齢	ブロック
住みやすい街になってほしい (14件)	住みやすい足立区になることを願っています(治安も含めて)	女性	20代後半	1
	人を呼ぶのと人に住んでもらうのは目指すものが違うと思います。足立区としては住みやすい住環境と医療・教育を目指した方がいいと思います	男性	30代後半	4
	以前は豊島に住んでいますが、足立は賃貸マンションの家にも地域情報(あだち広報や区議会だより)がきちんと送られてくるのが良いと思いました。おかげで検診等受けられました。無理におしゃれっぽく開発するより地域密着型で家族や若い夫婦が住みやすい安全な居心地の良い区にしたらいと思います	女性	30代前半	6
	足立区民を増やすために、大きな都市にありがちな高層マンションの乱立を許す行為は、絶対やめてほしい。新たに区民になる人にとってではなく、昔から居る人達にとって、住みやすい町にしてほしい。	男性	30代前半	13
	人が集まる場所を作るよりも今いる人の住みやすい町を目指して欲しい	男性	20代後半	4
税金が高い、減税 (13件)	住民税を安くしてほしい	男性	30代後半	12
	不景気で収入が下がるので、子供がいる世帯はガンガン減税してほしい。逆に独身者はガンガン増税すればいいと思う。	男性	20代後半	3
	住民税が高すぎる。前住んでいた練馬区の倍かかっているのに見返りがなさすぎる。	男性	20代後半	7
	無駄な税金を使わない。集めないこと。	男性	30代前半	6
医療福祉への要望 (12件)	高齢者が多いにも関わらず、病院設備やデイケアサービス施設が乏しい(祖母が病気になった際も、受け入れ先病院が見つからず、たらい回しに。デイケアも遠くまで通っています)。	女性	30代後半	7
	介護支援の充実、教育の充実、駅前駐輪場の充実、乳がん検診を30代から無料にして欲しい	男性	30代後半	10
	夜間、休日の小児科が少ない。増やしてほしい。	女性	20代後半	10
	足立区の事業サービスを見たら子育て支援は充実しているのに、私のような独身の若い人向けのサービスがほとんどないように感じた。若年者健康診断も35歳で、まだ受けられる歳ではないので、20代を対象にした健康診断などがあってほしい。特に女性の病気のものがあると、もっと病気に対して考えられる。	女性	20代後半	6
	夜間病院、小児科専門の夜間の救急病院を増やしてほしい	女性	20代後半	1
	病院をもっとつくって下さい!	男性	20代後半	7
	予防接種の補助を出してほしい・出産できる病院を増やしてほしい	男性	20代後半	12
環境問題、ゴミ問題について (11件)	エコとかリサイクルにとっても興味があるので足立区内でもっとたくさんフリーマーケットを開催してほしい、毎週土日あってもいいくらい需要だと思っています	女性	20代後半	3
	ゴミの分別をより進めて、実効性のあるリサイクル、リユースのシステムを構築してほしい。このアンケートに同封されていた資料などを両面印刷するなど、簡単にすぐ取り組める資源の無駄遣いを減らす努力が必要。	女性	30代前半	1
	もっともっと皆が環境について真剣になってほしいと思います。小さな子供も参加できるゴミ拾いのイベントや打ち水作戦など、頻繁にやってほしい。24時間営業のお店は少し早めに閉店したほうが?プラスチックは本当に資源ではなくもやしてしまっているのでしょうか?	女性	30代前半	13
	日ごろ、区のため尽力いただき有難うございます。廃棄物について葛飾区では既にプラの資源回収が始まっていますが、足立区では今後分別基準を変更する予定はあるのでしょうか。可能であれば、プラ回収もお願いしたいです。	女性	30代後半	6

項目	主な意見	性別	年齢	ブロック
低所得者支援について (11件)	就学援助を受けているのに豊かな生活をしている人が多いので、基準の見直しを求めます。共働きで援助なしなので馬鹿らしく思えます。	女性	30代前半	8
	低所得者には支援金より仕事を。生活保護者の実態を調査してください	女性	30代前半	4
	低所得者への住宅あっせんなど。	男性	30代前半	1
	足立区は生活保護者が多いと聞きます。その人たちがタクシーに乗っていたり、優雅にデパートで買い物している姿を何回か見ました。一生懸命頑張っている人たちもいるのに、そんな光景を見てがっかりします。もう少し、審査をきちんとしてみてはどうなのでしょう。	女性	30代後半	5
	経済的な問題の対応もしてほしい。仕事がなく困っている人が多すぎる。	女性	30代後半	1
自然を増やす、減らさない (10件)	河川敷のゴルフ場跡地が整備されることはいいのですが、自然のまま残しておいても良かったと思います。公園が多いこともいいですが、自然のままのところも残ることが足立区らしさとも思います。	男性	30代後半	2
	緑などの自然を減らすのはやめてください	女性	20代前半	7
	土手が好き	男性	30代前半	1
	公園、畑等、自然豊かな区にしてほしい 荒川の河川敷を週末畑にし、開放してほしい	女性	20代後半	2
高齢者への支援 (10件)	年をとっても安心して暮らせる社会→年金の充実。保険料の無償化。必要な時にあたりまえに受けられる福祉。	女性	30代後半	13
	おとしよりや障害者や子供にやさしい街にしてください	男性	20代後半	6
	若年、高齢ばかりでなく中間層へのサービス、サポートへの着眼	男性	30代前半	1
	生まれ育った街なので、若い世代が増え活気づくのはうれしいです。その一方で、高齢の方も多いので、広い世代が安心して住める足立区であってほしいとも思います。	女性	20代後半	1
開発を進めてほしい (9件)	区は相当な不動産を所有しているとのことなので、これを緑化の促進に充てるのみならず、たとえば不動産開発業者が大型SC運営会社と提携して開発するか、若しくは分譲するなどして区債の返還などに充てるのが妥当かと思います。今のままで社会福祉などに多額の資産を支出し続けては税収が減少すると見込まれるため、将来世代に相当の負担がかかると思われます	男性	30代前半	10
	舎人ライナー開発などで、舎人方面は開発、発展していきますが、同じ県境の六木、神明方面はなかなか動いてもらえず不便な感があります。ぜひ、六木、神明方面の開発にも着手して欲しいです。	女性	30代後半	7
	北綾瀬駅をもっと都市開発して大型デパートをつくらしてほしい。	男性	30代後半	7
	牛田駅と京成関屋駅を再開発して駅ビルを造り、大型スーパーを入れてほしいです。また、牛田駅は乗降客が大変多いので急行列車も停車してくれたらうれしいです。	女性	30代前半	1
	地域格差がありすぎです。同じ足立区でも以前住んでいた綾瀬は特に充実している気がします。住宅購入でこちらに来ましたがまったく保育園がなく、せっかく開通したモノレール駅周辺も、ただ駅を置いただけで町の盛り上がりもなく、今は期待はずれな感じがしてなりません。どうか活性化に向けて、動いてほしいです	女性	20代後半	13

項目	主な意見	性別	年齢	ブロック
街並み整備・清掃 (8件)	町が汚いと治安の悪さにつながると思うので、美化を強化、もしくは教育で意識を変えていって欲しい。公園の緑化は良いのだが、木々が生い茂っていると夜は見透し悪くて不安、切ってほしい。歩道にある植え込みは、道が狭くなるしごみの捨て場所にもなるのでいらないと思う。住宅地と中小企業区の区分けがなく、住環境が良くない、資源回収業者が宅地にあるのはおかしい	男性	30代前半	9
	道路に不法投棄している粗大ゴミは早々に撤去してほしい 歩道を広くして、緑を増やしてほしい	男性	30代前半	6
	公園をペットのトイレにしないで欲しい。子供が遊ぶのに不衛生。	男性	30代前半	13
	とにかく治安を良くしてください。夜道が暗すぎる。もっと街灯を増やして、暗くて人通りが少ないから、夜中変質者に会った！区が経済的に余裕があればいいのに。足立区のイメージが良くなるようにしてください	女性	20代後半	12
自転車道の整備 (7件)	自転車専用道路を整備して車も人も自転車も安心できる道づくりをしてほしいです。	男性	30代前半	6
	交通機関(駅、踏切)の整備、向上・自転車専用の通路設置※自転車優先の意味ではなく、歩行者の安全を優先という意味です。深夜、住宅街での集団による騒音等取締り強化	女性	30代後半	10
	歩道に歩行者区分と自転車区分を分けてほしい。足立区にもっと会社があればいいと思う。	女性	20代前半	13
	足立区は交通の便が悪いので、自転車で移動する人が多いと思いますが、歩道も車道もせまいので、危ない目に会うことも多いです。もっと道路の整備、自転車専用道路など出来ると嬉しいです	女性	30代後半	3
駐輪場が少ない (6件)	北綾瀬駅に一時預かり駐輪場を作ってほしい	男性	20代後半	7
	自転車で買い物しにくい町だとおもいます。特に駅周辺は自転車が止められないので、止めやすい駐輪場があるとうれしいです。すでにある駐輪場は止めるのに時間がかかりとても不便！！	女性	30代前半	1
	自転車置き場の整備をお願いします	女性	30代前半	7
イベントは不要 (6件)	イベントどころではありません、ますます進む高齢化社会に向け、高齢者支援の充実を最優先に取り組んで頂きたい	女性	30代後半	7
	区のイベント(花火大会やトークショー)などはやめて、そのお金で保育園のおもちゃを買ったり、児童館などを整備したほうが有意義だと思う。保健師が素人すぎる。役に立たない。もっと勉強させるか資格を取らせるべき。	女性	30代前半	6
	イベントよりも各種サービスを充実させてほしい	女性	30代後半	2
産業、商店街の支援 (6件)	産業振興にもっと力を入れてほしいです。	女性	30代前半	5
	北千住駅東側の商店街の活性化を期待しています。近所にスーパーとかなないので…	女性	30代前半	1
	区内におしゃれな場所がなさすぎる。横浜元町のような商店街がほしい。	男性	20代後半	1

項目	主な意見	性別	年齢	ブロック
その他・分らない (150件)	足立区の良さを大切にしたいです。社会人になっていろいろな方と話をする、自分が育った学校が非常に自由だったな一と感じます。たくさん遊んだな一と、あまり都会すぎないところもお気に入りです	女性	30代後半	2
	このアンケート資料に使ったお金、このアンケート資料に使った人件費、このアンケート資料に使った全てがムダ使いだという事に、早く気がついて来年以降は実行しないでいただきたい。	男性	30代前半	6
	缶や新聞紙を当たり前のようにもっていく人を、厳しくしてほしい。毎週のゴミ出しが苦痛でたまらない。(渡さない、文句を言われたりツバをはかれるのです)	女性	30代前半	4
	駅前禁煙運動など良いと思いますが、喫煙場所も確保してほしいです。決められていたら、きちんとそこでだけ吸いますので。綾瀬の駅の無料駐輪場のなかに放置自転車がたくさんある気がします。使いづらいし。可能であれば、放置しているものはリサイクルで自由に使えたり、貸し借りできたりするようにできないでしょうか？	女性	30代前半	6
	現在住んでいる自宅は数年が経っているため、修繕とカリフォームを考えていますが、中々業者を探すと大変で料金もまちまちの為、どこを選べば良いのか分からない状態で、そこで要望なのですが、例えば区で業者に登録してもらい、区にコンシェルジュの様な相談が出来ればと思っています。業者の方も区に登録すれば法外な料金も請求することはないだろうし、業者も区に登録されていとなれば仕事も入ってくるのではないかと思います。業者も料金未払いみたいな事もないと思いますが、如何ですか。ただ登録するには、ちゃんと審査のような事をして更新制みたいな形を取れば、色々なトラブルも少ないと思うので考えて頂けたら幸いです。	男性	30代後半	1
	同じ区立の小学校でも、指導内容や学校のイベント等ばらつきがあるので、その辺をどうにかしてほしい	女性	30代後半	4
	マンションの乱立は空室の増加を意味し、ひいては治安の悪化にもつながります。 20,30年後を見越した都市設計をしていただきたい。空室と高齢者ばかりが目立つ〇〇住宅団地(or マンション)みたいなものがないように。	女性	30代前半	2
	私は2か月ほど前に他県から引っ越してきましたが、このようなアンケートで区民や若者の意見を取り入れ、よりよい街にしていこうという取り組みがあって、すばらしいなと思いました。 引っ越してきたばかりで、まだまだ知らないことも多いですが、分かる範囲でアンケートに答えました。今後もよりよい足立区になっていくことを期待し、応援していきたいです。お願いします。	女性	20代前半	6
	図書館の本をもっと充実させて欲しい。最新、話題、推薦、名作、全然置いていない。	女性	20代後半	7
	この意識調査を見る限り、未来図の範囲が短期的な地域改善案を求めている様に思います。今後、高齢化が進むので、もっと長期的で具体的な実践案を募るべきです。若者を含め、識者と意見交換するのも良いと思います。私は、地域通貨の普及と地方の市町村とタイアップ、農業、養豚業などで雇用をつくり、生産、流通、販売を市区町村レベルで行うことが高齢化社会に向けての良策だと思います。仮に国が破綻しても、地域通貨でのシステムが確立されていれば、必要最低限の生活は永続出来ると思います(仮に問題も多く発生すると思いますが)。	男性	30代後半	1
競技は問わず、子供がスポーツに触れる機会が増えるように、運動施設を充実させて欲しい。スポーツを通じて学んだことが今の自分の土台になり、一緒に頑張った仲間が人脈になり、支えてくれる。最近ではキャッチボール禁止、サッカー禁止の文字があり、何のための公園か理解できない。大勢の仲間でおもいきり身体を動かせる施設や公園が増えれば、仲間思いで元気な子供が増えて、足立を盛り上げて支えて行ってくれるはず！	男性	20代後半	1	

項目	主な意見	性別	年齢	ブロック
	高齢者の方の保護、子育て世代への保護、所得の少ない世帯への保護…様々な保護がある中で、本当に所得の少ない人への保護は仕方ないが、高齢の方、子育て世帯でも所得の多い人もいるはず。働きざかりの独身者には何の保護もなく、かといって安い住居(都営)には入れず、働けど働けど搾り取られていると思う。かといって結婚、子育てという環境でもない。仕事をしないと食べれないし、子供を産む環境ではない。今の日本では。	女性	30代後半	3
	保育料をもう少し安くしたい。仕事をすればするほど上がるので結局、出て行ってしまい、厳しいです。	女性	30代前半	10
	近所にたくさんお年寄りが住んでいるようですが、接点がありません。仲良くなれたらお互い助けあうことができるかも、と思ったり。まずは町内会に加入するところから始めなくては、と思いつつ、共働き核家族で生活が忙しく踏み出せずにいます。地域のコミュニティづくりを後押ししてもらえると良いと思います。	女性	30代後半	7
	栄えているところとそうでないところ、治安の良いところとそうでないところがはっきり分かれてしまっているように感じます。電車の通っている通っていない地域も同じように、「目が行き届いている」と実感できるような状態になればいいと思います。	女性	30代後半	12
	今後、学校選択ができなくなると聞きました。うちの娘は現在、学区外の学校を選び、通っています。その学校へは徒歩3分。本来の学校なら徒歩15分かかります。学区の分け方は学校を中心に通う子供のことを考え、決めてもらいたいです。また、保育園では兄弟、違う所へ通っている人がいると聞きました。それでは、子育てしづらいですね。	女性	30代後半	10
	収入がそれなりにある人へのサービス(幼稚園の補助金など)が収入が少ない人と比べると極端に下がるのが気になります。税金をしっかりと払っているのだから激しい差をつけるのはやめてほしいと強く願っています。収入がある人には冷たい区だなと感じています。	女性	30代前半	13
	私は満足しているので不満はありません。むしろいつも尽力を尽くしてくださり、感謝しています。	男性	20代後半	10
	区民の気持ちが一つになれるようなテーマパークやスポーツスタジアム。気持ちが発散できる街、夢がある街を作ってください。明るい街というイメージが大切だと思います。	女性	30代後半	7
	足立区が好きです、常に新しい情報を発見できるので、HPをよくチェックします。これからも結婚、出産をしても足立区に住み続けたいので応援します。今年はエキゾチックフェアに行ってみたいです、楽しみにしています	女性	20代前半	5